

第十四回 貴族院議事速記錄第二十一號

明治三十三年二月十日(土曜日)

午前十時十一分開議

議事日程 第二十一號 明治三十三年二月十日

午前十時開議

- | | |
|--------------------------------------|------------------|
| 第一 蠶種検査法改正法律案(政府提出) | 第一讀會ノ續(特別委員 長報告) |
| 第二 漁業法案(政府提出) | 第一讀會ノ續(特別委員 長報告) |
| 第三 精神病者監護法案(政府提出) | 第一讀會ノ續(特別委員 長報告) |
| 第四 岡山縣下郡廢置法律案(政府提出) | 第一讀會ノ續(特別委員 長報告) |
| 第五 府縣都市町村其ノ他ノ公共團體ノ所有地免租ニ關スル法律案(政府提出) | 第一讀會ノ續(特別委員 長報告) |
| 第六 重要物產同業組合法案(衆議院提出) | 第一讀會 |
| 第七 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 | 第一讀會 |
| 第八 自家用醬油稅法案(衆議院提出) | 第一讀會 |
| 第九 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 | 第一讀會 |
| 第十 北海道水產稅則廢止法律案(衆議院提出) | 第一讀會 |
| 第十一 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 | 第一讀會 |
| 第十二 關稅定率法附屬輸入稅表中改正法律案(衆議院提出) | 第一讀會 |
| 第十三 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 | 第一讀會ノ續(特別委員 長報告) |
| 第十四 辯護士法中改正法律案(衆議院提出) | 第一讀會ノ續(特別委員 長報告) |
| 第十五 質屋取締法中改正法律案(衆議院提出) | 第一讀會ノ續(特別委員 長報告) |

○議長(公爵近衛篤磨君) 是ヨリ報告ヲ致シマス

〔小原書記官朗讀〕

昨九日本院ニ於テ修正議決シタル左ノ諸案ハ即日衆議院ニ回付セリ

政府提出

產牛馬組合法案

衆議院提出

裁判所設立管轄區域變更ニ關スル法律案

同日本院ニ於テ衆議院提出國事犯罪者家祿賞典祿處分法案ヲ否決シタル旨

貴族院議事速記錄第二十一號

明治三十三年二月十日

議長ノ報告

蠶種検査法改正法律案

第一讀會ノ續

三八七

衆議院ニ通知セリ

同日本院ニ於テ可決シタル帝國教育會國庫補助ニ關スル建議書ハ即日政府ニ呈出セリ

同日左ノ衆議院提出案ヲ受領セリ

鐵道敷設法中改正法律案

家祿引直處分法案

同日政府提出日本勸業銀行法中改正法律案ヲ受領セリ

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

在外國帝國專管居留地特別會計法案

裁判所及臺灣總督府法院共助法案

嚴重罪控訴豫納金規則廢止法律案外二件特別委員會ニ於テ委員長ニ伯爵大村

純雄君、副委員長ニ子爵本莊壽巨君當選セラレタリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 是ヨリ本日ノ日程ニ移リマス、蠶種検査法改正法律案、政府提出、第一讀會ノ續、特別委員長報告

〔村田保君演壇ニ登ル〕

○村田保君 是ヨリ委員會ノ結果ヲ御報告ニ及ビマス、此法案ハ隨分是マデ色々歴史上ノコトガゴザリマシテ、中々一時間問題ゴザリマシタデスガ、是マデハ此蠶種検査ト申シマスルモノハ此明治十九年ノ準則ニ依ッテ検査ヲシテ居ッタモノデゴザリマス、其後二十三年ニ検査法ガ出マシタ、其時分ニハ大分是ニハ當業者其他一般ノ反對ガアリマシテ遂ニ法律ニナリマセヌ、其後二十八年ニモ出マシタガ其時分ニモ遂ニ法律ニナリマセヌ、現今行ハレテ居リマスルノハ即チ三十年ノ法律デゴザリマス、ソレデ此委員會ニ於キマシテ此案ニ附キマシテ最モ議論ノ出マシタハ此法案ト云フモノハ明治三十年ニ出來タモノデアル、ソレチバ今之チ改正スルト云フノハ少シク早計デハナイカト云フ論モ出マシタノデス、然ル所是マデノ此法律デゴザリマスルト云フト夏秋蠶ノ検査ト云フモノガシテナイ、ソレデ夏秋蠶ノ検査ヲシマスルトハ固ヨリ必要デハアリマスルケレドモ、現行法ノ時分マデハ餘程之ニ反對ガアッタモンデアル、ソレデ其時分ニハ是ノ反對ノアルノト其他検査員杯モ十分ニ其人ヲ得ラレタト云フコトカラシテ春蠶ダケノ検査ヲスルト云フコトニナッテ居ッタ、然ル所ガ實際ドウモ夏秋蠶ノ検査ヲシマセヌデハ検査ト云フモノガ全ク効果ヲ得ラレマセヌデアリマスカラシテ、以前此反對ヲ致シマシタ信州、甲

州アタリ、信州甲州ノ地方が多ク夏秋蠶ノ種ヲ製造シマスル所、然ル處ソコ
ノ地方モドウモ此検査杯ナシナクテハナラヌト云フ必要ナ非常ニ感ジマシ
テ、其後全國ノ農事大會杯ト云フモノモ處々ニ開カレマスシ、是ニハ信州甲州
アタリノ實業家杯モ出マシテ、ドウモ此夏秋蠶ノ検査ナシナクテハナラヌト
云フヤウナコトカラシテ是ヲハ當局者ニ建議ヲ致ストカ、或ハ昨年モ衆議院
カラモ夏秋蠶ノ検査ノ建議モ出デ居リマス、或ハ此當局者カラシテ諮問會ヲ
開キ或ハ該地方ニ人ヲ出張サセ、サウ致シテ段々夏秋蠶ノ検査ノ必要ト云フ
コトヲ取調ベマシテ、サウシテ此度ノ案ガ出マシタ、多ク此度ノ案ト申シマ
スルモノハ、實業者ノ多クノ建議ヲ實際取調ベマシテ、當局者ニ建議ヲシマ
シタ所ノコトヲ多ク是ハ採用シタト云ツテモ宜イ、ソレデゴザイマスカラ委員
會ニ於キマシテモ之ヲ各條細ニ審議ナシテ見マシタガ、此法案ニ於キマシテ
ハ實ニ一ノ之ニ修正ヲ加ヘル所ヲドウモ見出サナイ、誠ニ完全ナル法案ト認
メマシテ之ニハ修正ヲ致スコトガ出來マセヌカラシテ全ク原案ノ儘ニ決シ
マシタ、唯此十六條ニ「五圓以上五十圓以下」ト云フコトガアリマスガ、此「五
圓以上」ト云フ字ダケヲ削除シマシタ、是ハ深イ理由ハ別ニゴザイマセヌケレ
ドモ此十七條ニ於キマシテ「二十圓以下ノ罰金ニ處ス」ト云フコトガゴザリマ
シテ……此十七條ノ方ニ「二十圓以下」斯ウゴザリマシテ、下ノ方ノ額ハ掲
ゲテゴザイマセヌカラシテ、是ハ同ジヤウニ後ニハ「二十圓以下」ト云フダケ
デアルカラ、コチヲニハ「五圓以上」ト云フコトヲ殊更ニ茲ニ設ケル必要ハ
ナイ、ソレノミデナイ、此「五圓以上五十圓以下」ト申シマスル罰金ハ現行
法ノ十四條ニ是ガアリマスルモノ故、其儘茲ニ出シマシタヤウデゴザリマス、
又近頃段々法律ガ出マスルガ罰則ニハ多ク下ノ方ヲ掲ゲズ何圓以下ト云ヒマ
シテ、罰金ナラニ圓マデイクト云フヤウニ範圍ヲ餘程廣クスルト云フヤウニ
追々ナツテ居リマスカラシテ、他ノ近來出マスル法律ノ文例ニモ依リ、且又此
案ニ於キマシテ前後一樣ニナルヤウニ致スガ爲ニ唯「五圓以上」ト云フ字ヲ削
リマシタ外少シモ修正ヲ致シマセヌ、ドウモ蠶種検査ト申シマスルモノハド
ウシテモ夏秋蠶ノ検査ナシナクテハ十分ナル效果ヲ奏シマセヌカラシテ此案
ハ出マシタノデ、ドウゾ滿場諸君ニモ御賛成ヲ願ヒタイト存ジマス、尙ホ各
條ニ附イテ御質問ガゴザイマシタラ其分時ニ御答ヲ致シマス
○議長(公爵近衛篤磨君) 本案ヲ二讀會ニ移スベシトスルニ御異議ハゴザイ
マセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者多シ〕

○伯爵大原重朝君 直チニ二讀會ヲ開カレムコトヲ希望シマス
○子爵小笠原壽長君 賛成
〔「贊成」ト呼フ者多シ〕
○議長(公爵近衛篤磨君) 直チニ二讀會ヲ開クト云フニ御異存ハゴザイマセ
ヌカ
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) ソレデハ二讀會ヲ開キマス、第一條ヨリ第十五條
マデナ問題ニ供シマス……第一條ヨリ第十五條マデ御異議ガ無ケレバ原案ニ
決シマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕
○議長(公爵近衛篤磨君) 次ハ十六條

〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲茲ニ載録ス以下之ニ同シ〕

第十六條 第三條乃至第六條第九條又ハ第十五條ニ違背シタル者又ハ蠶種
検査員ノ職務執行ヲ拒ミ若ハ之ヲ妨ケタル者ハ五十圓以上五十圓以下ノ罰
金ニ處ス

〔特別委員修正案〕

第十六條 第三條乃至第六條第九條又ハ第十五條ニ違背シタル者又ハ蠶種
検査員ノ職務執行ヲ拒ミ若ハ之ヲ妨ケタル者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處
ス

○中西光三郎君 委員會ノ修正ヲ賛成シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 委員會ノ修正ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 然ラバ其通り決シマス、次ハ第十七條ヨリ十九條
マデ……御異議ガ無クバ原案ニ決シマス

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 二讀會ハ終リマシタ

○伯爵大原重朝君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ……

○子爵小笠原壽長君 賛成

〔「贊成」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 直チニ三讀會ヲ開クト云フノニ御異議ハゴザイマ
セヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) ソレデハ三讀會ヲ開キマス

○關義臣君 私ハ委員會ニ出席致シタウゴザイマスルデ……

○議長(公爵近衛篤磨君) 宜シウゴザイマス……御異議ガナクバ原案ニ決シマス

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 漁業法案、政府提出、第一讀會ノ續、特別委員長報告

(特別委員長修正案)

漁業法

第一條 本法ニ於テ漁業ト稱スルハ營利ノ目的ヲ以テ水產動物ノ採捕又ハ養殖ヲ業トスルヲ謂フ

本法ニ於テ漁業者ト稱スルハ漁業ヲ爲ス者及漁業權ヲ享有スル者ヲ謂フ

第二條 私有水面ニ於テハ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外本法ノ規定ヲ適用セス

第三條 漁具ヲ定置シ又ハ場所ヲ區劃シテ漁業ヲ爲サムトスル者ハ行政廳ノ免許ヲ受クヘシ

免許ヲ受クヘキ漁業ノ種類ハ主務大臣之ヲ指定ス

第四條 前條ノ外特ニ免許ヲ必要トスル漁業ハ主務大臣命令ヲ以テ之ヲ定ムルコトヲ得

第五條 漁業免許ノ期間ハ二十箇年以内トス但シ第八條第一項ニ依リ免許ヲ停止シタル期間ハ免許期間ニ算入セス

免許期間ハ之ヲ更新スルコトヲ得

第六條 免許ヲ受ケタル漁業權ハ行政廳ノ認可ヲ受クルニ非サレハ之ヲ處分スルコトヲ得ス但シ遺言ノ場合ニ於テハ受遺者ヨリ認可ノ申請ヲ爲スコトヲ得

第七條 漁業ハ免特ヲ受ケタル日ヨリ一箇年間漁業ニ從事セサルトキハ消滅ス引續キ二箇年間休業シタルトキ亦同シ

漁業權ノ讓渡、貸付又ハ相續アリタル場合ニ於テハ其ノ前後ノ期間ハ之ヲ通算ス

第八條 行政廳ハ水產動物ノ蕃殖保護其ノ他公益上必要アリト認ムルトキハ漁業免許ヲ制限シ若ハ停止シ又ハ之ヲ取消スコトヲ得

免許ヲ受ケタル漁業者ニシテ本法又ハ本法ニ基ツキテ發スル命令ニ違背シタルトキ亦前項ニ同シ

第九條 漁場ノ區域又ハ方位ヲ標示スル爲標識ノ建設ヲ必要トスルトキハ他人ノ土地ニ立入り又ハ之ヲ使用スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ漁業者ハ行政廳ノ認可ヲ受クヘシ

第十條 行政廳ハ必要ト認ムルトキハ漁業者ニ漁場ノ標識ノ建設ヲ命スルコトヲ得

第十一條 前二條ノ場合ニ於テ他人ニ損害ヲ生セシメタルトキハ其ノ償金ヲ拂フヘシ

第十二條 地方長官ハ水產動物ノ蕃殖保護又ハ漁業取締ノ爲必要ト認ムルトキハ主務大臣ノ認可ヲ得テ左ノ命令ヲ發スルコトヲ得

一 水產動物ノ採捕若ハ販賣ニ關スル制限又ハ禁止

二 漁具、漁船若ハ採捕ノ方法ニ關スル制限又ハ禁止

三 漁業者ノ數又ハ其ノ資格ノ制限

主務大臣ハ前項ノ制限又ハ禁止ヲ爲ス必要アリト認ムルトキハ命令ヲ以テ之ヲ定ムルコトヲ得

前二項ノ命令ニハ漁具及漁護物ノ沒收ニ關スル罰則ヲ設クルコトヲ得

第十三條 前條ノ規定ニ依ル命令ハ漁業者ニ非サル者ニモ之ヲ適用スルコトヲ得

第十四條 主務大臣ハ遡河魚類ノ通路ヲ害スルノ虞アリト認ムルトキハ一定ノ區域内ニ於ケル工作物設置ノ制限又ハ禁止ニ關スル命令ヲ發スルコトヲ得

工作物ハ遡河魚類ノ通路ヲ害スルモノト認ムルトキハ主務大臣ハ其ノ所有者ニ除害工事ヲ命スルコトヲ得

第十五條 前條第二項ニ依リ除害工事ヲ命シタルトキハ主務大臣ハ工作物ノ所有者ニ對シ相當ノ金額ヲ補償スヘシ但シ利害關係人ノ申請ニ依リ除害工事ヲ命シタルトキハ其ノ補償金ハ主務大臣ノ定ムル所ニ依リ申請者之ヲ負擔スヘシ

第十六條 行政廳ハ水產動物ノ蕃殖保護ニ必要アリト認ムルトキハ公有水面ニ通スル私有水面ニ前四條ノ規定ヲ適用スルコトヲ得

第十七條 漁業ニ従事スル雇人及雇主ノ取締ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十八條 一定ノ區域内ニ住所ヲ有スル漁業者ハ漁業ノ改良發達、水產動物ノ蕃殖保護其ノ他共同ノ利益ヲ圖ル爲メ漁業組合ヲ設置スルコトヲ得

第十九條 從來一定ノ區域アル濱、浦、漁村其ノ他漁業者ノ部落ニ於テハ其ノ區域ニ依リ漁業組合ノ地區ヲ定ムヘシ

前項ノ場合ヲ除クノ外漁業組合ハ市町村又ハ之ニ準スヘキモノノ區域以内ニ於テ其ノ地區ヲ定ムヘシ但シ特別ノ事由ニ因リ其ノ區域ニ依リ難キトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十條 行政廳ニ於テ必要ト認ムルトキハ左ノ各號ニ該當スル者ヲシテ組合ニ加入セシムルコトヲ得

一 組合地區内ニ住所ヲ有シ漁業ト密接ノ關係アル營業ヲ爲ス者

二 組合地區内ニ漁業ノ根據地ヲ有スル組合地區外ノ漁業者

三 組合ノ地先水面ニ於テ免許漁業ヲ爲ス組合地區外ノ漁業者

第二十一條 漁業組合ニ關シ本法ニ規定ナキモノニ付テハ重要輸出品同業組合法ノ規定ヲ準用ス但シ同法中農商務大臣ニ屬スル職權ハ行政廳之ヲ行フ

第二十二條 本法又ハ本法ニ基ツキテ發スル命令ニ依リ義務者ニ於テ履行スヘキ事項ヲ履行セス又ハ之ヲ履行スルモ充分ナラスト認ムルトキハ行政廳ニ於テ自ラ之ヲ施行シ又ハ第三者ヲシテ之ヲ施行セシメ其ノ費用ハ國稅徵收法ノ例ニ依リ義務者ヨリ徵收スルコトヲ得

前項ノ費用ニ付行政廳ハ國稅ニ次キ先取特權ヲ有ス

第二十三條 第三條及第四條ノ免許漁業權又ハ慣行漁業權ニ關シ爭アルトキハ關係漁業者ハ地方長官ニ裁決ヲ申請スルコトヲ得

漁場ノ區域又ハ關係漁業者ノ住所ノ所在地カ一道廳府縣ノ管轄以外ニ涉ルトキハ主務大臣ニ裁決ヲ申請スルコトヲ得

第二十四條 業漁免許ノ許否ニ關シ利害ノ關係ヲ有スル者又ハ第六條第八條第十四條第二項第二十二條第一項ノ行政處分若ハ前條ノ裁決ニ對シテ不服アル者ハ訴願ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ行政廳ノ處分若ハ裁決違法ニシテ權利ヲ傷害セシメタリトスル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第二十五條 第十五條ノ補償金額ニ對シ不服アル者ハ補償金額ノ通知ヲ受

ケタル日ヨリ六箇月以内ニ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第二十六條 本法ニ依リ免許ヲ受クヘキモノニシテ免許ヲ受ケス又ハ免許ノ條件若ハ制限ニ違背シテ漁業ヲ爲シタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス免許ノ停止中漁業ヲ爲シタル者亦同シ

前項ノ場合ニ於テハ漁具及漁獲物ヲ沒收ス

第二十七條 漁場ノ標識ヲ移轉シ又ハ毀壞シタル者ハ三十圓以下ノ罰金ニ處ス

附則

第二十八條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十九條 本法ノ規定ハ臘虎臘貍獸獵法ト效力ヲ妨ケス

第三十條 本法施行前ニ受ケタル漁業ノ免許又ハ公有水面使用免許ニ依リ第三條又ハ第四條ノ漁業ヲ爲ス者ハ本法施行ノ日ヨリ本法ニ依リ免許ヲ受ケタルモノト看做ス但シ其ノ免許期間ハ第五條ノ期間内ニ於テ地方長官之ヲ定ム

第三十一條 從來ノ慣行ニ依リ本法施行前ヨリ第三條又ハ第四條ノ漁業ヲ爲ス者本法施行ノ日ヨリ一箇年以内ニ出願スルトキハ之ニ免許ヲ與フヘシ

前項ニ依リ免許ヲ出願シタル者ハ其ノ免許ヲ受クル迄ノ間仍從前ノ例ニ依リ漁業ヲ爲スコトヲ得

第一項ノ期間内ニ免許ヲ出願セサルトキハ出願期間満了ノ日ニ於テ其ノ漁業權ハ消滅ス

第三十二條 本法施行前ニ於テ行政廳ノ認可ヲ得テ設置シタル漁業組合ニシテ本法又ハ本法ニ基ツキテ發スル命令ノ規定ニ牴觸セサルモノハ本法施行ノ日ヨリ本法ニ依リ設置シタルモノト看做ス

〔村田保君演壇ニ登ル〕

○村田保君 是ヨリ委員會ノ結果ヲ御報告ニ及ビマス、此漁業法案ハ極ク最初ハ二十六年、二十七年ニ本員カラ致シマシテ是マデ本邦ニ於キマシテハ漁業法ト云フモノガゴザイマセメカラシテ、ドウモ漁業法ヲ設クルノハ極ク必要ヲ感ジマシタニ附イテ其法律案ヲ提出ヲ致シマシテ、二回トモ委員ニ付託ニナリマシテ、遂ニ委員カラ致シマシテ報告ガゴザイマセメデ其儘立消ニナリマシタ、然ル所昨年政府ヨリ致シマシテ此漁業法案ト申スルモノガ本院ヘ提出ニナリマシテ、當院ニ於キマシテハ可決ニナリマシテ衆議院ニ於キマシ

テ遂ニ否決ニナリマシタノデ、ソレデ更ニ當年此法案ガ本院へ提出ニナリマシタ、此委員會ハ一月二十五日ヨリ二月六日マデ丁度七回、七回ノ委員會ヲ開キマシテ各條ニ附キマシテ餘程細ニ審議ヲ致シ、又修正モ御覽ノ通り餘程澤山ノ修正ヲ加ヘマシタノデス、ソレデ此案ノ修正ヲ細カク……七回モ掛リマシタ委員會デゴザイマスルカラシテ委員ノ審議ニナリマシタコトヲ細カク御報道ヲ致シマスルト云フコトニナリマスル、餘程時間ヲ費シマスデゴザイマスカラシテ先ヅ御報道ハ大略ニ止メテ置カウ、デ尙ホ委シイコトノ御尋ニナリマシタラバ其節ニ委シイコトヲ御答致スト致シマシテ、先ヅ修正ニナリマシタ所ノ條項ダケニ附キマシテ大略御報告ヲ致シマスル積リデゴザイマス、此一條ノ二項ニゴザイマシタ「免許ヲ受ケタル」ト云フ字ヲ此六字ヲ削リマシタノハ是ハ此今日ノ漁業ノ中ニハ或ハ此免許バカリデナクシテ此慣行上ノ權利ヲ得テ居ル者モ中ニハゴザイマスルカラ、特リ「免許ヲ受ケタル」ト云フバカリデハ足りマセヌ所ガゴザイマスカラ、ソレ故ニ是ダケノ文字ヲ削リマシタ、ソレカラ二條ノ二項ニ於キマシテ「私有水面トハ官有水面ニシテ公共ノ用ニ供セサルモノ及公共團體並私人ノ所有ニ屬スル水面ヲ謂フ」ト云フコトガアル、此二項ト申シマスルモノハ全ク此私有水面ノ解釋ダケ掲ゲタモノデアアル、所ガ今日此私有水面ハ公有水面ニ對スルモノト云フコトハマア誰モ知ッテ居ル譯デゴザイマスカラ、殊更何モ此解釋ヲ掲ゲル必要ハナイ、若シ私有水面ト云フコトガ分ラヌト云フコトナラ此先ニ公有水面ト云フコトガアル、サウスレバ公有水面ノ解釋モシナケレバナラヌデハナイカ、併シ今日公有水面、私有水面ノ解釋ヲ特ニ掲ゲル必要ハナイト云フノデ是ハ削リマシタ、ソレカラ此三條デゴザイマス、三條ハ大分ノ修正ヲ致シマシタ、其原案ヲバ……原案ニハ御存ジノ通り一カラ九マデ細カク漁具ト云フモノハドウ云フモノデアルト云フコトヲ掲ゲテゴザイマス然ル處朱字ノ如ク斯ウ修正シマシタノハ意味ニ於テハ相違ハナイノデゴザイマス、斯ウ細カク種類ヲ掲ゲズトモ此網杯ト申シマスルモノハ地方ニ依リマシテハ同物デモ……全ク同シ物デモ大變ニ名ガ異ッテ居ルモノガアリマス、或ハ又斯ウ細カク掲ゲテハ段々足リナイ物モアリマスル、又ソレノミナリマセズ此先新規ノ漁具ガ段々出來マシタトキハ又ソレヲ加ヘナクチャナラナイト云フコトニナリマスカラ、ソレ故ニ斯ウ云フ風ニ細カク掲ゲマシテハ却テ之ガ爲ニ足リナイ所ハ足シタリ或ハ營業者ニ分ラヌト云フコトモ段々アルノデゴザイマス、ソレ故ニ斯ウ云フ細カク掲ゲルコトハ止メマシテ一ト括ニ致シマシテサウシテ此朱字ノ如ク修

正ヲ致シタノデアリマス、ソレデ此一項ノ所デゴザイマスルト是ハ「漁具ヲ定置シ又ハ場所ヲ區劃シテ漁業ヲ爲サントスル者ハ行政廳ノ免許ヲ受クヘシ」ソレカラ「免許ヲ受クヘキ漁業ノ種類ハ主務大臣之ヲ指定ス」ト云フコトニ修正致シマシタ、ソレカラ此四條デゴザイマス、四條モ是ハ修正ト申スヨリ四條ハ原案ハ全ク削除シテシマッテ此修正ハ新規ニ是ダケノ物ヲ加ヘマシタ、此四條ハ原案ノ主意ト申シマスルモノハ是ハ其此所ニゴザイマスル通り「區域ヲ限リタル根付磯付漁業又ハ種川ノ設置ヲ爲サントスル者ハ行政廳ノ免許ヲ受クヘシ」前項ノ免許ハ地元漁業組合ニ非サレハ之ヲ受クルコトヲ得ス」ト云フコトニナッテ居タ、是ハ隨分委員會ニ於キマシテモ餘程議論ガアリマシタ條デ、色々修正モ出マシタガ遂ニ是ハ削除ト云フコトニ極リマシタ、其理由ト申シマスルモノハ斯ウ云フ根付磯付ノヤウナ誠ニ此地先ノ漁業、地先ノ漁業ト申シマスルモノハ是ハモウ今日マデ全國殆ド或ハ免許ヲ得テ居ルトカ慣例トカデ自分ノ前ノ漁業ノ慣例免許ヲ得テナイト云フ者ハナイ、皆慣例トカ免許ヲ得テ漁業ヲシテ居リマスカラ特ニ之ヲ設ケテ是カラ先サウ云フ者ニ與ヘルト云フコトハ誠ニ少イコトデアアル、又此地元漁業組合等ニ於キマシテハ誠ニ慣例ガ種々異ッテ居リマス、今日ハ是デ見マスルト地元ノ漁業組合デナケレバナラヌト云フコトデアリマスケレドモ、是ハ實際ニ各地方共ニ地元漁業者ガ却ッテシテ居ナイ、地元漁業者デナイ者ガ來テ漁業ヲスルト云フ慣例ガ澤山ゴザイマスノデ、ソレ故ニ地元漁業者ニヤルト云フコトニナリマシタナラバ之ガ爲ニ非常ナル紛糾ヲ來タスノデ、ソレノミナリマセズ、根付磯付ト云フモノガ此處ニゴザイマスガ、此根付磯付漁業ト申シマスノハ根付磯付ノ解釋ハムヅカシイノデ、地方ニ依リマシテハ大變違フ、或ハ此根付磯付杯ト申シマスルコトハ所ニ依リマシテ根付漁業ハ根ニ付イテ居ル根付魚ノコトバカリノヤウニ思ウテ居ル、或ハ根付漁業ト申シマスノハア、云フ海藻ノ生エテ居リマス所ノヤウニ解釋シテ居リマス、種々解釋モ地方ニ依ッテ違ッテ居リマス、ソレノミナリマセズ根付磯付ト云フコトハ、チヨイト分リニグイコトデゴザイマスシ、又種川モ其通り種川ノ設置ヲバ地先ニヤルト云フコトモ是モ實際ノ慣例上出來ヌ、慣例バカリデ出來ヌ場合ガアル、ト申シマスモノハ隨分種川デスカラ或ハ數縣ニ跨ッテ居ル所モアリ、其川ト云フモノハ數縣ニ跨ッテ種川ト云フモノノ設置ヲシナケレバナラヌト云フコトモアルカモ知レマセヌカラ、ソレチモ其地元漁業者デナケレバ出來ヌト云フコトハナイ、ソレ故ニソレ等ハ今日ノ慣例ニ讓ッテ今日ノ儘デ置クヨリ外仕方が

ナイ、此場合デ必シモ地元ノ者デナケレバヤラセヌト云フコトヲ書キマシタルガ宜イト云フノデ、遂ニ是ハ削リマシタ、其アトヘ「前條ノ外免許ヲ必要トスル漁業ハ主務大臣命令ヲ以テ之ヲ定ムルコトヲ得」ト云フ一條ヲ設ケマシタ、是ハ原案ニハナイ、原案デゴザイマス、此三條ニゴザイマスル漁具デス、臺網トカ云フヤウナ定設漁具即チ一カラ九マデノ外ノモノノ漁業ニハ免許ヲ與ヘナイ、其他ノ漁業ト云フモノハ勝手ニシテ宜イト云フ主意デアッタ、然ル處是ハドウモサウ云フ譯ニハ今日ハ行カナイ、隨分其他ノ漁業デモ免許ヲ今日地方デモ澤山ニ與ヘテ居ル地方モゴザイマスカラ、ドウモ三條ノ外ニ或ハ網業ヲスルトカ或ハ場合ニ依ッテハ釣業ニシテモ免許ヲ與ヘナケレバナラヌト云フ場合モ地方ニ依ッテハゴザイマス、ソレデ其サウ云フ免許ヲ必要トスルモノハ是ハドウシテモ三條ノ外ニモ免許ヲ與ヘナケレバナラヌト云フノデ、是ダケ免許ヲ與ヘル漁業ヲ先ヅ殖ヤシマシタヤウナ譯デ、ソレハ今日ノ實際ニ於テ斯ウ云フ修正ガ必要ダト云フノデ、即チ三條ノ外ニモ漁業上免許ノ必要アルトキニハ主務大臣ガ之ヲ定メルト云フコトニシタノデス、ソレカラ第五條、是ハ「二十箇年以下」ト云フ「以下」ナ「以內」トシマシタ、是ハ何デモゴザイマセヌ、外ノ方デモ二十箇年以內ト云フコトニナッテ居リマスカラ、ソレニシマシタダケノコトデ、ソレヨリ六條、六條ニ於キマシテハ「免許ヲ受ケタル漁業權ハ行政廳ノ認可ヲ受クルニ非サレハ之ヲ處分ズルコト得ス」ト云フコトニナッテ居リマス、ソレデ此漁業權ト申シマスルモノハ例ヘバ人ニ讓ルトカ貸渡ストカ云フヤウナ漁業權ヲ處分スル前ニ行政廳ノ認可ヲ得テ、サウシテシロト云フコトニナッテ居リマス、ソレデ此但書ノ「但シ遺言ノ場合ニ於テ受遺者ヨリ認可ノ申請ヲ爲スコトヲ得」ト云フ字ヲ加ヘマシタノハ、此遺言ト申シマスルモノハ自分ガ誰ニモ示サンデ自分デ内密ニ遺言ヲスルト云フヤウナコトモアリマス、又遺言狀ニモ自分ノ漁業權ヲ誰ニ讓ルト云フコトモ出來マス、例ヘバ行政廳ノ認可ヲ受ケナケレバ遺言ニ作レヌト云フコトニナリマス、大變ニ此遺言上ニ差支ガ生ジマスルシ、又此或ハ自分ガ遺言ヲシテ置キマシテモ認可ヲ受ケナケレバ遺言ハ出來ヌト云フコトニナリマス、遺言ガ無効ニナリマスカラ、ソレ故ニ其遺言ガ無効ニナリマセヌヤウニ受遺者ヨリ認可ノ申請ヲ爲サシムルト云フコトニナリマシタカラ、遺言モ一般ノ規則ニ依ッテ出來マスシ、又遺言ヲ受ケマシタ者ノ迷惑ニモナルマイト云フ所カラ是ダケノ字ヲ加ヘマシタ譯デゴザイマス、ソレカラ二項

ノ「漁業組合ニ於テ第四條ノ免許ヲ受ケタルトキハ其ノ漁業權ヲ處分スルコトヲ得ス」ト云フノハ是ハ第四條ガ即チ原案ガ削レマシタカラ之ヲ言フノ必要ガナイカラ削除シマシタ、ソレカラ三項ノ「相續ニ因リテ漁業權ヲ取得シタル者ハ其ノ旨ヲ行政廳ニ届出ツヘシ」ト云フコトガアル、此相續ニ依ッテ既得シタル者ハ行政廳ニ唯届サヘスレバ宜イト云フコトハ是ハ誠ニ手續上ノコトニ關スルカラシテ是ハ即チ何レ此事ニ附イテハ細則ナリ命令ト云フモノガ出來マセウカラ其方ニ是ハ讓ッテ置クベキモノダト云フノデ削リマシタ、ソレヨリ第七條ノ「免許ヲ受ケタル漁業權ハ免許ノ日ヨリ一箇年間之ヲ行使セサルトキハ消滅ス引續キ二箇年間之ヲ行使セサルトキ亦同シ」ト原案ニゴザイマス、第一、此文字ガ分ラヌト云フ論ガアルノデス、一箇年之ヲ行使セザラヌト云フノガ一ツ理由、ソレカラ此「免許ノ日」ト云フ「免許ヲ受ケタル日」ト云フコトニナリマス、免許狀ニ書イタル日カラト云フコトニナリマス、ソレカラ免許ヲ受ケタル日ト云フコトニナリマス、ソレ故ニ「免許ヲ受ケタル日ヨリ」ト云フコトニ致シマシタ、上ニ「免許ヲ受ケタル」ト云ウテ、下ニ「免許」ト云フコトガアリマスカラ、蛇足ニナリマスカラ是ハ削リマシタ、ソレカラ一箇年之ヲ行使セザルト云フコトニナリマス、或ハ自分ガ漁業ヲシナイデ、人ニ貸付ケテ權利ヲ行使スルト云フコトニ見ラレテモ仕方ガナイ、サウ云フ譯デハナイ、自分ガ漁業ヲシナケレバナラヌト云フコトデ、ケレドモ行使ト云フコトハ實際解釋デハ自分ガシナイデ人ニ貸シテ置イテモ宜イト云フ解釋ヲ與ヘラレテハ困ルト云フコトデ、漁業ニ從事シナイト云フコトニシテ置キマスレバ明ニ分リマスカラ、ソレ故ニ「漁業ニ從事セサル」ト云フコトニ改メマシタ、「其行使セサル」ト云フ休業シタルトキト云フコトニシマスレバ此初ニ免許ヲ受ケテカラ從事シナイノデハナイ、免許ヲ受ケテ自分ガ業ヲシテ二年デモ三年デモシタ後ニ更ニ二箇年間モ業ヲ休ンデシナケレバナラヌト云フヤウニ休業ト云フコトニシマシタナラバ其邊ガ能ク分ルダラウ、ソレデ二箇年更ニ免許ヲ受ケタ後、從事シタ後ニ二箇年間捨テ置イタラバ權利ハ消滅スルゾト云フコトニナリマス、ソレカラ八條ニ「漁業」ト云フ字ヲ入レマシタノハ是ハ突然此處デ免許ヲ制限スルト云フノハ餘リ突然デアラウ、固ヨリ漁業免許ニ相違ナイカラ、ソレナラ漁業免許ト云フコトヲ委シク入レテ置クガ宜カラウト

云フノデ入レマシタ、ソレカラ二項ニ「又ハ公益ヲ害スルノ所爲アリト認ムル場合」ト云フノガ削レマシタノハ既ニ一項ニ於テ公益上必要ト認ムル其トキニ制限ナルトナルト後ノ公益ヲ害スルノハ前項ノ中ニ十分包含シテ居ルカラ此處ハ殊更ニ言フニモ及ブマイト云フノデ前項ニ包含シタモノト見テ削リマシタ、ソレカラ九條ノ「他人ノ占有スル土地」ト云フ「占有スル」ト云フ字ヲ削ッタノハ既ニ議場ニ於テモ先日モ段々議論ガアリマシタ他人ノ所有シテ居ル土地ニ這入レヌト云フ疑モアリマス、ソレノミナラズ前日本院デ決議ニナリマシタ下水法ニモ之ト同一ノ文字ガアリマシタガ、孰モ「占有」ト云フ字ガ削レマシタカラ此案ニ於キマシテモ削リマシタ、ソレカラ十一條ニ於テ「前二條ノ場合ニ於テ他人ノ占有スル土地」云々ト云フノモ削リマシテ「他人ニ損害ヲ生セシメタルトキハ其ノ償金ヲ拂フヘシ」トシマシタ是ハ意味ニ於キマシテハ違ヒマセヌガ、如何ニモ九條ニ於テ「他人ノ占有スル土地ニ立入り」ト云フノチ又此處ニ繰返シテ居ルノデアリマスカラ「前二條ノ場合ニ於テ」ト云フト、二條ト云フノハドフ云フノカト云フト、他人ノ土地ニ立入り使用スルト云フノデアリマスカラ又之ヲ繰返ノ必要モナイト云フノデ削リマシタ、ソレヨリ十二條ノ「行政廳」チ「地方長官」ニシマシタ、行政廳トナルト主務省モゴザイマスシ或ハ地方廳モアルシ、又細カク言ヘバ郡役所モ或ハアリマス譯デアリマス、然ル處此條ニ於キマシテハ行政廳ト云フノハ地方長官ト主務大臣ノ命令ヲ發シマス場合ヲ定メタモノデアリマスカラ、ソレ故ニ是ハサウ云フ譯ナラバ之ヲ明ニ書分ケテ置ク方ガ宜カラウト云フ所カラシテ初ノ一項ハ地方長官ノシマス場合デアリマスカラ「行政廳」チ「地方長官」トシマシタ、地方長官ノシマス場合ニハ主務大臣ノ認可ヲ得デスル、主務大臣ノスル場合ハ二項ニ掲ゲテ「主務大臣ハ前項ノ制限又ハ禁止ヲ爲ス必要アリト認ルトキハ命令ヲ以テ之ヲ定ムルコトヲ得」ト、是ハ一地方内デアレバ地方長官ガ命令ヲ發シテモ宜ウゴザイマスガ他縣ヘ跨リマシタル場合ニハ是ハドウシテモ主務大臣ガ定メナケレバナリマセヌ、故ニサウ云フ場合ニハ主務大臣ガ命令ヲ發スルト云フ主意ヲ以テ二項ヲ置キマシタ、ソレカラ第十七條ニ「漁夫及雇主ノ取締ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム」トアリマスガ「漁夫」ト申シマスト漁師ダケシカ見エナイ、然ル所此法案ニ於キマシテハ漁夫バカリデハナイノデアリマス、製造者ト雖モ矢張り、此漁業法案デ取締ヲシマス積リデ、ソレ故ニ此「漁夫」ト掲ゲテ置キマスと云フト、ドウモ製造者ハ這入ラヌヤウニ見ユル、就キマシテハ之ヲ「漁業ニ從事スル雇人」トシマシ

タナラバ製造者モ隨分其中ヘ這入リマス譯デアリマスカラ「漁夫」ト云フ字チ是ダケノ字ニ換ヘマシテ廣ク含マセルヤウニ書分ケマシタ、ソレカラ「命令」チ「勅令」トシマシタノハ、是ハ勅令ノ方ガ當然ダラウト云フノデ勅令ニ改メマシタ、ソレカラ十八條ニ漁業者ハ「漁業ノ改良發達」ト云フ字チ加ヘマシタ、漁業ノ改良發達ト云フ字チ加ヘマシタ譯ハ漁業組合ヲ設ケルノハ主トシテ漁業者ガ漁業組合ヲ設ケルモノデアアル、然ルニ水產動植物ノ蕃殖保護チ目的トシテ是ハ固ヨリ組合ヲ設ケマスガ、主タル漁業者ノ漁業ノ改良發達ノ方ガ、後同シニナッデハナラヌ、ソレ故ニ漁業者ノ設ケマス漁業組合デアリマスレバ主タル漁業ヲ改良スルトカ發達スルトカ云フコトハ第一番ニナケレバナルマイ、是ガ脱ケテルト云フ論カラシテ漁業ノ改良發達チ圖リ或ハ水產動植物ノ蕃殖保護又共同ノ利益ヲ圖ルコトヲ得ルト云フコトニ修正ヲ致シマシタ譯デアリマス、十九條ノ「ヨリ」ト云フ字ハ「從來」ト言ヘバ十分分ルト云フノデ削リマシタ、ソレカラ二十條ニ「漁業組合ヲ設置セムトスルトキハ其ノ地區内ニ於テ組合員タルヘキ者ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ創立總會ヲ開キ定款ヲ議定シ」云々トゴザイマス、之ヲ削リマシタノハ元ト此組合ト云フモノハ成ルベク重要輸出品同業組合法ニ據ル積リデアアル、然ル所ソレニ依ルト五分ノ四ノ同意ヲ得ナケレバナラヌ、サウ云フコトニナレバ到底組合ハ出來マセヌカラ是ダケノ取除ニシマシテ三分ノ二以上ナラバ出來ルト云フコトニ此處ニ掲ゲテアル、然ル所本日モ日程ニ上ッテ居リマスガ同業組合法案ガ今度衆議院カラ出マシテ三分ノ二以上ト云フコトニナッテ居リマス、政府モ此案ニハ大ニ同意ナシテ居ルヤウデアリマスシ、本院ニ參リマシテモ決議ニナッタト云フ譯デアリマセヌガ無論其通り修正ニナラウト委員會ニ於キマシテ認メマシテ、サウシテ見マスと此處ヘ斯ウ云フコトヲ書ク必要ガナイト云フノデ削リマシタ、ソレガ出マスレバ其方ニ讓ッテ宜シイ譯ダト云フノデアリマス、ソレカラ元ノ二十一條即チ修正ノ二十條、之ヲ削リマシタノモ是モ矢張り即チ同業組合ニゴザイマスレバ此處ニ入レル必要ハゴザイマセヌ、ソレノミナラズ組合法ニ依リマスルト同一ノ業ヲ營ム者ト云フコトニナリマシテ住所ハ一向要セヌコトニナッテ居リマス、是デヤリマスと住所チ有スルト云フヤウナコトガアリマスカラ其邊トモ少シク衝突スル所モアリマスカラ組合法ニ讓レバ宜シイト云フノデ削リマシタ、ソレカラ二十二條二十三條チ削リマシタノハ即チ四條ノ地元漁業組合デアラザレバ之ヲ受クルコトヲ得ヌト申シマスルアノ所謂根付磯付漁業ノ條チ削リマシタ、アノ條チ削リマスルト此條ハ

アノ條カラ出テ居リマス條デアリマスカラ、即チ四條ノ削レマシタ結果ニ依リマシテ是ハ削リマシタ、ソレヨリ原案ノ二十四條即チ修正ノ二十一條、是ハ即チ此組合ト申シマスルモノハ重要輸出品同業組合ノ規定ヲ準用スルト云フコトヲ掲ゲマシタノヲ唯「本法ニ規定ナキモノニ付テハ」ト云フコトニ致シマシタ、是ハ別ニ意味ノ變ッダコトデモゴザリマセヌガ、前數條ニ掲ケタルモノノ外ト云フト少シクマダ此他ニ漏レルト云フコトガナイトモ限レマセヌカラ「本法ニ規定ナキモノ」ト云フコトニナレバズバリ是デ落ナク包含スルト云フノデ、併シ主意ニハ格別異ルコトハナイ、ソレダケノコトデ修正致シマシタ、ソレカラ二十三條ヲ新規ニ入レマシタ、是ガ先ヅ修正ノ重ナルモノデアルノデス、此原案デゴザイマスルト漁業ノ爭ト申シマスルモノハ何處ヘ持つテ行クカ、チヨイト分ラヌト云フ形デアアル、原案ニ於テハ漁業上ノ爭ト云フトニ附キマシテ先日政府委員ハ是ハ行政裁判法ガ不日改正ニナルカラ其方ニ讓ルト云フコトデ總テ此事ハ何トモ此案ニハ限ッテゴザイマセヌ、ソレ故ニ漁場ノ爭ト云ヒマスルト通常裁判所ニ持つテ行カヌケレバ仕方ノナイコトニナル、通常裁判所ヘ持つテ行クト云フコトニナリマス一讀會ニ本員ヨリ申述ベマシタ通りナカナカ容易ナラヌ費用ガ掛カル、此漁業ノ爭ノ爲ニ逐ニ一村ノ身代限ヲシタト云フヤウナコトモアル、ソレ故ニ之ヲ裁判所ヘ持つテ行クヨリハモウ腕力ヲ以テヤルヨリ外仕方ナイト云フコトニ立至ル、ソレデ今日ハモウ各漁場ノ爭ノナイ所ハ殆ドナイ、ソレ故ニ是ハ昨年ノ案ニモアリアリマシタ、是ハ其爭ト申シマスルモノハ行政官ガ其裁決ヲシテヤルト云フコトヲシマセヌデハナカナカ此裁決ト云フコトハ迅速ニ行カズ、又事實ヲ委シテ知ッテ居ルコトモ其地方行政官ノ方ガ委シテ譯デアリマス、ソレ故ニ此漁業法ノ第三條即チ定置漁具ノ爭又ハ此四條ノ特ニ免許ヲ與ヘラレタル漁業權ノ爭、其他慣行ノ爭、今日漁業場ト云フモノハ多ク慣行上ノ漁業權ヲ持つテ居リマス、其慣行上ノ爭ノアリマシタトキハ是ハ地方長官ニ裁決ヲ求ムルコトガ出來ルト云フコトガ最も必要ト認メマシテ、即チ一項ハ地方内ノ爭ナラバ地方長官ヘ持出ス、併ナガラ是ガ漁場ノ區域ノ爭トカ或ハ其所在ノ地ト云フモノガ他府縣ニ跨ルト云フヤウナ場合ニハ是ハ主務大臣ヘ其裁決ヲ申請ナスルト云フコトニナリマシタナラバ、餘程將來ハ漁場ノ爭ト云フモノハ餘程迅速ニ裁決ノ出來ルヤウニナリマセウト思ヒマス、加之是ガ出來マシタナラバ漁業ノ爭ト云フモノモ本員杯ハ將來ハ腕力沙汰ト云フモノ杯ハ餘程減ズルダ

ヲウト信ジテ居リマス、此法案ニ此二十三條ハ最も必要ナコトト認メマシテ委員會デハ此二十三條ヲ加ヘマシタ譯デアリマス、ソレヨリ此二十四條即チ原案ノ二十六條デゴザイマス、此條ヘ「第二十二條第一項」ト云フコトヲ加ヘマシタノハ、是ハドウモ原案デハ此事ガゴザイマセヌガ隨分此義務者ニ於テ或ハ此除害工事ヲ取除ケト云フノヲ取除カヌトカ、或ハ取除ケヌカラ行政廳ニ於テソレヲ第三者ニサセルト云フヤウナコトガゴザイマス、サウシテ其費用ハ國稅徵收法ニ依ッテ義務者カラ徵收スルト云フヤウナ場合ニハ外ノ法案ニモ多ク斯ウ云フ場合ハ其行政官ノ處分ニ對シテ不服アル者ハ訴願ガ許シテアルノデゴザイマスカラ、ソレ故ニ「第二十二條第一項」ヲ加ヘマシタ、ソレカラ前ノ二十三條ノ裁決、行政官ノ裁決ニ對シテ不服アル者ハ訴願ガ許スト、ソレカラ此前項ノ場合ニ於キマシテ行政廳ノ處分又ハ裁決ガ違法ノ處分デ此權利ヲ傷害セラレタトキニハ行政裁判所ニ出訴スルト云フコトニ致シマシタ、是ハ他ノ法案ガ總テ違法處分デ權利ヲ傷害サレタトキニハ行政裁判所ニ持出スト云フコトニナッテ居リマス、ソレ等ト同ジヤウニ致シマシタ譯デアリマス、ソレカラ朱書ノ二十五條、是ニ「三十日以内」トアリマスルモノヲ「六箇月以内」ト致シタ、是ハ其金額ニ附イテ不服ノ者ハ通常裁判所ヘ持出スト云フ期限デ、此三十日ヲ六箇月ト長クシマシタノハ外ノ法ガ斯ウ云フ風ニナッテ居リマス、例ヘバ河川法ノ六十二條ニモ丁度之ト同一ノ場合ガアル、サウ云フ除害工事デモシマシテ其補償金額ニ附イテ不服ノ者ハ通常裁判所ヘ持出シテ宜シイ、其期限ハ六箇月以内ニ持出スト云フコトガゴザイマスカラ、ソレト同ジヤウニ均シク權衡ヲ保チマス爲ニ六箇月ト修正致シマシタ、ソレカラ二十六條「本法ニ依リ免許ヲ受クヘキモノニシテ」ト云フ字ヲ二十六條ノ頭ヘ冠ラセマシタ、是ハ原案ヲ見マスルト「免許ヲ受ケス又ハ免許ノ條件若ハ制限ニ違背シテ第三條又ハ第四條ノ漁業ヲ爲シタル者ハ」云々トアッテ突然「免許ヲ受ケス」トアッテハ何ノ免許ダカ、ドコカラ免許ヲ受ケルノダカ、チヨイト分ラナイ、ソレデ即チ此免許ヲ受クベキモノト云フノハ第三條第四條ノコトデゴザイマスカラ本法ニ依リ免許ヲ受クベキ漁業ニシテ免許ヲ受ケヌデスルトカ或ハ免許ノ條件ニ違背シタル者ハト云フコトニナリマスレバ餘程「免許ヲ受ケス」ト云フコトガ能ク分リマス、即チ本法ニ依ッテ免許ヲ受クヘキ者ガ受ケナイ、ソレ故ニ此「免許ヲ受ケス」ト云フコトヲ明ニスルガ爲ニ本法ノ「免許ト云フコトヲ玆ヘ明ニスガ爲ニ加ヘマシタ、下ノ三條四條ハ「本法ニ依リ免許ヲ受クヘキモノニシテ」ト上ニアレバ是ハ全ク

餘計ナコトゴザイマスカラ削リマシタ、ソレカラ修正ノ三十條デゴザイマス、原案ノ三十二條、附則デゴザイマス、此原案デゴザイマスルト「本法施行前ニ受ケタル漁業ノ免許又ハ公有水面使用免許ニ因リ第三條ノ漁業ヲ爲ス者本法施行ノ日ヨリ六箇月以内ニ出願スルトキハ之ニ免許ヲ與フヘシ」ト云フコトガアリマス、ソレデハ從前免許ヲ得テ居ル者デ今日マデ免許ヲ得テサウシテ此漁業ヲ致シテ居ル者、或ハ又水面ノ使用ト云フコトモ矢張り牡蠣ノ養殖場採ト云フモノハ矢張り此水面ノ使用免許ヲ得テ居リマス、其免許ヲ得テ者デモ今度更ニ願出サセルト云フコトニナッテ居リマス、是ハ委員會ニ於キマシテモ非常ニ論ノアルノデ、隨分今日ハ銘々免許ヲ得テ居リマシテモ隨分此等ノ澤山アル場合ニナッテ居リマス、中ニハ慣行ヲ破リタイト云フ者モ隨分澤山アリマス、漁業ト云フモノハ慣行ニ依ルト云フコトニナッテ居リマスケレドモ、又中ニハ慣行ヲ破ッテサウシテ自分ノ漁權ヲ擴メタイト云フ者モ隨分澤山アリマス、漁業ノ中ニハ……然ル處今度若シ免許ヲ從來受ケテ居ル者デモ更ニ免許ヲ受ケサセルト云フコトニナリマシタナラバ直グニ均シク、オレノ方ヘ免許ヲ欲シイト言ッテ出テ來ルニ違ヒナイ、ソレデ此原案デアリマスルト云フト其期日ノ六箇月以内ニ出願シナケレバ免許ノ漁業權ヲ失ッテシマフト云フコトデ、餘程エライコトデアル、若シサウ云フ者ガ他カラ出マシテ爭チシタトカ云フトキハ終ニ六箇月經ッテシマフ、サウスルト從來免許ヲ得テ居ル者ハ權利ヲ失フト云フコトニナル、實ニ漁業者ニ於キマシテハ少シモ安ンゼラレナイ法案ダラウト私共ハ思ヒマス、ソレデ此從來免許ヲ受ケテ居ル者ガ更ニ免許ヲバ願出シテ之ニ與ヘルト云フ、サウ云フ第一手數ニハ及ブマイ、是ハ容易ナラヌ手數ガ掛ルデアリマスカラ、全國デ百萬カラノ漁業者ガ皆願出ルコトニナッタラ實ニ容易ナラヌ、ソレデ丁度シマヒノ三項ニハ北海道ニ於キマシテ免許ヲ得テ居リマス者ハソレハ即チ此法ノ施行ノ日ヨリ免許ヲ得タモノト看做シテヤルト云フコトニナッテ居ル、北海道ノ漁業者ニ於キマシテハ即チ其施行ノ日ヨリ更ニ免許ヲ受ケルニ及バナイ、免許ヲ受ケタモノト看做シテヤルト云フコトニナッテ居ルカラ大變宜シイ、所ガ其他ハ總テ免許ヲ得タ者ニ更ニ免許ヲ受ケサセルト云フコトハ無益ナ手數バカリデナク從ッテ是ニハ弊害ガ生ズラウト云フノデ、丁度之ヲ北海道ト同ジク均シク致シマシタ、從前免許ヲ得テ居リマスル者或ハ建網トカ第三條ノ常設漁具其他第四條ニ特ニ免許ヲ得テ居ルヤウナ者ハ別ニ免許ヲ願出サンデモ、モウ其日カラ本法ニ依ッテ免許ヲ得タ者ト看做シテ居ルデアリ

マスカラ、是デ餘程漁業者ノ爲ニハサウ云フ手數モ掛ラズ又政府ノ方デモ餘程能クナリマス積リデアリマス、併ナガラ免許期間ハ「第五條ノ期間内ニ於テ地方長官之ヲ定ム」ドウシテモ是カラ以後ノ免許期間ト云フモノヲ定メマセヌト從來中ニハ此無年限ノモノガ澤山アリマス、北海道アタリ隨分其他ニモ無年限ノモノガゴザリマシテ殆ド其權利ト云フモノハ永世何時マデモ行クモノダト思ッテ居リマス、併ナガラドウモ此年限ノナイト云フモノハ却ッテ一方カラ見マスルト民法ノ設定ガナイ以前ハ宜シウゴザイマシタガ、民法ノ設定後ハ却ッテ無年限ノ者ハ權利ガ危イコトニナル、年限ガゴザイマスレバ二十年ナラ二十年ノ年限ガゴザイマスカラ二十年ノ間完全ニ漁業ヲ致シテ居リマスガ、無年限ト云フ場合ニハ何時デモ取還スコトガ出來ル、民法上出來ル、年限ノナイ者ハアシタ取還サレテモ仕方ガナイ、ソレ故ニ年限ト云フモノガ必要デアル、又取締上年限ハ必要デアル、ソレ故ニ此度ハ年限ヲバ五條ニ於キマシテ二十年年ト云フコトガ政府ノ案ニモ出テ居リマスカラ免許期間ト云フモノハ二十年年以内與ヘルモノデ、併ナガラ是ハ亦免許ノ期間ガ過ギタラ更ニ二十年年過ギタ後ソレガ繼續シテイケルト云フコトヲ示シテゴザイマスカラ、ソレデ北海道ノ漁業者モ大ニ安心スルダラウト思ヒマス、ソレデ免許ノ期間ダケハ是ハドウシテモ地方長官ガ是カラ先キ何年ト云フコトヲ定メテ、其先キハ又繼續スルト云フコトニナリマスカラ、少シモ漁業者ノ權利ニハ差支ナカラウト思ヒマス、ソレデ斯ク修正ヲ致シマシタ、二項ハ無論ニ前ノ免許ヲ願出ルト云フコトガ削レマシタカラ自然ノ結果要ラナイ譯デアリマス、三項モ同ジイ譯デアリマス、ソレカラ三十一條、是ニ「六箇月以内」ト云フノチ「一箇年以内」ニ致シマシタ、是ハ從來ノ慣行上、少シモ免許ヲ持ッテ居ラナイト云フ者ガ中ニアル、漁業者ニ於キマシテ無免許デ漁業ヲシテ居ル、今日ハ殆ド是ハナイ、大概今マデナイ者モ今日ハ得テ居リマスケレドモ、併ナガラマダ全クナイト云フコトモ言ヘナイ、ソレデ從來カラ無免許デ權利ナクシテ慣行上漁業ヲシテ居ル者ガゴザイマス、是等ハ此際免許ヲ得サセルト云フコトニシテ其漁業者ノ權利ヲ確メル爲ニモ必要デアリ、又免許モナクシテ何時マデモ漁業ヲスル譯ノモノデナイ、サウ云フ者ガアッタラソナ者ハ此一箇年内ニ出願スレバ直グ其者ニ免許ヲ與ヘテヤル、六箇月ト云フト餘リ期限ガ短ウゴザイマスカラ期限ヲ倍ニシマシテ一箇年ニ延バシマシタ、是モ隨分議論ガゴザイマシタケレドモ、是ハ漁業者ノ爲ニ權利ヲ確メテヤルト云フコトデゴザイマスカラ却ッテ漁業者ノ望ム所ノコトデアラウト云フノデ、

唯期日ダケナ延バシテ置キマシタ、ソレヨリ第三十二條「本法施行前ニ於テ行政廳ノ許可ヲ得テ設置シタル漁業組合ニシテ本法又ハ本法ニ基ツキテ發スル命令ノ規定ニ牴觸セサルモノハ本法施行ノ日ヨリ本法ニ依リ設置シタルモノト看做ス」是ハ從來漁業組合ト云フモノハ全國殆ド今日ナイ所ハナイト言ッテモ宜シイノデゴザイマス、マア山國トカ云フ外ハ大抵漁業組合ト云フモノガ出來テ居リマス、其漁業組合ト云フモノハ從來設置シテゴザイマス漁業組合ナバ此法律ガ出タ爲ニソレヲ打壞ハシテ更ニ漁業組合ヲ作り直サセルト云フコトハ隨分手數ヲ要シ隨分同業者ニモ迷惑ヲ掛ケマス、ソレ故ニ將來此本法ニ牴觸スルモノハ仕方ガゴザイマセヌガ、牴觸ナキ上ハモウ本法施行ノ日カラシテ本法ニ依ッテ即チ其漁業組合ヲ設置シタルモノト……此法律ニ依ッテ出來タモノト看做スト云フコトニナッテ手數ガ省ケルモノデアリマスカラ此一條ヲ加ヘマシタ、是ハ唯リ漁業法案バカリデゴザイマセズ、既ニ昨日本院デ決議ニナリマシタ產牛馬組合法ニモ加ヘテゴザイマスカラ是等ニモ依リマシテ一條ヲ加ヘマシタ、ソレデ此修正ニナリマシタ概略ハ唯今申上ゲマシタ通りデゴザイマスルガ、實ハ其他ノ各條ニ附キマシテ殆ド一條デモ議論ノナイ一條ハナイ位ニ實ハ委員會デモ審議ヲ致シマシタ、其他ノ條ニ附イテ尙ホ御質問ガゴザリマシタラバ御質問ニ應ジテ其他ノ條ノ説明ヲ致シマスル積リデゴザリマスルガ、ドウゾ此漁業法ト申シマスルモノハ實ニ是マデ本邦ニ於テ漁業法ノナイト云フハ實ニ先ヅ缺典ト云ハナナレバナラヌト思フ、他ノ法律ハ何デモゴザリマスルガ此漁業ノ盛ナル所ノ漁業國ニ於テ未ダ漁業法ノナイト云ウデハ相成ルマイト思ヒマスカラ、是ハ一日モ速ニ此漁業法ガ出來マセヌト云フト、年々漁業ト申シマスルモノハ人口ノ増加ニ從ヒマシテ漁場ハ狹クナリマシテ濫獲酷漁ト云フヤウナコトガ所々ニ起リマシテ、細カイモノマデモ捕盡シテシマフト云フコトニナル、又ソレガ爲ニ漁場ガ狹クナリマスカラシテ漁場ノ爭ト云フモノガ頻々ト起ッテ來マスソレト云フモノハ畢竟マダ漁業法ガゴザイマセヌカラ濫獲酷漁モシマスルシ漁場ノ爭トモ成行キマスル故ニ一日モ早ク此法案ト云フモノハ出來ナクテハナラヌト思フ、ソレノミナラズ前年ニハ當業者中ニ反對ヲ致シマシタ者モゴザリマシタガ、今日ハ實ニ當業者ガ此漁業法ヲ望ミマスルコトハ實ニ大早ノ雲霞ヲ望ムガ如クニ希望ナシテ居リマスル譯デ、是ハドウゾ速ニ御決議ニナラムコトヲ希望致シマス

○男爵北垣國道君 委員長ニ御尋チ致シマス、此漁業法案ノ必要ハ固ヨリ御

同感デアリマスルガ、唯一箇條疑ガアリマスカラ御尋チ致シマス、第五條ニ於キマシテ年限ヲ御定ニナリマシタ、此年限ノ漁業ニ於キマシテ必要ナルコトモ御問感デアリマス、サリナガラ委員長ハ全國各地方ノ漁業ノ有様ハ總テ御熟知デアリマスルガ、此漁業權ニ於キマシテハ數百年又ハ數代、占領、占有ト云フヤウナ有様ニナッテ居リマスル所ガアリマス、其漁業ノ有様ニ於キマシテハ今日マデハ確乎占領シタモノ、占有シタモノト自分ニハ信ジテ、其漁業者自ラハ信ジテ居リマスルカラ、之ニ其漁業ニ對スル所ノ總テノ船入場、ソレカラ海產干場、倉庫其他ノ建築、是杯ニ資本ヲ投ジテ居リマスルコトハ莫大ナモノデ、是ハ委員長御承知ノ通りデアリマスルガ、數萬圓乃至十數萬圓之ニ費シテ居リマス者モアリマス、是杯ニハ此五條ヲ以チマシテ少シモ困難ヲ見マセヌ譯デアリマセウカ、二十年經過シマシタ後ニ繼續シテ漁業サレマスモノナラ少シモ困難ハアリマセヌガ、萬一二十年經過シマシテ其後ニ再ビ願ッテ許可ヲ得ナイト云フヤウナ場合ニハ殆ド破産ノ有様ニナラウト思ヒマスカラ是等ハ如何ナモノデアリマセウカ、ドウモ少シ此所ガ分リマセヌカラ御尋チ致シマス

○村田保君 御答ヲ致シマスガ、先刻本員ヨリ此五條ノコトハ略々申上ゲシタ積リデゴザリマスガ、少シ本員ガ説明ガ足りマセヌデ、サウ云フ御疑ガ出タノカモ知レマセヌ、唯今仰セノ通り北海道又ハ富山、石川、アノ邊ノ建網、臺網ト云フヤウナモノハ全ク無年限デアアル、今日マデ無年限デ或ハ漁業權ヲ持ッテ居リマス、然ル處先刻モ申シマスル通り無年限ノ權利ト云フモノハ極ク誠ニ弱イノデス、ソレハ民法制定前ハ強イコトモシテ居リマスガ、制定後ニナリマスト無年限ト云フモノハ權利ハ弱イ、何ゼト云フト是ハ固ヨリ漁業權ナント申シマスルモノハ一個人ノ自身ニ屬スルモノデハナイ法人ニ屬スルモノト見レバ……ソレノミナラズ一個人ノモノデモ無年限ノモノナラ、イツデモ取消スコトモ取還スコトモ出來ル、例ヘバ一個人ノ借貸デモ私ガ人ニ家ヲ貸スカ地面ヲ貸ス、無年限デ貸シマスレバ明日取還スコトモ出來ル、ソレ故ニ無年限ト云フモノハ今日ハ人ガ借りナイ、年限ヲ附ケテ置キマスレバ年限内ハ動かサレナイ、ソレ故ニ是ニモ二十年トシマシタノハ民法ノ貸借權ヨリ二十年トシタノデ二十年ノ間ハ安全デアアル、又二十年經ッタ時ハドウダト云フト是ハ即チ二項ニ在ル「免許期間ハ之ヲ更新スルコトヲ得」即チ免許期間ノ更新ト云フコトハ一口ニ申シマスレバ繼續スル……早ク申シマスレバ繼續スルコトガ出來ルゾト云フコトヲ二項ニ加ヘマシタ、ソレデ委員會

ニ於キマシテ更新ト云フ文字モ随分議論が出マシタガ、ドウモ更新ト云フコトハ繼續スルコトトハ見エヌデヤナイカ、外ニモ斯ウ云フコトハナイ、所ガ民法ニハ是ガアル、民法ニハ之ヲ更新スルコト云フコトニナッテ居リマス、即チ更新ト云フコトニスルト免許ヲ得テ二十年スルト又二十年願フ、ソレカラ又二十年トイッマデモ出來ルト云フ譯、故ニ更新ト云フ字ガアル、是ハ唯リ民法バカリデハナイ昨年當院デ決議ニナリマシタ國有林野法ノ十三條ニモアノ更新年限ト云フモノハ繼續スルコトガ出來ルヤウニナッテ居リマス、ソレデ更新繼續ガ出來ルトニナリマスレバ北海道ノ漁業者ニ於テモ異論ノナイコトデ、是ハ此前ノ案ノトキハ北海道、富山、石川アタリカラ唯今北垣男爵ノ言ハレルヤウナ論デ大變心配シタコトガアッタガ、之ヲ更新スルコトガ出來レバ異論ノナイコトヲ營業者モ申出テ居リマス、故ニ是ハ別ニ御心配ハナイダラウト存ジマス

○男爵北垣國道君 モウ一應御尋致シマス、然ラバ此第二項ノ更新ト云フコトハ繼續ト云フコトニ看做シテ宜シウゴザイマスカ

○村田保君 左様デゴザイマス、即チ其事ヲ申スノデ……

○男爵北垣國道君 ソレデハ了解シマシタ

○千坂高雅君 一箇條委員長ニ御尋シタイノデゴザイマス、此第二十七條デゴザイマス「第十五條ノ補償金額ニ對シ不服アル者ハ補償金額ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内」ト云フノヲ「六箇月」ト一足飛ノ修正ニナッテ居ルノハ何カ理由ノアルコトデゴザイマスカ、此「六箇月」ト御修正ニナッテ譯ヲ承リタイ

○村田保君 御答シマスガ、是ハ先刻本員カラ此事ハ述ベマシタ積リデアリマスガ、或ハ其時分ニ御聽ニナリマセヌデシタカ……

〔千坂高雅君私ハ居マセヌデシタカラ知リマセヌ〕ト述ブ

ソレデ是ハ「三十日」トゴザイマスルガ、此事柄ト同一ノコトガ河川法ニアアル、河川法ノ六十二條ヲ御覽ニナリマス河川法ニ矢張り斯ウ云フ除害ノゴザイマシタ其時分ニ附イテハ其今ノ損害ノ者ニハ……損害シタラ其者ニ補償金額ヲヤル、其補償金額ニ不服ノ者ハ通知ヲ受ケタル日ヨリ六箇月以内ニ通常裁判所ニ出口、之ト同ジ文ニシタノデアリマス、所ガ河川法ニ「六箇月」トアリマスカラ此所ニ三十日トシテハ大變此方ノ此時日ガ少イ、河川法ト同ジ事柄デアルカラ、サウシテ見レバ同ジヤウニ此六箇月ニシヤウト云フコトニナッタ、是ハ河川法ニ據リマシタ

○議長(公爵近衛篤磨君) 他ニ御質問ガナクバ本案ニ讀會ニ移スベキヤ否ヤノ決ヲ採リマス、本案ヲ二讀會ニ移スニ御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 然ラバ二讀會ニ移スベシト決シマス

○馬屋原彰君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望シマス

○子爵高野宗順君 私ハ反對デス、苟ノニモ三十三條マデニ是ハ成立ッテ居ル法案デゴザイマスカラ、是ハ能ク今村田委員長カラ委シク委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報道ニナリマシタガ、餘程委シイ村田サンノコトデトアリマスシ、其方々ガ寄ッテ十分御審議ニナリマシテ、遂ニ七回マデ委員會ヲ御開キニナッテ御論議モアリマシタコトデスカラ缺典ハアリマスマイト考ヘマスガ、併シ何分我々ハ昨日此報告ヲ受取リマシタ次第デゴザイマシテ、マダ十分ニ研究スル實ハ問モゴザイマセヌ次第デゴザイマス併シ苟ノニモ是ハ……單簡ノ案デゴザイマスレバ或ハ其讀會ヲ省略シテモ宜イコトデゴザイマセウト思ヒマスガ、此法案ダケハドウカ定規ノ時日ヲ與ヘラレマシテ十分審議ノ上ニ尙ホ審議ヲ盡シテ此議場デ可決シタイト考ヘマスカラ、ドウカ定規ノ時日ヲ與ヘラレムコトヲ希望致シマス、本日ハ二讀會ニ移スト云フダケノコトニ致シタイト私ハ考ヘマス

○千坂高雅君 唯今ドナダデゴザイマシタカ、二讀會ニ直チニ移スベシト云フ方ノ御論ガアリマシタガ、甚ダ私ハ不同意デアリマス、大分修正モ一二ノ修正デハゴザイマセズ精神ノ變タ所モアル、委員長自ラ言ハレル如ク一條毎ニ議論ガアッタト云フ位デゴザイマスカラ、ドウダニ二讀會ハ篤ト勘考ノ上開カレムコトヲ希望致シマス

○關義臣君 高野子爵ニ贊成デゴザイマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 二讀會ヲ直チニ開クト云フ說ハ贊成ガアリマセヌデ成立ッテ居リマセヌ、精神病者監護法案、政府提出、第一讀會ノ續、特別委員長報告

(特別委員修正案)

精神病者監護法

(特別委員ノ修正ニ係ル條ノミヲ載録ス)

第一條 精神病者ハ其ノ後見人配偶者四親等内ノ親族又ハ戸主ニ於テ之ヲ監護スルノ義務ヲ負フ但シ民法第九百八條ニ依リ後見人タルコトヲ得サル者ハ此ノ限ニ在ラス

監護義務者數人アル場合ニ於テ其ノ義務ヲ履行スヘキ者ノ順位ハ左ノ如シ但シ監護義務者相互ノ同意ヲ以テ順位ヲ變更スルコトヲ得

第一 後見人

第二 配偶者

第三 親權ヲ行フ父又ハ母

第四 戸主

第五 前各號ニ掲ケタル者ニ非サル四親等内ノ親族中ヨリ親族會ノ選任

シタル者

第三條 精神病患者ヲ監置セムトスルトキハ行政廳ノ許可ヲ受ケヘシ但シ急迫ノ事情アルトキハ假リニ之ヲ監置スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ二十四時間内ニ行政廳ニ届出ツヘシ

前項假監置ノ期間ハ七日ヲ超ユルコトヲ得ス

行政廳ノ許可ヲ受ケテ監置シタル精神病患者ノ監置ヲ廢止シタル後三箇年内ニ更ニ之ヲ監置セムトスルトキ又ハ民法第九百二十二條ニ依リ禁治產者ヲ監置セムトスルトキハ行政廳ニ届出ツヘシ

第五條 監置シタル精神病患者治癒シ死亡シ若ハ行方不明ト爲リタルトキ又ハ其ノ監置ヲ廢止シタルトキハ七日内ニ行政廳ニ届出ツヘシ

第六條 精神病患者ヲ監置スルノ必要アルモ監護義務者ナキ場合又ハ監護義務者其ノ義務ヲ履行スルコト能ハサル事由アルトキハ精神病患者ノ住所、住所地ナキトキ又ハ不明ナルトキハ其ノ所在地市區町村長ハ勅令ノ定ムル所ニ從ヒ之ヲ監置スヘシ

第八條 精神病患者監置ノ必要アルトキ監護義務者其ノ義務ヲ履行セス又ハ監置不適當ト認ムルトキハ行政廳ハ第一條第二項ノ順位ニ拘ラス監護義務者ヲ指定シ之ヲ監置ヲ命スルコトヲ得但シ急迫ノ事情アルトキハ行政廳ハ假リニ其ノ精神病患者ヲ監置スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ第三條第二項ノ規定ヲ準用ス

市區町村長ニ於テ監護スル精神病患者ノ監護義務者ヲ發見シ又ハ監護義務者其ノ義務ヲ履行シ得ルニ至リタルトキ亦前項ニ同シ

本條ニ依リ精神病患者ノ監置ヲ命セラレタル監護義務者其ノ命ヲ履行セサルトキハ第六條ノ例ニ依リ市區町村長ニ於テ之ヲ監護スヘシ

本條ニ依リ監護義務者ノ監置シタル精神病患者ニ關シテハ行政廳ノ許可ヲ受ルニ非サレハ其ノ監置ヲ廢止シ又ハ監置ノ方法若ハ場所ヲ變更スルコ

トヲ得ス

第十條 監護義務者監護ニ要シタル費用ハ被監護者ノ負擔トシ被監護者ヨリ辨償ヲ得サルトキハ其ノ扶養義務者ノ負擔トス

市區町村長ニ於テ監護スル場合ニ於テ之ヲ爲要スル費用ノ支辨方法及其ノ追徴方法ハ行政廳及行政旅死人取扱法ノ規定ヲ準用ス

第十四條 官吏公吏又ハ行政廳ノ命ヲ受ケテ公務ヲ行フ醫師本法ノ執行ニ關シ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ聽許シタル者ハ刑法第二百八十六條ノ例ニ照シテ處斷ス

因リテ不正ノ所爲ヲ爲シタル者ハ三年以下ノ重禁錮ニ處シ百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第十五條 官吏公吏又ハ行政廳ノ命ヲ受ケテ公務ヲ行フ醫師本法ノ執行ニ關シ賄賂ヲ收受聽許セスト雖情ニ徇ヒ又ハ怨ヲ挾ミ不正ノ所爲ヲ爲シタル者亦前條第二項ノ例ニ同シ

第十七條 左ニ掲グル者ハ二月以下ノ重禁錮ニ處シ二十圓以下ノ罰金ヲ附加シ又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス但シ監置又ハ拘束ノ日數十日ヲ過クル毎ニ一等ヲ加フ

一 許可ヲ受ケス又ハ届出ヲ爲サス若ハ命ヲ受ケスシテ精神病患者ヲ監置シタル者

二 禁治產ノ宣告又ハ監置ノ許可ヲ取消サレ又ハ監置ノ廢止ヲ命セラレ若ハ假監置ノ期間ヲ經過シタル後監置ヲ廢止セサル者

三 許可ヲ受ケ又ハ届出ヲ爲シ若ハ命ヲ受ケタル程度ヲ超エテ精神病患者ヲ拘束シタル者

第十九條 左ニ掲グル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

一 監置ノ方法若ハ場所ノ變更ヲ命セラレ其ノ命ヲ履行セサル者

二 監護義務者精神病患者ノ監置ヲ命セラレ其ノ命ヲ履行セサル者

三 第八條第四項及第九條第一項ニ違背シタル者

第二十一條 本法ハ明治三十三年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

本法施行前ヨリ精神病患者ヲ監置シタル者ニシテ仍之ヲ繼續セムトスルトキハ本法施行ノ日ヨリ二箇月内ニ第三條ノ許可ヲ受ケ又ハ届出ヲ爲スヘシ

第三條ノ許可ヲ受ケス又ハ届出ヲ爲サスシテ前項ノ期間ヲ經過シタル後監置ヲ廢止セサル者ハ第十七條ノ例ニ照シテ處斷ス

本法中市區町村長ニ屬スル職務ハ市制區制町村制ヲ施行セサル地ニ在リ
テハ市區町村長ニ準スヘキ者之ヲ行フ

〔伯爵正親町實正君演壇ニ登ル〕

○伯爵正親町實正君 委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報道致シマス、本案ハ昨年ノ十三議會ニ於テ政府カラ提出サレマシテゴザイマスガ、其時ニ於テ隨分此法案ニ付キマシテハ議論モゴザイマシタシ種々審査ニ手間取りマシタ結果、遂ニ審査中ニ會期モ終了ニ至リマシタ爲ニ遂ニ報告ヲ致サズニ終リマシタコトデゴザイマス、然ルニ本年更ニ又此案ヲ提出サレマシテゴザイマスガ、本年ノ案ハ昨年トハ大ニ法案ノ體裁等モ改マリマシテ餘程宜シクナリマシタヤウニ考ヘマス、ソレデ委員會ハ都合三回開キマシタ、其間ニ於キマシテ逐條綿密ニ委員諸君ヨリ質問モゴザイマシタ、且ツ討議モ色々ゴザイマシタ結果、遂ニ斯ノ如ク修正ヲ加ヘマシテ本案ヲ可決スルト云フ運ビニナリマシテゴザイマス、就キマシテハ此案ノ修正ニナリマシタ理由ヲ是ヨリ申上ゲマス、其前ニ此法案ガ提出サレテ且ツ此法案ノ必要ナリト云フ所ノコトヲ申上ゲマスルガ、此精神病者ノ取締ニ關シマシテハ現今別ニ是ト云フ規定モゴザイマセヌ、尤モ民法ニハソレゾレ規定サレタル所ノモノモゴザイマスガ、是ハ主トシテ財産上ノ方ニ止マリマシテ其社會ニ及ボス障害ヲ防止スルトカ又病者ノ身體ヲ保護スルト云フ方法ニ附キマシテハ何等ノ規定スル所モゴザイマセヌ、ソレデ唯今サウ云フコトニ附イテハ現在ドウシテ居ルカト申シマスレバハ各府縣ニ於キマシテ府縣令ヲ以テ大體取扱ヲ致シテ居ルノデゴザイマス、併ナガラ是トモ最モ不十分ナモノデアリマスルカランシテ、ソレデ以テ満足スルト申スヤウナコトハ出來マセヌノデ、故ニ斯カル病者ニ附イテ社會ニ危害ヲ及ボス所ノモノヲ防止シ且ツ病者其者ノ身體ヲ保護スル爲ニ一ノ法案ヲ設ケラレルト云フコトハ是ハ最モ今日ノ急務デアラウト考ヘマス、ソレデ段々審査ヲ遂ゲマシタ所デ遂ニ此修正ヲ加ヘマシタコトデゴザイマスガ、ソレデ此第一條ノ二項ニ但書ヲ加ヘマシタ「但シ監護義務者相互ノ同意ヲ以テ順位ヲ變更スルコトヲ得」ト云フ字ヲ加ヘマシタ、是ハ此監護義務者ノ順位デ見マスルト、第一ニハ後見人ガ義務ヲ負ハナケレバナラヌ、第二ニハ配偶者、第三ニハ親權ヲ行フ父又ハ母、第四戸主、第五云々ト云フ順序ニナッテ居リマス、然ルニ今日日本ノ狀況ヲ見マスルニ成ル程此後見人ハ財產上ノ權利ヲ代表スルトカ云フヤウナトキニ於テハ無論後見人ガ先ニ立ツト云フノハ當然ノコトデアラウガ、斯ウ云フ一家ノ内部ニ立入ッテ病者ノ身體

ヲ保護スルトカ、或ハ監護スルトカ云フヤウナコトニ於テハマア今日ノ普通ノ情態ト致シマシテ重ニ此戸主ガ斯ウ云フ世話ヲヤクト云フコトガ今日我邦ノ有様ニナッテ居ル、デ其他戸主ニ附イテハ或ハ父母トカ配偶者トカ云フヤウナ順位ニナッテ居ルノデアッテ、後見人ガ先ツ第一ニサウ云フ義務ヲ負ハマナラヌト云フコトハ今日世俗ノ風習ニドウモ反シテ居ルヤウニ思ハレル、是ハ此順位ハ一ツ變更シテ戸主ヲ第一ニシテ親權ヲ行フ父又ハ母ト云フノヲ二ニ、配偶者ヲ三トシ、後見人ヲ四トスルト云フヤウニ順位ヲ轉倒シテ置イタナラバ却ッテ宜シカラウト云フ說モアリマシテ、之ニ贊成者モゴザイマシタガ、尙ホ段々研究ヲ遂ゲマシタ所、一體今日ノ民法ガ斯ウ云フ順位ノ主義デ出來テ居リマシテ、例ヘバ後見人ヲ選定シマスルニモ先ツ以テ配偶者ノ夫ガ後見人ニナルトカ、其次ニハ親權ヲ行フ父又ハ母ガナリ、其次ニ戸主ガナル、又扶養ノ義務者ノ順位ニ於テモ第一ガ配偶者、次ガ直系ノ卑族親、ソレカラ直系ノ尊族親、次ガ戸主ト云フヤウナ風ニ總テ戸主ト云フモノハ常ニ第四第五位ノ所ニ据エテアルト云フ一體民法ノ組立ガサウナッテ居ル、故ニ此法律ノミガサウ云フ風ニ順位ヲ轉倒シテ第一ニ戸主ガ出ルト云フヤウナコトニナッテモ甚ダ趣旨ニ違フコトデアルト云フコトデアリマシタ、併ナガラ前申シタ所ハ成ル程日本ノ今日ノ所デハサウ云フ世話ハ重ニ戸主ガスルト云フコトデアッタナラバ戸主ヲ先キニサセルト云フノモノ一應尤ナコトデアアル、又且ツ習慣ニ適シタコトデアアル、故ニ法律ノ順位トシテハ此通りニ致シテ置クガ宜シイガ監護義務者ノ互ノ相談ノ上ニ依ッテ其順位ヲ變更スルコトニ於テハ別段差支モナイコトデアラウ、是ハ其場合ニ於テ便宜ヲ計ッテ監護義務者ハ互ニ申合セテ順位ヲ變更スルト云フコトニ致シテ置イタナラバ宜カラウト云フコトカラシテ監護義務者相互ノ同意ヲ以テ順位ヲ變更スルコトモ出來ルト云フコトノユトリヲ之ニ附ケマシタ譯デゴザイマス、ソレカラ第三條ノ第二項ニ「前項假監護ノ期間ハ五日ヲ超ユルコトヲ得ス」ト云フノヲ「七日」ト云フコトニ變リマシタ、是ハ詰リ別段深イ意味ハゴザイマセヌガ、田舎ダノ寒村僻地等ニ參リマシタ時分ニハ警察モ遠ケレバ郡役所モ遠イト云フヤウナ所ニ於テ假ニ監禁シテ置イテ其五日ノ間ニ總テノ手續ヲスルト云フコトハ隨分切迫シタ話デアルカラ、是ハモウ二日延バシテ七日ト云フコトニ致シタナラバ宜シカラウト云フダケノ主意デ是ハ七日ト云フコトニ致シマシタ、ソレカラ第五條ノ「五日」ト云フノガ「七日」ニ變リマシタ、是モ矢張り前ト同シヤウナ理由デ、一方ニハ郡役所ニモ屆タナケレバナラヌ、又一方ニハ警察署ヘ

届ケナケレバナラヌ、三方四方ニ奔走スルト云フヤウナ場合デアッテ見レバ矢張り是モ七日位ノ猶豫ヲ取ッテ置イタ所ガ差支アルマイデハナイカト云フ理由カラシテ詰リ七日ト云フコトニナリマシタ、ソレカラ第六條ノ「履行セス若ハ」ト云フ字ヲ削除致シマシタ、是ハ詰リ精神病者ヲ監護スルノ必要アルモ監護義務者ナキ場合又ハ監護義務者其義務ヲ履行スルコトノ出來ナイ場合、斯ウ云フ時分ニハ其所在地ノ市町村長ガ勅令ノ定ムル所ニ依ッテ監護ノ義務ヲ負ハナケレバナラヌト云フコト、是ダケナラバ宜イガ、ソコヘ履行セヌト云フ、監護義務者ガ其義務ヲ履行シナイ者モ市町村ガ直ニ受ケテ監護ノ義務ヲ負ハナケレバナラヌト云フノハ少シハ不都合デアル、先ヅ以テ監護義務者ガ履行スルコト能ハザル理由ノアルモノハ仕方ガナイガ、サウデナイ者ガ唯履行シナイト云ウテ直ニ市町村ガ其病者ヲ引受ケテ監護シナケレバナラヌ義務ノアルノハナカシイ、先ヅ以テ一應行政廳カラ履行シロト云フ命令ヲ下シテ其命令ニモ取合ハナイトキニ於テハ一方ニハ此義務者ヲ罰シ、一方ニハドウモ引受ケル者ガナイ以上ハ仕方ガナイカラ市町村ガ其義務ヲ負フト云フノガ順序デアルガ、唯履行シナイト云ウテ市町村ニ其義務ヲ負ハセルノハ不都合デアルカラ、是ハ第八條ノ方ニ譲ッテ此處ニ於テハ之ヲ削除致シテ置イタ方ガ宜カラウ、斯ウ云フ理由デハハ削リマシタ、ソレカラ此「市町村長」ト云フ所ヘ「區」ノ字ガ這入リマシタ、是ハ終リノ第二十一條ニ市町村長ト云フコトノ取除キガ出テ居ルヤウデアリマスガ、併シ現在今日ハ區ト云フモノガ獨立シテ居ル、現ニ北海道ナリ沖繩ナリニ獨立シタ區ト云フモノガアル、アル以上ハ矢張り是ニハ區ト云フコトヲ加ヘテ置イタ方ガ至當デアルカラシテ「市町村長」ト云フコトニ致シテ置イタ方ガ宜カラウ、現ニ先達テ當院デ議決ニナリマシタ汚物掃除法案ノ中ニモ斯ウ云フコトガアッタ、故ニ現ニサウ云フ例モアルコトダカラ是ハ當然、區ト云フモノヲ入レテ置イタ方ガ至當ナコトデアルト云フノデ此「區」ト云フ字ガ這入リマシタ、ソレカラ第八條、第八條ノ「精神病者監護ノ必要アルトキ」ト云フ下ヘ即チ六條デ削リマシタ所ノ監護義務者カ其ノ義務ヲ履行セスト云フコトヲ加ヘマシタ、ソレデ監護ノ必要アルトキ監護義務者ガ其義務ヲシナイトカ又ハ監護ガ不適當ト認メタ時分ニハ行政廳ハ第一條第二項ノ順位ニ拘ラズ監護義務者ヲ指定シテ官廳ガ命ズルコトガ出來ル、ソレデ若シ監護義務者ガアッテ其義務ヲ徒ニ履行シナイ時分ニハ行政廳ガ監護義務者ヲ制シテ之ニ監護ヲ命ズルト云フコトニナリマス、ソレデ此二項ノ「市町村長」ト云フ所ニ「區」ノ字ガ這入リマシタ、是

ハ矢張り前ト同ジ理由デ斯ウナリマシタ、然ルニ此監護義務者其義務ヲ履行シナイ時分ニ行政廳ガ命ジテモ履行シナイト云フトキニハドウスルカト云フ疑ガ起リマスカラ、其時分ニハ無論義務者ハ一方ニ於テ罰セラレマスガ、サテ義務者ヲ罰シタ所ガ其病人ヲ監護スル者ガナイト云フ場合ハ甚ダ不都合デアリマス、元ト六條デハ市町村ニ其義務ヲ負ハセルト云フコトニナッテ居リマスガ、六條カラ取除ケテコチラニ移シタ以上ハ何カ之ニ市町村ニ義務ヲ負ハセルト云フ所ノ條文ガナイト不都合デアリマスカラ、ソレ故ニ三項ニ持ッテ行ッテ「本條ニ依リ精神病者ノ監護ヲ命セラレタル監護義務者其ノ命ヲ履行セサルトキハ第六條ノ例ニ依リ市町村長ニ於テ之ヲ監護スヘシ」ト云フ一項ヲ加ヘマシタ、是ニ依リマス市町村長ト云フモノガ監護シナケレバナラヌト云フコトニナリマス、ソレカラ第十條ニ此「監護義務者」ト云フ字、チ上ヘ加ヘマシタ、是ハ元カラ監護義務者ノ積リデ原案ガ出來テゴザイマスサウデゴザイマシテ、監護義務者ガ監護ニ要スル費用云々ノコトデアリマスガ、併シドコモカモ監護義務者ト云フ者ノ頭ニ關シテ居リマスカラ此文字ヲ入レテ置イタ方ガ文意ガ明ニナラウト云フ所カラ此「監護義務者」ト云フ文字ヲ加ヘマシタ、ソレデ此「區」ノ字ノアリマスノハ矢張り前ト同ジ理由デアリマス、ソレカラ第十四條第十五條、是ハ少々修正ガ入組ンデ居リマスカラ能ク御話ナシナイト分リ惡イト思ヒマス、原案ノ十四條ノ趣旨ハ「官吏公吏又ハ行政廳ノ免許ヲ受ケテ公務ヲ行フ醫師本法ノ執行ニ關シ不正ノ所爲ヲ爲シタル者ハ三年以下ノ重禁錮ニ處シ百圓以下ノ罰金ヲ附加ス」ソレカラ第十五條ハ「官吏公吏又ハ行政廳ノ命ヲ受ケテ公務ヲ行フ醫師本法ノ執行ニ關シ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ聽許シタル者ハ刑法第二百八十六條ノ例ニ照シテ處斷ス」斯ウアリマス、賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ聽許シタル者ハ刑法第二百八十六條ノ例ニ照シテ處斷スルゾ、此前ノ不正ノ所爲ト云フノハドウ云フノデアルカ、即チ賄賂ヲ收受シテ居ル者デアルカ、賄賂ヲ收受セズト不正ノ行爲ヲ爲シタル者カ、又ハ其處ニ事情ガアッタ若クハ怨ヲ挾ンデシタコトデアルカ、又ハ何モサウ云フコトモナク、斯ウ云フ不正ノ所爲ヲ爲シタト云フコトガ甚ダ判明シマセヌカラ、ドウモ不十分デアルト云フノデ、ソレデ詰リ刑法ノ二百八十五條以下ニ明ニ其事ノ區別ガ書イテアリマスカラ矢張り其體裁ニ慣ッテ斯ウ云フ風ニ明ニ書分ケタ方ガ分リ易クテ宜カラト云フ所カラシテ斯ウナリマシタ、且ツ此順序ニ於テモ少シ此第十四條ト十五條ト轉倒シテ十五條ヲ先ニ出シタ方ガ順序ガ宜カラウト云フ譯デ、十四條ハ「官吏公吏又ハ行政廳ノ

命ヲ受ケテ公務ヲ行フ醫師本法ノ施行ニ關シ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ聽許シタル者ハ刑法第二百八十六條ノ例ニ照シテ處斷ス」ソレデ二項ヘ持ッテ行ッテ「因リテ不正ノ所爲ヲ爲シタル者ハ三年以下ノ重禁錮ニ處シ百圓以下ノ罰金ヲ附加ス」ト云フコトニナリマシタ、刑法ノ例ニ依リマシテモ「裁判官、民事ノ裁判ニ關シテ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ聽許シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス因テ不正ノ所爲ヲ爲シタル時ハ一等ヲ加フ」斯ウ云フ風ニ賄賂ヲ取ッタ時分、不正ノ行爲ヲ爲シタル時分ニハ是ダケノ罰ヲ加ヘルト云フヤウニ明ニ區別ナシデアリマス、賄賂ヲ取ッダケト賄賂ヲ取ッテ不正ノ所爲ヲ爲シタル者トノ區別ナシマシタ、ソレカラ第十五條ニハ唯賄賂モ取ラズ聽許モセヌ、又情實モナク、或ハ怨ヲ……サウデハナイ、少シ申シ違ヒマシタガ、十五條ハ賄賂モ取ラズ許聽ナシナイト雖モ唯何カ其處ニ事情ガアルトカ又ハ怨ガアッタトカ云フ爲ニ不正ノ所爲ヲ爲シタル時分ニモ矢張り前二項ノ例ニ依テ處斷ナスル、ソレデモウ一遍申シマスト前ノハ賄賂ダケヲ取ッダ者ハ刑法第二百八十六條ノ例ニ依ッテ處斷サレル、其上ニ不正ノ行爲ヲ爲シタル者ハ三年以下ノ重禁錮ニ處シ百圓以下ノ罰金ヲ附加ス、十五條ニ行キマシテ賄賂ハ取ラズ聽許モシナイガ、併シナガラ其情ニ徇ヒ又ハ怨ヲ挾ンデ不正ノ所爲ヲ爲シタル者ハ矢張り前條ト同ジ罰ニ當レルト云フコトニ書分ケマシタ、意味ニ於キマシテハ原案ト別ニ變リマセヌ、唯體裁ヲ斯ノ如ク改メマシタ譯デゴザイマス、ソレカラ十七條ノ第二項ノ一ニ「許可ヲ受ケス又ハ届出ヲ爲サス若ハ命ヲ受ケスシテ精神病者トシテ人ヲ監置シタル者」此「トシテ人」ト云フ四字ヲ削除致シマシタ、是ハ斯ウ書イデアリマスト云フト許可ヲ受ケズ又ハ届出ヲ爲サス若ハ命ヲ受ケズシテ精神病者トシテ人ヲ監置スル、精神病者デナイ者ヲ精神病者トシテ監置スルカノヤウニ見エマス、原案ノ趣旨ヲ聞クトサウデハナイ、精神病者デアルト云フ話デアリマス、ソレデ勿論許可モ受ケズ届出ヲセズシテ恣ニ精神病者トシテ監置シタルト云フノハ甚ダ不都合ナコトデアルカラ、十七條デ二月以上ノ重禁錮ニ處シ二十圓以下ノ罰金ヲ附加スルト云フコトハ適當デアルガ、併ナガラ法律ヲ知ラヌ爲ニ惡意ナクシテ法律ヲ知ラヌ爲ニ届出ナシナカッタ者ニ對シテ斯ノ如キ體刑ヲ加ヘラル、コトハ甚ダ憫然ノ話デアル、ソレハ眞ニ過失カラ出タモノデアルカラ、サウ云フモノハ「又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス」罰金ノ刑ニ處シテアル、サウ云フコトデ又ハ罰金ノ條ヲ加ヘテアルト云フ話デアリマス、サウ云フ譯デアルナラバ

詰リ精神病者デケノ者デアッテ精神病者デナイ者ヲ恣ニ監置シタルコトナレバ是ハ敢テ此法律ニ依ラズトモ一般ノ刑法ニ依ッテ不法監禁罪ノ取締ガアルカラ、是ハ一般ノ刑法ニ任セテ置イテ此處ハ精神病者デケノコトニ致シテ置イタ方ガ宜カラウ、サウ云フトキニ於テハ「トシテ人」ト云フ字ヲ入レテ置クト何カ精神病者デナイ者ヲ殊更ニ精神病者ノ如クシテ監置スルカノ如クニ見エマスルカラ、此四字ハ削除シテ置イタ方ガ穩當デアルト云フコトカラシテ此四字ヲ削リマシタ、ソレカラ十九條「第三項」ガ四項ト云フコトニナリマシタ、是ハ前ノ八條ノ修正ニ一項ヲ加ヘマシタ爲ニ一項ガ下リマシテ、自然ノ結果トシテ三項ガ四項ニ回ハリマシタダケノコトデアリマス、二十一條ノ「尙」ト云フ「シヤウ」ノ字ガ人扁ニ乃ト云フ字ニ變リマシタノハ「尙」ノ字ハ初カラ誤リデアッダソウデアリマス、是ハ正誤ニナッタ譯デアリマス、二項ヘ「第三條ノ許可ヲ受ケス又ハ届出ヲ爲サスシテ前項ノ期間ヲ經過シタル後監置ヲ廢止セサル者ハ第十七條ノ例ニ照シテ處斷ス」ト云フ一項ガ這入リマシタ、ソレハ第一項ニ「本法施行前ヨリ精神病者ヲ監置シタル者ニシテ仍之ヲ繼續セムトスルトキハ本法施行ノ日ヨリ二箇月内ニ第三條ノ許可ヲ受ケ又ハ届出ヲ爲スヘシ」ト云フコトガアリマス、併ナガラ若シ之ヲ届出ナシナカッタ時分ニハドウスルカト云フト別ニ制裁ガナイヤウデアリマス、併シ政府委員ハ十七條ノ「許可ヲ受ケス又ハ届出ヲ爲サス若ハ命ヲ受ケスシテ」ト云フノヲ適用シテ差支ナイト云フ話デアリマシタガ、併シ是デハドウモサウ云フ風ニ見エナイニ依ッテ矢張り是ニハ一項ヲ加ヘテ此處ニ書イテ置タガ明瞭ニナッテ宜シイト云フ所カラ二項ヲ加ヘマシタ譯デアリマス、ソレカラ末項ニ參リマシテハ是ハ詰リ前ニ「區」ト云フコトヲ入レマシタ結果トシテ斯ウ云フコトニナリマシタ、即チ「市區町村長ニ屬スル職務ハ」區長ト云フモノハ別ニ東京市京都市大阪市ニ在リテハ區長ト云フコトヲ書カズトモ「區」ト云フ字ガ這入ッタ以上ハ之ハ削除シテ差支アリマセヌカラ「市區町村制ヲ施行セサル地ニ在リテハ市區町村長ニ準スヘキ者之ヲ行フ」ト致シマシタ、是ハ即チ「區」ノ字ヲ入レマシタ結果トシテ斯ウ云フコトニ改マリマシタ、修正ノ大略ハ今申シマシタ通りノ次第デアリマス、尙又之ニ附キマシテ御質問ガアリマスレバ本員ノ記憶致シテ居リマスダケハ御答ヲ致シマス、尙ホ足ラザル所ハ他ノ委員諸君カラモ御答ガゴザイマセウト思ヒマス

○中西光三郎君 委員長ニ伺ヒマスガ、十四條ニ「聽許シタル者ハ」トアリ

マス、十五條ニ「聽許」ト云フコトガアリマス、是ハ御修正ノ意味ヲ考ヘマスレバ賄賂ヲ收受シ又ハ聽許スル契約ヲ爲シタル者ト云フ意味ノ……(低聲聽取シ難シ)解シ兼ネマスルカラ其意ヲ伺ヒタウゴザイマス

○伯爵正親町實正君 少シ聽取シ兼ネマシタカラ、モウ一遍大キナ聲デドウゾ……

○中西光三郎君 十四條ノ朱書ニ「賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ聽許シタル者ハ」トアリマス、聽許ト云フノハ現在賄賂ヲ收受セズシテ追ッテ賄賂ノ金額ヲ受授スベキ契約ヲ豫約シタルト云フヤウニ解釋シテ宜シウゴザイマスカ

○伯爵正親町實正君 ソレデ宜シウゴザイマス

○中西光三郎君 然ラバ豫約ト云フ意味ニ聽許ト云フ字ヲ使フノハ面白クナカラウカノヤウニモ考ヘラレマスガ、斯様ナ例ハ法文ニ於テドツカニ例ノアルコトデゴザイマスカ、伺ヒタウゴザイマス

○伯爵正親町實正君 ソレハ矢張り刑法ニ其通リニアルノデアリマシテ、一例ヲ申セバ刑法ノ二百八十五條ニ「裁判官民事ノ裁判ニ關シテ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ聽許シタル者ハ」云々ト云フコトガアリマス、ソレデ詰リ現在ノ刑法ガサウ云フ文字ヲ使ッテ居リマスデ、ソレデ宜カラウト云フ譯デアリマス

○松本鼎君 チョット伺ヒマスガ、第十四條デアリマス、十四條ノ修正ヲ讀ンデ見マスト云フト「因リテ不正ノ所爲ヲ爲シ」云々ト云フノガ第二項ニナッテ居リマス、サウシマス二項デ「因リテ」ト云フノハ分リマセヌ「賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ聽許シタル者ハ」刑法第二百八十六條ノ例ニ照シテ處斷ス」トアッテ別項ニ「因リテ」トシタルガドウ云フ積リデ「因リテ」ト云フノカ分ラナイ、二ツ續ケテ書イテアレバ分リマスガ二項ニアルノガ分リマセヌ

○伯爵正親町實正君 是モ矢張り刑法ノ體裁ニ倣ッタノデ、刑法ガ矢張りサウ云フ風ニナッテ居リマス、一例ヲ申セバ「裁判官民事ノ裁判ニ關シテ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ聽許シタル者ハ」二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス」因テ不正ノ裁判ヲ爲シタル時ハ一等ヲ加フ」トナッテ居リマス、ソレデ賄賂ヲ取ッタル若クハ聽許シタル時分ニハ是ノ刑ニ處スゾ、其上ニ不正ノ所爲ヲ爲シタル者ハ罰ヲ重クスルゾトナルノデアリマス

○松本鼎君 「不正ノ所爲ヲ爲シ」ト云フノハ賄賂ヲ取ッテ刑法ニ依テ處分ナシテ其上ニ尙ホ不正ノ所爲ヲシタルハ三年以下ノ重禁錮ニ處スト云フノデアリマスカ

○伯爵正親町實正君 サウデヤナイ、賄賂ヲ取ッタルデアレバ是ダケノ刑ニ

處スル、併シ賄賂ヲ取ッテ取ッタル爲ニ、尙ホ不正ノ所爲ヲシタルト云フコトニナレバ尙ホ刑ガ重クナルト云フノデアリマス、ソレデ裁判官デモ賄賂ヲ取ッタルデ裁判ニ於テ不正ノ事ヲシナイデアレバ刑ガ輕イ、併シ賄賂ヲ取ッタル爲ニ不正ノ裁判ヲ爲シタル場合ニハ罪ガ重クナルト云フ譯デアリマス

○子爵高野宗順君 委員長ニ伺ヒマスガ、今十四條ノ御質問ガアリマシタガ、是ハ成ル程今委員長ノ御答辯ニ依ッテ賄賂ノ收受聽許ト云フノハ中西サシノ質問デ承リマシタガ、十五條ノ矢張り收受聽許ノコトデアリマスガ、賄賂ノ收受聽許ト云フ譯ハ分リマシタガ、文章上變ナモノカト考ヘマス、此方ノ十四條ノ方ニハ賄賂ヲ收受シ、是ハ取ッタル方、十五條ハ取ッタル方ハ取ッタルデアリマスガ、十四條ノ方ニ「賄賂ヲ收受シ」トアッテ十五條ノ方ハ取ッタルデアリマスガ、十四條ノ方ニ「賄賂ヲ收受シ」トアッテ十五條ノ方ハ取ッタルデアリマスガ、文章ノ體裁ハ「賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ聽許シ」トゴザイマスノハ同ジコトデアッテモ文章上ノ體裁ガ宜イト思ヒマス、細カイコトデアハゴザイマスケレドモ十五條ノ方ニハ「醫師本法ノ執行ニ關シ賄賂ヲ收受聽許セスト雖」云々トゴザイマス、ソレハ詰リ譯ハ分ッテ居リマスケレドモ「賄賂ヲ收受又ハ聽許」ト「又ハ」ト云フコトヲ入レマシタラ、ハッキリシマセウカト考ヘマスガ……ソレカラ茲ニ「情ニ徇ヒ又ハ怨ヲ挾ミ不正ノ行爲ヲ」云々トゴザイマスガ、成ル程事實ハサウ云フコトモゴザイマセウト思ヒマスガ、サウ云フ「怨ヲ挾ミ」ト云フ法文ガ如何ナルモノカト思ヒマスガ、是モ私ガ法律ニ暗イカラ旁伺フノデゴザイマスガ、若シモ差支ガゴザイマセヌケレバ「故意ヲ以テ」云々ト斯ウナリマシタルバ故意ト云フ中ニ怨ト云フコトモ包含スルコトニ相成ラウカト考ヘマスガ、其邊ハ法文ニ「怨ヲ挾ミ」ト云フコトガアリ、又譯ハ分ッテ居リマスガ「收受聽許」ト斯ウノベツニ書イタル例ガ刑法ノ文例ニアルモノデゴザイマスガ、チヨット其邊ヲ伺ヒタウゴザイマス

○伯爵正親町實正君 是モ矢張り現在ノ刑法ニ則ッタノデ、刑法ノ文句ヲソツクリ寫シタルデ尙ホ其上ハ御修正ナ……

○村田保君 本員ハチヨットシタ文字ノコトヲ伺ヒタイ、第一條ニ但書ヲ加ヘラレマシタルニ「監護義務者相互ノ同意ヲ以テ」ト云フコトガアルガ相互ノ同意デナイ同意ガアリマセウカ、同意スルノニ相互ト云フ……相互ト云フ字ハ同意ノ上ニ附イテ……同意ト云フコトハ御互ニスルカラ同意デアルト思ヒマスガ「相互」ト云フ字ガ附キマシタルハ何カ是ハ外ニ理由デモアリマスカ、チヨット伺ヒタイ

○伯爵正親町實正君 別ニサウ云フ譯デハアリマセヌ、唯意味ハ先刻申シタ通り相互ノ相談ト云フ意味デアリマス

○村田保君 ソレカラ尙ホ一ツ伺ヒマスガ、是ハチヨット試ニ伺ッテ置キタイ、此十七條ニ今度罰金バカリノコトガ加ヘラレマシタガ、是ハ刑法ノ方ニハ罰金バカリト云フノハナイ、私ニ監禁シタノニハ……所ガ是ハドウ云フモノデゴザイマセウ、ソレカラ「拘束ノ日數十日ヲ過クル毎ニ一等ヲ加フ」ト云フノハドウ云フ風ニ……例ヘバ百圓以下ノモノニ一等加ヘルト云フノハドウ云フ風ニ加ヘラレルカ、チヨット伺ヒタイ、十日ヲ過グルト一等ヲ加ヘルト云フノハ百日ノトキニハ幾ラニナルカ其割合ハ幾ラ……

○伯爵正親町實正君 是ハ十日目……十日ヲ過グレバ尙ホ一等ヲ加フト斯ウ云フコトニナルデアラウト思ヒマス

○村田保君 一等ト云フノハドウ云フ一等……百日ノモノヲ十日經ッたら一等ヲ加ヘルト、ドウ云フコトニ……

○伯爵正親町實正君 ソレハ委員會デモ別ニ何ハアリマセヌデシタガ、尙ホ此原案ニ附イテ委シイコトハ政府委員ニ……

○村田保君 モウ宜シウゴザイマス、強ヒテ必要ハ……

○高橋喜惣治君 此第十七條ノ「若ハ命ヲ受ケスシテ精神病者トシテ人ヲ」ト云フ「トシテ人」ト云フ字ヲ消シマシタガ、是ハ精神病者トシテ人ヲ監置シタルト云フ「トシテ」ト云フ字ヲ取ッテ餘程意味ガ變ッテ來ヤウカト考ヘマス、此原文ニ依ッテ見マス精神病者ニアラザル者ヲ精神病者トシテ監置シタルト本當ノ精神病者ニナッテ少シ意味ガ變ッテ來ハセヌカト思ヒマス、チヨットドウ御説明ナ……

○伯爵正親町實正君 其事ハ先刻一應申述ベタ積リデアリマスルガ、原案ノ何ハ精神病者デナイ者デモソレカラ精神病者モ此中ニ這入ッテ居ルト斯ウ云フ意味デアル、何ゼナラバ「罰金ヲ附加シ」ノ下ヘ「又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス」ト云フコトハ詰リ故意ヲ以テ許可ヲ受ケズ又ハ届出デズシテ精神病者ヲ監置シタルキハ無論此通り罰セラレルガ、併ナガラ法律ヲ知ラヌ爲ニ届出ツベキモノカドウカト云フコトモ知ラズシテ届出デナカタ者ハ體刑ヲ加ヘルノハ惘然デアルカラサウ云フ者ニハ罰金ダケデ置キタイト云フ精神ダサウデアリマス、サウスルト精神病者トシテ人ヲ監置スルト云フコトニ書ケバドウシテモ精神病者デナイ者ヲ殊更ニ精神病者トシテ監置スルトシカ讀メマセヌ

故ニソレデハ甚ダ不都合デアルカラ此項ニ於テハ全ク精神病者ダケニシテシマッタ、眞ノ精神病者ヲ監置スル場合ニ當ッテ許可ヲ受ケズ又ハ届出ナシナイ者ハ斯ウ斯ウ此罰ニ處スト言ヘバ知ラズシテ爲シタ者ハ罰金ダケデ済ムト斯ウ云フコトトナル、ソレカラ精神病者デナイ者ヲ精神病者トシテ監置シタルハドウ云フ風ニスルカト云フコトニナリマス、是ハモウ精神病者デモナイ者ヲ濫ニ監置シタル者デアルカラ濫ニ人ヲ監置シタル者ハ一般ノ刑法デ制裁ガ加ヘラレルト、斯ウ云フ精神デ修正ヲ加ヘタノデアリマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 大抵質問モ盡キマシタヤウデゴザイマスカラ二讀會ニ移スベキヤ否ヤノ決ヲ探リマス、本案二讀會ニ移スベシト云フコトニ御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○伯爵正親町實正君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトナ……

〔「贊成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 直チニ第二讀會ヲ開クト云フ動議ガ出テ、贊成ガアリマスガ、御異議ハアリマセヌカ

○田中芳男君 異議ガアリマス、此案ハ今朝受取りマシタ、本員共ハ議事日程ト共ニ今朝七時頃手ニ入りマシタ、定メテ他ノ議員ノ御方ニモサウ云フ方ガアラウト思ヒマス、然ル處此案ハ條數ガ二十條モアリマシテ特別委員ノ御修正モアリマシタカラ直チニ二讀會ヲ開クトハ止メラレテ定規ノ日數ヲ與ヘラレムコトヲ希望致シマス

〔「贊成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 定規ト云フノハ規則通り二日間ト云フ意味デアリマスカ

○田中芳男君 左様デアリマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 先日チヨット御相談シテ置キマシタ、先刻高野子爵ノ動議ニ附イテモ何デアリマスガ、議案ノ都合ニ依リマシテ定期ノ日數以內ニ議案ヲ出スコトガアルカモ知レヌト云フコトニ附イテハ御同意ヲ得テ置キマシタガ、是ハ特ニ二日間要スルト云フノデアリマスカ、ソレトモ今日議決スルノハ見合ハシテ明後日デモ宜シイト云フ意味デアリマスカ

○田中芳男君 明日ハ御休暇ノコトデアリマスカラ明後日デモ宜シイト云フ意味デアリマス

○議長(公爵近衛篤磨君) ソレデハ直チニ二讀會ヲ開クト云フ動議モ出デ居

リマスシ又異論モアリマスカラ起立ニ問ヒマス、直チニ第二讀會ヲ開クベシト云フニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(公爵近衛篤磨君) 少數、ソレデハ暫時休憩致シマス

午後零時九分休憩

午後一時十分開議

○議長(公爵近衛篤磨君) 是ヨリ午前ニ引續イテ會議ヲ開キマス、岡山縣下郡廢置法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告

(特別委員長修正案)

第一條 岡山縣下郡廢置ヲ爲スコト左ノ如シ

岡山縣美作國眞島郡及大庭郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ眞庭郡ヲ置ク
岡山縣美作國西條郡、西北條郡、東南條郡及東北條郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ苦田郡ヲ置ク

岡山縣美作國勝北郡及勝南郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ勝田郡ヲ置ク
岡山縣美作國英田郡及吉野郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ英田郡ヲ置ク
岡山縣美作國久米北條郡及久米郡南條郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ久米郡ヲ置ク

岡山縣備前國御野郡及津高郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ御津郡ヲ置ク
岡山縣備前國赤阪郡及磐梨郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ赤阪郡ヲ置ク
岡山縣備前國邑久郡及上道郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ邑上郡ヲ置ク
岡山縣備中國都宇郡及窪屋郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ都窪郡ヲ置ク
岡山縣備中國小田郡及後月郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ月田郡ヲ置ク
岡山縣備中國下道郡及賀陽郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ吉備郡ヲ置ク
岡山縣備中國上房郡及川上郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ上川郡ヲ置ク
岡山縣備中國哲多郡及阿賀郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ阿哲郡ヲ置ク

附則

第二條 本條ニ依リ廢スル郡ノ區域ニ依レル選舉區ヨリ選舉セラレタル縣會議員ハ其ノ各新ニ置ク郡ノ區域ニ依レル選舉區ヨリ選舉セラレタルモノト看做ス

第三條 本法施行ノ爲選舉區ニ於ケル縣會議員ノ數ヲ増減スル必要アルトキハ府縣制第七條及第八條ノ規定ニ依ル

第四條 本法ハ明治三十三年四月一日ヨリ施行ス

(柴原和君演壇ニ登ル)

○柴原和君 岡山縣下郡廢置法律案委員會ノ模様ヲ御報道致シマス、此廢置法律案ニハ即チ衆議院ヨリ回ハリマシタ案ヘ修正ヲ致シマシテ諸君ノ御手許ニ回ッテ居リマス、即チ是ハ修正マシタト申シマスモノノ即チ原案ノ儘デ其儘引直シタ、所謂復活デゴザイマス、少々文字ヤ何カ變リマス、又附則ノ方ハ原案ニハアリマセヌデゴザイマシタガ、是ハ衆議院ノ修正ヲ可ト致シマシテ其儘持出シタノデアリマス、此委員會ノ概略ヲ申上ゲマスレバ即チ委員會ハ衆議院ノ修正ハ不穩當デアラウ、原案ノ方ガ即チ人情風俗ニモ適シ郡ノ廢置ニ適當シテ居ルト云フ意見デ、委員會デハ九人ノ中一人ダケガ反對デゴザイマシテ、殘ラズ原案ニ復活、即チ衆議院ノ案ヲ修正致シタ次第デゴザイマス、其理由ノ重立ッタモノヲ申上ゲマスレバ、即チ原案デハ岡山縣備前國ニ於キマシテ邑久郡及上道郡ヲ廢シテ邑上郡ヲ置ク、斯様ナ原案デゴザイマシタ、又モウ一ツハ岡山縣備中國小田郡及後月郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ月田郡ヲ置ク、是ハ原案デゴザイマス、及岡山縣備中國上房郡及川上郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ上川郡ヲ置ク、又岡山縣備中國哲多郡及阿賀郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ阿哲郡ヲ置クト申スノガ原案デゴザイマス、ソレヲ衆議院デ修正致シマシタ、固ヨリ衆議院ノ修正ニ何ゼ委員會デ之ニ不賛成マシタカト申シマスニ、第一此岡山縣ノ郡ノ廢置ニ於キマシテハ隨分歴史モゴザイマス、其中昨年既ニ衆議院カラ貴族院ヘ回ハリマシテ其貴族院ニ回ハリマシタ中、岡山縣美作國……作州ノ方デハ政府案ニハ衆議院ガ反對ヲ致シマシテ、二郡宛ヲ以テ一郡ニ合セテ置イテアルヤウナ原案ヲ、四郡ヲ更正シテ一郡ヲ置クト云フコトニ衆議院デ修正ガゴザイマシタ、ソレハ貴族院ノ方デハ全會一致ヲ以テ原案ニ復活シテ、サウシテ衆議院ト協議會ヲ開クト云フ場合ニ閉院ニナリマシテ遂ニ行ハレマセヌデシタ、其節ニハ即チ唯今問題ニナッテ居リマス原案、備前國備中國ノ方ハ衆議院デモ悉ク賛成デ、即チ衆議院カラソレガ回ッタノデス、即チ昨年ノハ衆議院デ可決ニナッタ、然ルニ今年ニ至ッテ何ノ理由カ原案ヲ修正ニナッタ、尤モ其修正ニナリマシタ中ノ不都合ナト申シマスノハ岡山縣備中國阿賀郡ヲ廢シテ其ノ區域ノ一部云々、又岡山縣備中國哲多郡ヲ廢シ、其ノ區域ト阿賀郡ニ屬スル云々ト直シテアリマスルガ、即チ上房郡及川上郡ハ是マデ郡役所モ一ツデゴザイマシテ、ソレガ能ク民情ニ合ウテ居ルト云フ所カラシテ原案ガ出テ居リマスノデ、此度衆議院デハ此上房郡ガ如何ニモ小郡デアッテ自治ガ保テナイ

ト云フ所カラ致シマシテ、隣郡ノ阿賀郡ト申ス郡カラ五箇村ト云フモノヲ
持ッテ來マシテ、サウシテ其獨立ヲ保タサウト云フヤウナ細工が出來テ居ルノ
デゴザイマス、一體此原案ノ成行ヲ段々取調ベマスノハ即チ委員ノ中ノ一人
ノ千坂高雅君が御承知ノ通りニ岡山縣ニ永ク知事ヲ致サレマシタ、其千坂君
ノ辭ニ依リマス此郡ノ合併ハ高崎五六男ノ知事ノ時分カラ段々取調ベタ即
チ全國ニ於テ岡山縣釋郡ノ小サナ縣ハナイ、即チ郡ノ廢合以前カラ他日郡ノ
合併ヲ爲ス、先ヅ其下ヲ持ヘル爲ニ或ハ兩郡、三郡、四郡ヲ併セテ一郡役
所ヲ置イテ、他日合併スルノ基ニスルト云フ、是ハ即チ高崎男ノ一己ノ了簡デ
ハナク、知事デハアルケレドモ即チ内務大臣ノ訓令ヲ受ケ、サウシテ郡長ニ
モ諮リ、縣會議員ニモ諮リ、重立ッた者ニモ諮リテ其通り致シタ、ソレヲ千坂
高雅君が承繼イデ上申ニサッタト云フコトヲ千坂君が委員會デ御話ニナリ
マシタ、即チ今度ノ原案ハ我々ノ上申シタノト差違ハナイ、我々ガ上申シタ
ノト大キナ違ヒハナイト云フコトデゴザイマス、即チ此原案ハ斯ノ如ク鄭重
ニ時ノ知事ガ郡長並ニ縣會杯ニ相談ヲ致サレ、内務大臣ニ上申サレ、内務大
臣モ其上申ヲ容レラレタノガ此原案デゴザイマス、我々ハ是ガ宜シイト思フ
ノミナラズ此度衆議院ガ修正ニナリマシタニ附キマシテハ、地方ノ者等カラ、
或ハ諸君ノ所ヘモ書面ヲ出シ、又土地ノ者等が出テ、或ハ衆議院ノ修正ヲ贊
成シテ呉レ、或ハ政府ノ原案ノ如クニシテ呉レ杯ト區々ナコトヲ申シテ參リ
マスガ、慮心ニ土地ノ者ニ聞キマス矢張り原案ノ方ガ宜シイト思フノデア
リマス、デスノ如ク原案ノ宜シイモノヲ衆議院デ修正ナスルト云フ理由ハド
コモ見出サヌ、殊ニ此郡ノ廢合ニ附キマシテハ政府ノ即チ内務大臣ノ取ル所
ハ寧ロ人口ノ三萬人ヨリハ五萬人、又國稅ノ五萬圓ヨリハ七萬圓、八萬圓ト云
フヤウニ多クシテ、サウシテ力ノ強イ方ガ團體ノ原則デアッテ、ソレヲ保タ
サウト云フノガ内務省ノ方針デアアル、即チ内務省ハ其方針ヲ以テ、知事ノ上
申ヲ以テ此原案ヲ持ヘタノデアリマス、然ルニ衆議院ノ斯ノ如キ修正ハ何
分委員會デハ一同如何ニモ怪シイ、而シテ念ノ爲ニ政府委員即チ内務次官、
縣治局長杯ニ是ハ衆議院ニ全然贊成シタカト尋ネマシタラ、ドウモ曖昧ノ
返辭デゴザイマシテ、同意ナシタト云フコトデアリマス、同意ナサレルノハ
原案八年々歴史ノアル案ナリ、全體去年其通り政府カラ提出ニナリ衆議院モ
贊成シテ可決シタモノナ今年俄ニ衆議院デ修正ナシタノチ何故サウ贊成ヲ
爲サルノダト尋ネマシタ、此原案ガ惡クテ原案ガドウモ正當デナクシテ政府
委員ハ悔イテ大キニ惡ルカッタカラ衆議院ノ修正通り贊成シタノカト云フマ

デ折入ッテ尋ネマシタラ、決シテ左様デハナイ原案ガ固ヨリ宜イノデアアル、
衆議院ニ贊成シタノハマア是ナラドウカ斯ウカ自治ガ保テルノニハ不都合ガ
ナシ且ツ保テルダラウト云フノデ已ムヲ得ズ、マア不承不承同意シタト云フ
ヤウナ言デゴザイマシタ、段々推シテ見マシタ所ガ、イヤ是ハ岡山縣ハ全國
ニ於テ岡山縣ノミ未ダ郡制ヲ施イテナイカラ少々惡クッテモ勘辨シテ同意シ
テ呉レト云フヤウナ譯デゴザイマス、ソレデ我々委員ガ申シマスノニソレハ
至極尤ナコトデアアル、サリナガラ是ハ既ニ昨年モ此原案ニ衆議院モ贊成シ
テ可決シタノデアアル、サウ土地風俗ガ一年ノ間ニ變ル譯モナシ、モウ是ハ貴
族院ニ於テ原案ニ復活シテ此穩當ナル正確ナル案ニシタモノヲバ衆議院ニ協
議シタラバ衆議院モ頑乎トシテ執ルコトハアルマイ、必ズ衆議院モ慮心平氣
ニシテ岡山縣民ノ爲ニ政府案ニ復活スルコトハ同意スルノデアラウカラ其邊
ニ客ナラズシテ、即チ原案ノ通りガ宜カラウデヤナイカト云フコトマデ切
入ッテ政府委員ニモ相談シマシタ、併シ成ル程我々ニシテモ岡山縣ガ全國ニ
獨リ殘ッテ居ルノハ如何デアアル、早ク郡制ヲ施ケルモノナラ施カシタイ、故
ニスノ如ク前知事カラ、即チ高崎君千坂君ガ上申シタモノヲ内務大臣ガ採
用セラレタ案デアアル、段々其理由ヲ以テ衆議院ニ貴族院ノ議決ノコトヲ以テ
協議スルレバ必ズ衆議院ハ承諾スルニ相違ナイト我々ハ信ズル、併シ不幸ニ
シテ若シ協議ガ調ハナシタトキハ寧ロ爰デ遲レツイデニ一年ヤ二年遲レテ
モ差支ナイト思フ、如何トナレバ最早此郡ノ廢合ヲ巴斯ノ如ク致シテ爰デ
決シマスト再び又玆一年ヤ二年、三年ヤ十年ニ再び後トヘ展スト云フコトハ
出來ナイ、即チ此度ノ郡ノ廢合ニハ唯小田郡ト後月郡ダケハ郡役所ガ別デア
リマスガ、後トハ即チ目下合併ニナッテ居ル、其形モ其自治モ合併ニナッテ
居ル、唯法律デモッテ發布ニナッテ居ラヌト云フダケ郡役所モ一ツデゴザ
イマス、故ニ上房郡ノ如キハ殊ニ御承知ノ三島中洲翁ノ出マシタ所デ、今ハ
高梁ト言ッテ居リ、板倉子爵ノ領地デゴザイマス、是等ノ者ガ段々多人數參
リマシテ申スノニ上川郡ト二ツ合セレバ地勢モ其クアルシ、是マデノ郡役所
モ一ツデ誠ニ極ク能ク整ウテ居ル、然ルチ今度衆議院デ上房郡ノ方ガ如何ニ
モ小サイト云フコトデ阿賀郡ノ方カラ五箇村ト云フモノヲ山ヲ開イテ持ッ
來テ無理ニクッ附ケテ獨立ナサセルト云フコトハ甚ダ實際ノ風俗ニ疎イコト
デアリ、民情ニモ合ハヌコトデアアルカラ、原案ノ通りニシテ呉レト云フコトヲ
頻ニ申シテ來ッテ居リマス、是ハ御參考マデニ申シマス、サウ云フヤウナ次第
デゴザイマスカラ成ルベク衆議院ノ議決ヲ修正シテ原案ニ復活シタモノニ滿

場一致ヲ以テ御賛成ヲ願ヒタイ、然レバ必ズ衆議院デモ是ハ慮心平氣デ此結構ナル原案ニハ恐ラクハ異議ハアルマイト考ヘマス、尙ホ唯今委員中ノ一人ガ不同意ト申シマスノハ是ハ外デハゴザイマセヌ、先刻カラ申シマス元ト岡山縣ノ知事ヲ爲サレテ居ッテ昨年マデ此原案ニ賛成ヲ致サレテ居ッタル千坂高雅君ガ即チ御不同意、其御不同意ニ附キマシテハ委員會デモ實ハ御忠告申シタ次第デアリマス、既ニ昨年マデハ是ニ全然御賛成デアルシ又御自身ガ御上申ナススタ案デアアル、サウ土地、人情、風俗ガ一時ニ改マルコトモアルマイカラ、如何デゴザイマス一ツ改メテ委員ハ全會一致ト云フコトニ議長ニ報告シタラバ如何ト云フコトマデモ實ハ御注意シタ、所ガ千坂君ガ申サレルニハ、人ノ智慧ハ年々變ルモノデアアル、去年更クッテモ今年惡ルケレバ仕方ガナイトソレニ應ゼラレナイノデ、一人ノ御異論デ後ト八人ハ賛成デゴザイマス、今日ハ御出席ニナッテ居リマセヌガ、原田一道君ハ岡山縣ノ御方デ最モ委シイ、其委シイ方ガ申サレルニモ是ハ原案デナケレバナラヌ、併ナガラ衆議院ノ如ク修正デモスルヤウニナレバ即チ「岡山縣備中國下道郡及賀陽郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ吉備郡ヲ置ク」ト云フノハ衆議院デハ何トモ修正ハナクシテ其儘ニアルノデゴザイマス、之ヲ原田君ガ申サレマスノニ、外ノ郡ヲ斯ウ合併シテアルノヲ獨立サセルナラバ即チ此賀陽郡ノ如キハ人口ハ四萬四千人モアルシ國稅ニ於テハ八萬二千圓モアル、十分力ガアル、外ノ小サイ僅カ三萬ヤソコヲノ人口ノアル上房郡ダノナンノト云フヤウナモノハ、上房郡ハ二萬幾ラデゴザイマス、ソレハハ五箇村ヲ入レテ漸ク四萬ニ近イ位デ、ソレヲ獨立サセル位ナラバ即チ此賀陽郡ハ最モ獨立シナケレバナラヌト云フコトヲ段々喋喋ト實際ノ御話モアッタ位デゴザイマス、マダ此事ニ附イテ報告ヲ致シマスレバ長イコトハ澤山ゴザイマスガ、先ヅ大體ダケヲ申上ゲマス、就キマシテ此中「岡山縣備前國赤阪郡及磐梨郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ赤阪郡ヲ置ク」トアリマス、是ハ衆議院デハ「赤磐郡」ト云フコトニナッテ居リマスガ、此赤阪ト申スノハ即チ原案デゴザイマス、是ハ矢張り千坂君ヲカモ聞キマスノニ其赤阪郡ト申スノハ最モ有名ナ郡デ、大阪アタリニ備前米ト稱フルノハ大抵赤阪アタリカラ參ルノデアッテ餘程有名ナモノデアアルカラ著名ノ原案ノ方ガ宜カラウト原案反對ノ千坂君モサウ申サレマシタ、ソレカラ「備中國下道郡及賀陽郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ吉備郡ヲ置ク」是ハ衆議院ガ吉備郡ト修正ニナッテ備前備中杯デハ吉備ト云フコトハ著名ニナッテ居リマスカラ、ソレデ吉備郡ヲ置クト云フコトニ委員會デハ賛成ヲ致シマシタ、ソレカラ附則ハ原案

ニハアリマセヌガ、是ハ衆議院デ加ヘマシテガスカラ其理由ヲ段々政府委員ニ就キマシテ究メマシタレバ是ハ這入ッタ方ガ宜カラウ、然ラバ是マデノ各府縣ノ郡廢置ニモ這入ッテ居ッタカト申セバソレハナイ、ソレハ府縣制發布前ノコトデ府縣制發布施行後ハ是ガアレバ念ガ入ッテ宜カラウト云フコトデ、尤モ政府委員ハ府縣制第四條第七條第八條等ガアルニ依ッテナクテモ宜シイト思フガ有ッタ方ガ分明デ宜カラウト云フコトデアリマスカラ、委員會デモ全然賛成シタコトデアリマス、尙ホ千坂君カラ御自身ノ上申サレタコトヲ翻シテ衆議院ノ修正ニ賛成サレタ理由ハ御自身カラ御演說ガアリマセウ、ソレニ附イテハ委員ノ中カラ反駁モアリマセウシ、私モ亦反駁スルカモ知レマセヌガ、ドウカ斯ノ如キ案デアリマスルカラ衆議院ノ修正ヲ翻シマシテ原案ニ復活致シタル委員會ノ說ヲドウカ御賛成アラムコトヲ希望致シマス

○千坂高雅君 委員長ニ質問ガアリマス、唯今委員會ノ御報道ヲ承リマスレバ誠ニ高雅ヲ御信用下サレマシテ、十年モ前ニ郡役所合併等ノコトヲ上申致シタノヲ以テソレヲ信用ナサレテ今日マデモ此政府案ニ賛成ナサルト云フノハ誠ニ謝スルニ餘リアルノデゴザイマス、ソレニ附キマシテ邑久郡ト上道郡ノハ衆議院デ變ヘテ參ッタノヲ併セルト云フノハ今御演說アリマシタル高雅ヲ御信用一件デ之ヲ政府案ニ復活スル御主意デアリマセウカ、他ニ理由ガゴザイマセウカ、ソレヲ承リタイ、ソレカラ小田郡並ニ後月、上房、川上モ同様、此重ナル之ヲ獨立セシメナイ昔ノ歴史モ破リ慣舊モ捨テテ合併サセテ是非壓制シテモ抑付ケテ此郡ヲ獨立セシメナイ政府案ニ御賛成ニ附イテノ理由ヲ委シク承リタウゴザイマス

○柴原和君 唯今ノ御質問ハ邑久郡上道郡ノコトデアリマスガ、是ハ十何年前カニ高雅君ガ御上申ニナッタト云フコトデアリマス、其事ハ言ヒマセヌガ唯今ノ御質問デハ前ノ御尋ハ十餘年前ノコトヲ今ニ採用シテ居ル是ハ深く謝スルト云フコトデアリマシタハ是ハハチヨット辯ジテ置キマス

○千坂高雅君 邑久郡ト上道郡ヲ衆議院デ獨立セシメテ來タノヲソレテ是非併セニナラヌト云フ理由ハ、獨立ガ出來テ獨立サセテ來タモノヲソレテ政府案ハ併セル案デアリマス、ソレニハ何ゾ經濟ガ足ラナイトカ或ハ邑久ト上道ノ間ニ習慣人情同ジコトデ離ルベカラザル關係ガアルトカ何カノ理由ガナケレバ是ハ合スルコトハ出來ナイノデゴザイマス、之ヲ併セニヤアナラヌト云フ理由ハ何レニアッテ御決定ニナッタカ、ソコノ理由ヲ承リタウゴザイマス

○柴原和君 宜シウゴザイマス、先ノコトヲ申述べマス、前ニ八十何年前ト

云フ御話ガアリマシタガ、本員ハ其事ハ申シマセヌ、既ニ昨年ノ委員會ノ節ニ筆記モアリマスデガアセウ、千坂君ハ美作ノ國ノコトニ反對ヲ述ベテレテ他ノ原案ハ自分達ガ上申シタナンデアルカラ是デ差支ナイト云フコトヲ仰セラレテ居ル、十何年前ニ御上申ニモナッタカ知ラヌガ昨年ハ原案ヲ御賛成ニナッタト考ヘマス、ソレカラ邑久郡ト上道郡ノコトハ千坂君モ委員會ニハ御關席ナク御出ニナリマシタカラ定メシ委員會ノ説ヲ御聞デアリマセウ、私ニ御聞デナクトモ御承知ト思ヒマス、今日御出席ハアリマセヌガ生駒男爵即チ岡山縣ノ御方デ、此上道、邑久ハドウシテモ割イテハナラヌト確ニ申サレタコトト記憶シテ居リマス、ソレヨリ外ニ委員會デアリマセヌ、私ノ信ズル所ハ昨年ハ原案ニ……衆議院案デアリマセヌ政府案ニ御賛成ナスッタ所ヲ以テ見マスレバ千坂君モ何處マデモ上申サレタコトト考ヘル、殊ニ本年ノ委員會ニモ明言ナサレテ高崎男爵ノ經畫ノコトカラ今日マデ我々ノ上申シタノニ大差ナイト仰ッシャッタ、大差ナイトハ僅ナ小サナ違ハアルガ、此政府案ト大差ナイト本員ハ信ジテ居ル、且又邑久郡ト上道郡ハ何レ千坂君モ述ベラレタ通り郡ガ合併ニナッテ郡役所ガ一ツアル、サスレバ千坂君モ前ノ御上申ナリ又是デ宜シイト云フコトノ御論ヲ爲スッタ、ソレデ私共ハ永ク知事ヲ爲スッタ方ヲ信ジマシテ賛成ヲ致シタノデ其上ハ又御判斷ヲ待チマス

○千坂高雅君 然ラバ拙者ノ言ヲ御信用下サレテ政府案ニ復活ヲ爲サルノデ、無理ナル合併ヲ爲サル、ト云フノデ、外ニ合併セネバナラヌト云フ理由ハナイノデアリマスカ、兩郡併セニヤナラヌト云フ理由ハ千坂君信ジタ、千坂君信ジタ、千坂ガ上申シタト云フノデ、其外ニハアリマセヌカ

○柴原和君 アリマスノデス

○千坂高雅君 アルナラ承リタウゴザイマス

○柴原和君 委員會デアアリマセヌガ私一個ノコトデアリマス、千坂君モ委員會ニハ御出席デ委員會ノコトハ能ク御承知デアリマスカラ……

○千坂高雅君 一個人ノ御意見デモ宜シイカラ其御意見ヲ承リタイ

〔無用ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 委員長ノ資格デ答辯セラレルノデアリマスカラ一個人ノコトハ……

○千坂高雅君 ソレハソレデ宜シウゴザイマス、外ニ理由ハアリマセヌカ

○柴原和君 大分無用ノ聲ガ出マシタカラ私ハ答ヘタクテナライノデスガ差控ヘマス

○千坂高雅君 ソレカラ今一ツ……此阿賀郡ヲ廢シマシテ水田、上水田其他三箇村ヲ併セテ此五箇村ヲ上房郡ニ合シタト云フコトハドウモ思召ニ合ハナイヤウナ委員會ノ報告デゴザイマシタガ、此地形ト云フモノハドウ云フ地形デアッテ其阿賀ト上房トノ關係ノ程度ヲドウ御示ヲ願ヒタイモノデス

○柴原和君 是ハ委員會デモ段々説ガ出マシテゴザイマス、ソウシテ阿賀郡ノ此五箇村ヲ併セルノハ宜クナイト云フ説デゴザイマス、既ニ私杯モ委員會デアシタ阿賀郡ト上房郡トノ間ニ峠山ト云フ山ガアリマス、其山ヲ隔テテ併セルト云フハ不都合デアアル、却ッテ阿賀郡ニ在ル方ガ宜イ、又阿賀郡ノ總テノ人民ハ己ノ村ヲ他ノ郡ニ割イテヤルノハ甚ダ困ルドウ割カヌヨウニシテ貫ヒタイト云フコトハ阿賀郡民カラ申シテ來テ居ル、ソレ等モ參考ニハ話シマシタ、或ハ川上郡役所ガ高梁ニ在リマスカラ阿賀郡ノ新見ノ郡役所ヘ參ルヨリ高梁ヘ行ク方ガ便利デアアル、眞島郡杯カラ縣道ガ通ッテ居ル、ソレヲ來ルト却ッテ近イト云フコトヲタシカ千坂君カラノ説ノヤウニ覺エテ居ルガ、ソレハ別問題デ何分之割イテ他ノ郡ニ附ケルノハ不都合デアルト云フコトハ委員會ニモアリマシタ、其他私ノ一己ノ意見ナラバマダアリマスガ是ハ控ヘマス、モウ宜シウゴザイマスカ

〔政府委員小松原英太郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(小松原英太郎君) 此岡山縣下郡廢置法律案デゴザイマスガ、之ニ附キマシテハ唯今委員長カラ御報告モゴザイマシタガ、本案ニ附キマシテハ政府ハ衆議院ノ修正ニ同意ヲ表シテ居リマスノデ、衆議院ノ修正通りニ相成リマシテ差支ガナイノデアリマス、其理由ハ衆議院デ修正ニナリマシタノハ邑上郡、月田郡、上川郡ト此三郡ニ附イテ修正ヲ加ヘテゴザイマスガ、是ハ修正ヲ加ヘテ此在來ノ郡ヲ獨立致サセマシタ所デ人口ハ皆四萬以上、中ニ後月郡ト申スノガ三萬六千餘ノ人口デゴザイマスガ、其他ハ總テ四萬以上ノ人口ヲ有スルコトニナッテ居リマス、ソレデ全國ノ郡ニ附イテ郡制施行ニ附キマシテ郡ノ廢置處分ヲ致シマシタ其結果ニ附イテ見マシテモ、全國ノ郡ノ大小ヲ見マスルト凡ソ人口三萬以上七八萬マデノ郡ガ最も多イノデアリマス、大抵四萬以上ノ人口ヲ有シテ居リマスレバ郡ノ獨立ニ於テ敢テ差支ナカラウト思ヒマス、此修正ノ中デ他ノ郡ノ町村ヲ割イテ上房郡ニ編入致シマシテ併セテ郡界ノ變更ヲ加ヘタ修正ガ一ツゴザイマス、之ニ附イテ委員會ニ於カレテモ多少御論モアリマシタガ、此郡ノ廢置分合ニ附イテ町村ノ組替即チ郡界ノ變更ヲ爲スト云フコトハ是マデ澤山アルコトデアリマシテ、此事ハ少シモ

差支ナイコトト信ジマス、而シテ阿賀郡ト申シマスル郡ノ中ノ五箇村ヲ割キマシテ上房郡ニ編入致シマシタ、其理由ハ地勢交通ノ便ニ依リマシテ兼ネテ其五箇村モ上房郡ニ編入ヲ希望致シテ居ル村デアッテ、上房郡ニ編入致ス方ガ適當デアル、其五箇村ヲ上房郡ニ編入致シテ之ヲ獨立サセヤウト斯ウ申ス次第デゴザイマスカラ、是モ政府ニ於キマシテハ少シモ差支ナイ見込デアリマス、而シテ本案ハ今回是非トモ通過ヲ希望致シマスル次第ハ、曩ニ提出ノ理由ヲ述ベマシタ時分ニモ申上ゲテ置キマシタ通りデ、郡制施行ノ爲ニ必要ナル郡ノ廢置處分ハ岡山縣ヲ除クノ外ハ悉皆結了致シマシテ、一般ニ郡制ヲ施行致シテ居ルノデアリマスルガ、獨リ岡山縣ニ於キマシテハ郡ノ廢置處分ガ出來マセヌガ爲ニ郡制ノ施行ヲ見ルコトガ出來ナイ、岡山縣下ノ郡ノ人民ハ郡ノ廢置處分ガ出來ナイガ爲ニ地方自治ノ制ニ依ルコトガ出來ナイ不幸ニ居ルト云フ有様デゴザイマスルカラ、政府ニ於キマシテハ今回ハドウカ此法案ノ御協賛ヲ得マシテ岡山縣ニ於キマシテモ速ニ郡制ヲ施行シ一般地方自治ノ制ニ依ラシムルコトニ致シタイ希望デゴザイマス、右申上ゲマシタ通りノ次第デゴザイマスカラ、ドウゾ衆議院修正ノ通り速ニ御協賛アラムコトヲ希望致シマス

○子爵谷干城君 政府委員ニ質問致シマス、今ノ御説明ニ依ルト矢張り此阿賀郡ノ中ヲ割イテ他ノ郡ニ分ケルノデスナ、前ノアナタ方ノ御提出ナサレタ法案デハ一郡ハ一郡デ纏マルコトニナッテ居ルガ……

○政府委員(小松原英太郎君) 合併スルコトニハナッテ居リマス

○子爵谷干城君 ソレハ合併ハ固ヨリノコトデ、二郡ガ一郡トナルハ無論デアリマスガ……サウ云フ譯デアリマスナ、ソレデサウ致スト、ドウモ私ハ政府ノ御方針ガ分ラヌト思フカラ伺フノデアリマスガ、元ト成ルタケ力ヲ強クスル爲ニ合併ナスルガ御主意デアリマセウ、サウデチャアリマセヌカ

○政府委員(小松原英太郎君) サウデゴザイマス

○子爵谷干城君 ソコデ先年以來、段々御調ニナッテ前縣令、前々縣令、サウシテ現今ノ縣令モ即チ同意デ、サウシテ内務大臣モ穩當ダト御認ニナッテ出タモノデアリマスカ、サウデスナ

○政府委員(小松原英太郎君) サウデゴザイマス

○子爵谷干城君 宜シウゴザイマス、ソレナラ是ガ一番正シイモノト認メテ宜イ

○男爵小澤武雄君 此備中國阿賀郡ヲ廢シテ其一郡ヲ置クト衆議院デ修正致

シマシタ所ニスルト、戸數ト人口ハ幾ラニナルカ、今一ツハ本院デ修正ニナッタ「上房郡及川上郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ上川郡ヲ置ク」ト云フコトニスルト其戸數、人口ガドレ程ニナリマスカ、ソレカラ其次ノ備中國哲多郡及阿賀郡ヲ廢スルト云フノモ同様ニ唯衆議院案ト貴族院デ修正ナシタ所ノ差ヲ承リタイト思ヒマス

○政府委員(小松原英太郎君) 御答致シマスルガ、上房郡ト申シマスルノニ阿賀郡ノ中ノ五箇村ヲ編入致シマス、其戸數人口ハ、戸數デ八千四百一、人口デ四萬二千二百七十一ニナリマス、ソレカラ阿賀郡ト申シテ阿賀郡ニ屬スル町村ヲ哲多郡ニ合併シマシタ、其郡ノ戸數、人口ハト申シマス、戸數デ八千八百七十三、人口デ四萬七千六十一ニナリマス

○男爵小澤武雄君 サウスルト貴族院ノ修正ノ通りニナレバ、ドウナリマスカ

○政府委員(小松原英太郎君) 修正ノ通り……衆議院ノ修正ノ通りニ致シマス、ト今申上ゲタ通りニナリマス、貴族院ノ特別委員會デ御修正ニナッタ通りデアリマス、ト上房ト川上ト云フ二郡ヲ合併致シマス、其戸數人口ハ人口デ七萬五千七百六十六、戸數デ一萬三千七百八十七ニナリマス、是ハ二郡ヲ合併致シタコトデアリマス、ソレカラ阿賀郡ト申ス方ハ人口デ五萬九千九百九十五デ、戸數デ申スト一萬八百四十三デゴザイマス

○田中芳男君 本員モチヨット承リタウゴザイマス、唯今御質問モ色ク出マシテ大イニ了解致シマシタガ、尙ホチヨット承ッテ置キマスノハ此衆議院デ修正ニナリマシタ所ノ備前國邑久郡上道郡、備中國小田郡及後月郡ト云フヤウナ郡ハ各實際人口ガアル、故ニ固ヨリ合併スルニ及バナカッタモノヲ誤ッテ合併シタト斯ウ云フノデアリマスカ、ソレチ一ツ伺ッテ置キタウゴザイマス

○政府委員(小松原英太郎君) 備前國邑久郡上道郡ト申ス郡ハ各、人口五萬足ラズモゴザイマシテ獨立致シテ差支ナイト認メマス、ソレカラ備中國後月郡ト申ス方モ是ガ三萬六千餘ノ人口デゴザイマス、ソレカラモウ一ツ合併スルコトニナッテ居リマス、小田郡ノ方ハ七萬六千餘ノ人口ヲ持ッテ居リマス、是モ獨立シテ差支ナカラウト思ヒマス、ソレデ政府ガ提出致シマシタ所ノ原案ニハ是等ノ郡ハ合併ヲ致シテ一郡新郡ヲ置クコトニナッテ居リマス、是ハ成ルベク實力ノ豐富ナ大キナ郡ヲ作ッタ宜カラウト云フ方針デ合併スルコトニナッテ居ッタノデアリマス、併ナガラ大體ノ方針ハサウ云フ方針ニ致シタ所デ、地方ノ民情等モ顧ミマシテドウシテモ合併スルコトノ出來ナイ事情ガア

リ、又色々ノ事情カラシテ獨立ナ強ヒテ希望スルト云フ斯ウ云フ場合ニハ獨立ノ出來得ルモノハ獨立ナサシテモ差支ナイノデアリマス、ソレガ故ニ大體政府ノ方針ハ郡ハ成ルタケ大キナ資力デ成ルタケ豐富ナモノヲ作ラシタイト云フ最初カラノ方針デアリマシタガ、今日ハ全國ニ郡制ヲ施行致シタ結果、矢張り三萬以上七八萬ノ人口ノアル大キナ郡ガゴザイマス、是モ衆議院ニ於テ修正ニナツタ通り此邑久郡、上道郡、小田郡、後月郡等ノ如キハ此郡ヲ獨立サシテモ強ヒテ差支ナカラウト認メマシタノデ、政府ハ此修正ニ對シテ同意ヲ表シタ次第アルノデゴザイマス

○千坂高雅君 政府委員ニ少シ質問ヲ致シタイ、唯今承リマスレバ全國ニ郡制施行ニナツタ結果、此戸數デゴザイマスルガ、人口ハ三萬以上七八萬ノ所ガ大多數ヲ占メテ居ルト云フコトデゴザイマスガ、資力ノ點ハドンナモノデアリマスカ、御調ガアルナラバ伺ヒタイ

○政府委員(小松原英太郎君) 資力ノ點デ申上ゲマス、資力ト申スノハ、國稅地方稅町村稅ト申ス如ク此納稅額ヲ調べタモノガゴザイマス、此納稅額ニ依ッテ凡ソ資力ヲ見ルコトガ出來ルノデアリマス、其納稅額ハ六七萬以上、二十萬位マデガ最も多イノデアリマス、ソレデ今度衆議院デ修正ニナリマシタ即チ獨立ナサセヤウト云フ郡ノ資力モ大抵六七萬以上ニナツテ居ルノデゴザイマス

○男爵小澤武雄君 マ少シ質問ヲ致シマス、上房郡ト川上郡ト云フモノハ十七年以來合シテ居リ、又備中國ノ哲多郡及阿賀郡ト云フノモ同ジヤウニナツテ居ルヤウニ承知シテ居リマスガ、數年來一郡ノ下ニ於テ今日マデヤツテ來タ所デ此村ヲ別ニ分ケネバナラヌト云フコトニ決シタノハ何カ理由ガアラウト思ヒマスガ、第一ニ承リタイノハ舊來ノ郡役所ノ管轄ノ通りデハイケンイト云フ理由ガアリマスレバソレヲ承リタイノト、此村ヲ割イテ斯ウセネバナラナイト云フ其ニツノ理由ヲ承リタイノデアリマス

○政府委員(小松原英太郎君) 從來岡山縣ニ於キマシテハ郡ノ數ハ大變多イ所デゴザイマシテ、殊ニ作州ノ如キニ至リマスルト一萬千若クハ一萬四千、一萬六七千位ノ郡ガ澤山アルヤウナ縣デゴザイマス、備中備前ニ於キマシテモ小サイ郡ガ澤山是マデアツタ、ソレガ故ニ一々此小サイ郡ニ郡役所ヲ置クコトハ出來マセヌ、費用モ大變掛ルト云フヤウナ譯デ、是マデ或ハ數郡ヲ合シ或ハ二郡位ヲ合シマシテ郡役所ヲ一ツ置イテ來タト云フヤウナコトニナツテ居リマス、必シモ數郡ヲ合シ或ハ二郡ヲ合シテ一ツノ郡役所ヲ置イテ居ル、ソ

レヲ合シテ一ツノ郡制ヲ施行スル時分ニハ郡ノ自治體ト爲スノデアルト云フ爲ニ其準備トシテ郡役所ヲサウ云フヤウニ合併シテ置イタト云フ譯デモナイ、併ナガラ何分ニモ郡ノ多イ所デアツデ、小サイ郡ニ一々郡役所ヲ置クト云フコトモ困難デアリ、又郡長ノ數モ大變多數ヲ要スルト云フヤウナコトデ岡山縣ニ於キマシテハ郡ヲ合シテ郡役所ヲ置イテ居ッタト云フ譯ニナツテ居リマス、ソレカラ此上房郡ニ阿賀郡ノ中ノ五箇村ヲ編入ヲ致スト云フ理由ハ、此五箇村ハ地勢交通ノ點カラ上房郡ニ附イタ方ガ便利デアリ、又其五箇村モ豫テ上房郡ニ編入セラレムコトヲ希望致シテ居ッタノデアリマス、サウ云フ事情デ此郡ノ分合處分ノ際ニ於テ此町村ノ編入組替即チ郡界ノ變更ヲ同時ニヤルト云フダケノ理由ニ過ギヌコトト存ジマス

○男爵小澤武雄君 其五箇村ヲ割イテ附ケルト云フコトガ地理ノ上カラモ其方ガ宜シイ、又其村カラモ希望デアルト云フコトデゴザイマスルガ、本員ガ先刻カラ特別委員長杯ノ報告ヲ承ル所デハソレト反對デ、元通りノ方ガ行政區域ニ於テ宜シイ、一ツニナツテ居ルカラ分合シナイ方ガ宜シイト云フコトニ承ッテ居リマスガ、ソレハ一方デサウ云フ譯デアルカラ政府委員ノ御辭ヲ信ズル譯ニイカヌヤウニナルガ、其村カラ希望スルト云フコトデアレバ何ゾソレニハ請願トカ何トカアルノデスカ、ソレナ一ツ承リマス

○政府委員(小松原英太郎君) 此所ニ持合セテハ居リマセヌデゴザイマスガ、確ニ請願ガゴザイマシタケレドモ、ソレハ調ベテゴザイマセヌト申上ゲルコトハ出來マセヌガ、豫テ五箇村ハ上房郡ニ編入ヲ希望シテ居ルト云フコトハ承知シテ居リマス

○男爵小澤武雄君 矢張りソレト反對ノコトヲ私共ハ承知シテ居ルカラ矢張り五分五分デアル

○議長(公爵近衛篤磨君) 大抵質問モ盡キタヤウデゴザイマスカラ本案ヲ二讀會ニ移スベキヤ否ヤノ決ヲ採リマス

○松平正直君 此案ハ短イ修正ノ問題ニシマシテハ大イニ議論モ生ジマセウガ、二讀會ニ移サレルコトニ附キマシテハ異議ハゴザイマセヌ

○議長(公爵近衛篤磨君) 二讀會ニ移スベシトシテ御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○男爵中川興長君 直チニ二讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵小笠原壽長君 贊成

○子爵本莊壽巨君 贊成

〔贊成「ト呼ブ者アリ」〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 直チニ二讀會ヲ開クト云フ動議ガゴザイマスルガ、御異議ガナケレバ直チニ二讀會ニ移リマス

〔異議ナシ「ト呼ブ者アリ」〕

○千坂高雅君 本員ハ反對ノ意見ヲ持ッテ居リマスガ、述ベマシテ宜シウゴザイマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 宜シウゴザイマス

〔簡短簡短「ト呼ブ者アリ」〕

〔松岡康毅君「成ルタケ詳細ニ」ト述ブ」〕

〔千坂高雅君演壇ニ登ル〕

○千坂高雅君 唯今二讀會ニ移ッテ居リマスル此岡山縣下郡廢置法律案ハ拙者モ實ハ特別委員ノ一人デゴザイマス、然ルニ誠ニ悲クモ特別委員諸君ノ御意見トハ拙者ハ反對デ、衆議院議員ノ修正案ヲ全然一字一點モイロハズニ贊成ノ一人デゴザイマス、サテ過刻委員長柴原君ヨリ委員會ニ於テ此政府案ニ復活シテ衆議院案ヲ否決シタ理由ト云フモノハ、合併セラレヌト云フノハ單ニ昔十年バカリ前ニ高雅ガ上申シタトカ昨年既ニ貴衆兩院トモニ通過シタカラハ全然政府案ガ宜シイモノデアル復活スルト云フ理由デアル、一個人ノ御意見ハ何カ外ニ御持チナサレタヤウデゴザイマスガ、世ノ中ハ是ハ一日ト進歩ニ連レテ法律モ變ッテ來マスルシ、前ニ良シトシタコトハ翌年ニハ或ハ改正ナシナケレバナラヌト云フコトガアルノハ原則デゴザイマス

〔子爵谷干城君「國ノ境ガサウ動イテハタマラヌ」ト述ブ」〕

原則デゴザイマス、ソレデ元ト此高雅ガ上申シタル根源ヲ申上ダレバ、實ハ縣會議員ニ諮問シタト云フコトハ是ハ委員長柴原和君ノ聽誤デ一度モ縣會議員ニハ諮問ハ致シマセヌ、高崎時代カラ拙者ノ時代ニ至ルマデ地方縣會ガ郡役所ガ餘計ニアル爲ニ唯無用ノ經費ヲ多數使ハル、カラドウカ郡役所ヲ合併シテ貫ヒタイト云フコトハ餘程出デ來タ、決シテ郡制施行ノ爲ニ合併シテ下サイト云フコトハ夢ニモアラウ筈モナシ、ナカッタノデアリマス、ソレガ附ケ廻ッテ委員長閣下ニ信用サレテ此合併ヲシナケレバナラナイ理由デアルト言ハレルノハ本懷ナガラ實ハ迷惑ヲ感ズルノデゴザイマス、舊全體郡ノ合併ト云フコトハ如何ナルモノデゴザイマセウ、中國アタリニ於テハ最モ以テ此郡名、郡ノ名一郡ト云フニハ各々歴史ノ存スルモノデゴザイマス、又一郡一

郡ニ附テ人情風俗モ亦多少皆別ナルモノデゴザイマス、ソレヲ併セテ歴史ヲ捨テ舊慣モ捨テテ手ヲ引イテ共ニ行カニヤナラヌト云フ悲イコトニナルニ至ルノハ何ノコトカト云フト此度郡制施行ニナッテ郡ノ獨立、郡ノ自治ト云フコトヲ相止メネバナラヌト云フ是一點ニ止マルノデアリマス、シテ見ルト經濟ト云フニ止ッテ經濟ダニ獨立サレルモノナラバ何ヲ苦ンデ歴史ヲ破リ、舊慣ヲ破リサウシテ……

〔子爵谷干城君「村ヲ割クハ如何」ト述ブ」〕

ソレハ後トニ御話スルカラ御待ナサイ、サウシテ合併スルノ必要ハナイノデアリマス、然ルニ唯今衆議院案ヲ潰シテ政府案ニ戻シテ、此合併ト云フコトニ決セラレタト云フコトハ、ドウモ甚ダ本員ノ如キニ至ッテハ其理ヲ解シ得ナイノデアリマス、拙者ノ眼カラ見マスルト政府案ハ疎漏デ衆議院ノ修正ニ至ッテハ數等進ンダルモノト認定スルノデアリマス、且ツ委員長ハ高雅君ト云フコトヲ數百遍呼バレマシタガ、拙者ノ上申ガ若シ害ニナッタナラバ岡山縣民ノミナラズ天下ニ私ハ今日謝スル外アリマセヌデス、決シテ併シサウ云フ上申デナイノデゴザイマス、偕今日ニ至リマシテハ最早全國郡制施行ニナリマシテ其郡數ハ五百十八アル、表ニ示シテアリマス、從ッテ過刻モ政府委員ガ大多數ノ獨立シタ郡ハ戶數ニ於テ三萬ヨリ七八萬、又實力ノ點ニ於テモ五六萬ヨリ十萬内外ガ多數デアルト云フ答辯モゴザイマシタ、偕拙者ノ又調べマス所ヲ以テ見マシテモ大多數ハ此邊ニアルト考ヘテ居ッタノデ、偕今日郡制ヲ全天下ニ施イタ上ニシテ先ヅ斯クノ通りノ有様ニアル、所ニ持ッテ來マシテ此邑久郡ノ實力人口、上道郡ノ實力人口ト云フコトハ非常ノ大キイモノデ、邑久郡ニ於キマシテハ五萬何千、又上道郡ニ於テモ殆ド六萬人ニ出テ居リマス、實力ノ點ニ於キマスルト上道郡ハ二十一萬三千七百七十二圓、邑久郡ニ於キマシテハ十九萬七百六十三圓ト云フ實力ヲ持ッテ居ル各々ノ郡デゴザイマス、而シテ此郡ニハ御承知ノ諸君モアラセラレル通り吉井川ト云フ大川ヲ隔テテ居リマシテ、郡役所ヲ合スルトキデダニ苦情百端遂ニ拙者ガ兩三度モ出張致シマシテ利害得失ヲ論シタコトガアリマス、決シテ其ニ當ッテハ郡制施行ト云フヤウナ考ハ高雅ニモナカッタノデアリマス、唯經濟ハ大キクシタガ宜カラウト云フタケノ話デアリマス、ソレガ其次ニハ小田、後月デアリマス、小田ノ實力ト云フモノハ十四萬五千二百六十二圓、人口ハ七萬六千、斯ウ云フ人口ヲ持ッテ居リマス、後月郡ハ人口ハ三萬六千ヲ有シ實力ニ於テハ十二萬二百四十四圓ト云フ澤山ノ實力ヲ持ッテ居ル郡デゴザイマス、其郡

ナ是非併セニヤアナヲヌト云フコトハドウモ甚ダ聞エマセヌ、且又上房、川

上ナ割クト言ヒマシテモ、上房ノ資力モ阿賀ノ資力モ過刻政府委員ノ言ハレ
タ通りテ獨立スルニハ十分ノ資力ト人口トヲ持テ居ルノデゴザイマス、斯ウ
見マスレバ本員ノ如キニ於テハ習慣モ破リ惜ムベキ歴史モ壞シテ、サウシテ
否ダト云フ郡ヲ身上ナ一緒ニシ夫婦ニナツテ行ク言フモテ無理ニ押附ケマシテ縣治上
ニ他日日出タク圓滑ニ行クヤ如何ニ、此邊ニ於テハ牧民ノ責ニ當タル御方ハ
必ズ思半ニ至ルコトト考ヘマス、且又此内デ非常ニ諸君ノ御耳ニ障ル箇條ハ
先刻モ委員長ノ言ハレタ如ク阿賀ノ一郡ヲ廢シマシテ阿賀ノ五箇村ヲ上房ヘ
附ケ他ノ數村ヲ哲多ト共ニ一郡ヲ爲サシメルト云フコトハ甚ダ御氣ニ掛ッタ
ラシク既ニ谷子爵ヨリハ半ニシテ御問掛モアッタ位ノコトデゴザイマス、此理
由ヲ篤ト申上ゲルカラドウカ御聽取ヲ願ヒマス、自體此水田上水田ト云フ村
ハ二十四道ノ國道ヨリ通ズル縣道ニシテ上水田ヨリ上房ヘ通ズルノハ縣道ニ
沿ヒテ、四里シカナイ、而シテ是ハ拙者ガ在職中カラ上房ヘ附キタイト云フ請
願ハ度々アッタ、郡長ガ持出シタト云フコトハ度々アタケレドモ其折ニ當ッテ
ハ唯行政區劃ノ時分デアリマスカラ私ハ止メ置イタノデゴザイマス、所ガ
今日ハ自治區トシテ利害ヲ共ニシテ共ニ郡會議員モ選バニヤナラズ郡參事會
員モ出サニヤナラズ郡視學官モ出サニヤナラヌト云フ、共ニ歩クト云フ時ニ
當ッテ利害ノ異ナル所ニハ共ニ一緒ニハ出來ナイノデゴザイマス、此五箇
村ト云フモノハ我が本郡ノ即チ貴族院議員ノ關子爵ノ城下タル新見ト云フ所
ニ行キマスルニハ殆ド車道ニ依レバ十里ト云フ道ヲ隔テニヤナリマセヌ、而
シテ婚姻ノ如キ土地讓與ノ如キ金錢貸借ノ如キ殘ラズ上房ノ各村ト牽聯シテ
多多關係ヲ持ッテ居リマスル、郡制ヲ施行シタ曉ニハ利害ハ同ジイモノトナッ
テコソ圓滑ニ郡制ハ施ケマスルガ、利害ノ異ナル阿賀トイツマデモ共ニナッ
テ居ルト云フコトハ昔ノ唯行政區ト違ヒマシテ今度自治區トナッテ來タ曉ニ
ハ却ッテ阿賀ノ厄介物ト爲ラウト考ヘマス、始終郡制ノ圓滑ヲ缺クコトト拙者
ハ信ズルノデ、依ッテ政府委員モ述ベラレタ如ク岡山縣特リ郡制施行ニ後レマ
シテ郡會モ開カレズ郡視學官ヲ起サレズ諸事萬端後レテ、ソレガ爲ニ施政モ
澤山後レタ次第デゴザイマスルデ、ドウウズノ如ク拙者ノ上カラ思ヒマスル
ト見易キ理由ヲ委員長柴原君ニ於テ御分リナイト云フノハ恐ラクハ何カ……
老練ナル柴原君ニ於テ御分リナイト云フコトハ却ッテ拙者ガ疑團ヲ懷ク次第
デゴザイマス、ドウウ衆議院案ニ御賛成下サレテ速ニ通過スルコトヲ希望致

シマス

〔谷森眞男君演壇ニ登ル〕

○谷森眞男君 私ハ委員會ノ修正ヲ全ク賛成致シマスル者デゴザイマス、ソ
レ故ニ一言委員會ノ修正ヲ賛成致シマスル所以ヲ諸君ニ申上ゲマシテ御同意
ヲ得タイト存ジマスル、即チ委員會ノ修正ト申シマスルノハ最初政府ヨリ衆
議院ニ提出ニナリマシタ案デゴザイマス、唯今千阪君ヨリ致シテ續々御反對
ノ御意見デアリマシタ、然ルニ其重ナル點ハ人口ガ可ナリアルカラ獨立ガ出
來ルトカ、或ハ吉井川ノ何ガアルトカ、或ハ此阿賀郡ノ如キハ五箇村ノ高梁
ヘ出ルニハ山ガアルカラ、ソレ故ニ此五箇村ヲ割イテ上房ヘ附ケタ方ガ宜シ
イトカ云フヤウナ論デアリマシテ、一向委員會ノ案ニ反對ト云フコトノ重ナ
ル點ハ見出サヌノデゴザイマス、尙ホ委員會ガ斯ク致シマシタ所ノ案ニ賛成
ヲ致シマスル理由ヲ申シ上ゲマス、此備中國阿賀郡ヲ廢シ其區域ノ一部中井
村、中津井村、上水田村、水田村、皆部村ヲ上房郡ニ編入スルト云フコトデゴザ
イマス、是ハ最モ私忤ノ不都合ト認メル所デゴザイマス、ドウモ郡ノ境界ヲ變
更シマシテ、サウシテ五箇村ヲ上房ニ編入スルト斯ウ云フコトハ隨分是マ
デ外ノ縣ニハナイデハナイノデス、既ニ先刻モ政府委員モ言ハレマシタ如ク
此郡制施行ニ附イテ郡ノ合併ヲシタ中ニハ郡ノ境界ヲ變更シタコトハアル、
ソレハ隨分アルノデス、アルケレドモ是ハ已ムヲ得ヌ郡ノ地形ヤ何カニ依ッテ
出來タコトデアリマス、併ナガラ是ハ誠ニ好マヌノデ、決シテ容易ニスベキコ
トデハナイ、ソレデ此阿賀郡デゴザイマシテモ此上房ヘ編入ニナリマシタ五
箇村ハ或ハ先刻モ政府委員ハ請願ガアッタカモ知レヌト云フヤウナ御話デア
リマシタガ、或ハアルカモ知レマセヌガ、ソレハ此五箇村ハ或ハ喜ブカモ知
レマセヌ、併ナガラ其殘タル所ノ一町九箇村、是ガ如何デアリマセウカ、
是ハ即チ哲多郡ノ方ト今度合併ニナリマスルノデアリマスガ、是マデハ一郡
デアッタモノガ其中ノ五箇村ヲ上房郡ニ編入シ或ハ阿賀郡ニ入レル、斯ウ云フ
コトニナリマスル或ハ喜ブ者モアリマセウガ、又大ニ困ル者モアッテ、兎ニ
角郡界ヲ變更シ一部ノ人ノ希望ヲ容レルナド云フコトハ、一部ノ人ハ喜ブガ
其他ノ人ハ反對スルノデアリマス、斯様ナ事ハ容易ニスベキモノデナイ、殊
ニ衆議院デ川上郡ヲ獨立サシタト云フコトデアル、此川上郡ヲ獨立サシタト
云フノハ本員等ガ承ル所デハ、何カ事情ガアルカノヤウデゴザイマスガ、是ハ
此議場デハ申シマセヌガ、兎ニ角川上郡ヲ獨立サスレバ上房郡モ獨立サセナ
ケレバナラヌ、サウスルト上房郡ガ小サイカラ阿賀郡ノ五箇村ヲ持ッテ來テ

上房郡ヘッ附ケル、斯ウ云フコトト信ズルノデアリマス、斯様ナコトハ古來カラ、位置ヲ轉換シテ一郡トスルト云フコトハ現ニ上房、川上ノ如キモノハ二十七年來カラ二郡ヲ併セテ一郡役所ニナツテ五箇年有餘モ一郡役所ノ下ニアルノデアリマス、殆ド五箇年間ノ慣習モ附イテ居ル、然ルニ又川上ニ獨立サセル、上房ヲ獨立サセル、斯ウ云フコトニナレバ又郡役所モ川上郡ニ置カナケレバナラヌ、是ハ或ハ川上ニ郡役所ヲ移スノハ希望スルカモ知レナイ、左様ナコトニシテ始終此郡治ヲ變更シテ行クト云フコトハ誠ニ郡治ヲ案亂スルコトト言ハナケレバナラヌ、ソレ故ニ本員等モ最モ此衆議院ノ修正ニ反對スルノデアリマス、又其阿賀郡ニ山ガ多イ、先刻千阪君カラサウ云フ御話デアリマスガ、ソレハ成ル程繪圖面ヲ見マシテモ阿賀郡ト申スモノハ餘程山ガ澤山アル、何レヘ出テモ山ガアリマス、或ハ高梁ヘ出ルトナルトモ、何處ヘ出テモ、成羽ヘ出テモ矢張り山ガアリマスガ、是ハ今日地形ヲ作ッタモノデナイカラ山ノアルノハ仕方ガナイ、ソコデ又衆議院ニ於テ修正ニナリマシタ、阿賀郡ヲ廢シテ五箇村ヲバ上房ヘ入レ、川上ヲ獨立サセルト云フコトハ全ク私ハ反對デアツテ、即チ此政府ノ原案ノ如ク上房郡及川上郡ヲ廢シテ、其區域ヲ以テ上川郡ト云フモノヲ置クト云フコトニ賛成致シマス考デゴザイマス、其外先刻ノ邑久郡及上道郡ヲ廢シテ邑上郡ヲ置ク、又備中國小田郡及後月郡ヲ廢シテ月田郡ヲ置クト云フコトデゴザイマスガ、衆議院ニ於テハ之ヲ削除ニナリマシテ四郡各々獨立サセルト云フコトデゴザイマス、是ハ先刻モ千坂君ガ御述ニナリマシタヤウニ人口モ隨分アル、隨分資力モアルカラシテ獨立サセテモ宜シイト云フ御論デアリマシタ、如何ニモソレハ全國ノ各郡ヲ見マシタナラバ此位獨立シテ居リマス所モ間々アルノデゴザイマス、併シ郡制ヲ施行スルニ附イテハ成ルベク郡ノ資力ノ豐富ナルコトヲ望ミマシテ從來政府モ其方針ヲ以テ合併杯モ致サレタノデアリマス、兎ニ角此原案ガ提出サレタトキモ其方針ヲ以テ二郡ヲ合併シテ一郡トシタノデアリマス、邑久、上道ノ如キモ矢張り二十七年以來、兩郡ヲ併セテ一郡役所ヲ置イテ今日ハ即チ一郡役所ノ下ニアルノデアリマス、サウシテ西大寺ト云フ所ニ郡役所杯モ既ニ新築サレテ居ルト云フコトヲ承ツテ居リマス、左様ニ既ニ二郡ヲ併セテ一郡ト爲シ來ッテ居リマシテ既ニ五箇年ヲ習慣シ來ッタノデアリマス、是モ先刻阿賀郡ノ所デ申シマシタヤウニ屢々郡ノ境界ヲ變更スルコトハ宜シクナイ、郡治ヲ紊亂スルコトデゴザイマスカラ、全然削除ニハ反對デ委員會ノ修正ノ通り政府案ニ致シタウ存ジマス、ソレデ此後月郡ニ附イテ一言申シテ

置キマス

〔「簡單簡單」ト呼フ者アリ〕

是ハ二十七年ニハ合併ニナツテ居リマセヌ、今日モ二郡別ニナツテ居リマス、是モ郡ノ資力ヲ富豐ニスルト云フ希望ノ點カラ二郡ヲ併セマス次第デアリマス、ソレカラ千坂君杯ハ邑久、上道ノ間ニハ吉井川ト云フモノガアツテ、洪水杯ガアル、ソレガ爲ニ兩郡ノ人民往々苦情ヲ言フコトモアルト云フ御話デゴザイマシタ、成ル程ソレハ吉井川ハゴザイマス、又洪水杯モ屢々アルラシイ、其苦情モアルカモ知レマセヌ、併シ承リマスレバ其川ニハ橋梁ガ二箇所モアル、又出水ガアツテモ此邊ハ渡船チスルニ一向差支ナイ、船デ渡ルコトニハ一向差支ナイト云フコトデアリマス、此吉井川ノ不便ヲ以テ兩郡ヲ獨立サセナケレバナラヌト云フコトハ一向當ラナイト考ヘマス、寧ロ左様ナ川ガ真中ニアルカラ是非之ヲ割イテ獨立サセナケレバナラヌト云フコトナラバ無論私ハ思フノデス、此備中國下道郡賀陽郡ヲ廢シテ其區域ヲ以テ吉備郡ヲ置クト云フコトハ御修正ニナル筈ダラウト思ヒマスガ、衆議院デハ修正チナサラナイ、此通りニナツテ居ル、所ガ此賀陽下道ノ間ニモ高梁川ト云フ川ガアツテ、此川モ始終洪水ノアル所デ、現ニ昨年杯ハ數日間水ニ浸ッテ、ソレガ爲ニ汽車ノ通行モ止ッタト云フコトヲ承ツテ居リマス、寧ロ此川ノ爲ニ區別チ立テナケレバナラヌト云フコトナラバ賀陽下道コソ獨立ノ修正ガアリサウニ存ジマス、然ルニ是ニハ衆議院ノ修正ガナイ、而シテ邑久、上道ノ如キ所、或ハ小田、後月ノ如キ所ヲ修正シテアル、ソレデ徹頭徹尾衆議院ノ修正ハ一向分ラヌ、ソレニ附テ衆議院ノ速記録ヲ見マシタ所ガ、衆議院ノ委員會ニ於テハ阿賀郡等ハ委員會ノ修正デゴザイマスガ、此邑久、上道、小田、後月ノ方ハ衆議院ノ二讀會ニ於テ修正案ヲ提出ニナツテ咄嗟ノ間ニ極ッタコトデアリマス、ソレカラ尙ホ此衆議院ノ委員會ノ模樣杯ヲ承リマスレバ、阿賀郡ノ方ニ於テモ委員ノ説ガ半數ニ分レマシテ、委員長ノ採決ヲ以テ左様修正シタト云フコトニ承ツテ居リマス、旁々此衆議院ノ修正ニ反對チ致シマシテ委員ノ修正ニ賛成致シマス理由ヲ一言申上ゲマス、最早段々御論モ多クゴザイマスカラ、マダ申上ゲタイコトハアリマスガ長クナリマスカラ申シマセヌ、ドウカ御熟考下サリマシテ委員修正案ニ御賛成アラムコトヲ望ミマス

〔「採決採決」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) モウ大抵議論モ盡キタヤウデゴザイマスカラ採決チ致シマス、委員會ノ修正ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者

○議長(公爵近衛篤磨君) ソレデハ反對ノ方ノ側ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

〔男爵尾崎三良君 反對ハ衆議院ノ通りデスカ〕ト述フ

○議長(公爵近衛篤磨君) サウデス、原案ノ通り賛成ノ諸君ノ起立ヲ……

○子爵谷干城君 大變ハ餘計何ガアルヤウデゴザイマスガ、御立テナサレテ分ルモノデゴザイマスカ

○議長(公爵近衛篤磨君) 大抵分ル積リデゴザイマス

〔男爵西五辻文伸君 氏名點呼〕ト述フ

〔モウ一遍ヤッタ方が宜イ〕ト述フル者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 衆議院ノ案ニ賛成ノ議君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者

○議長(公爵近衛篤磨君) ドウモ判然シマセヌカラ氏名點呼ヲ行ヒマス、氏名點呼ナシマスルニハ即チ委員會ノ修正ニ賛否ヲ表スルノデアリマスカラ、委員會ノ修正ニ賛成ノ諸君ハ賛成ト申サレタウゴザイマス、反對ノ諸君ハ反對ト……

○男爵尾崎三良君 サウスルト衆議院ノ修正ニ賛成ノ者ハ反對ト言フノデスナ

○議長(公爵近衛篤磨君) サウデゴザイマス

〔氏名點呼ヲ行フ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 氏名點呼ノ結果ヲ御報道シマス、出席總數百三十四人、委員會ノ修正ヲ可トスル議員六十一人、非トスル議員七十三人、即チ委員會ノ修正ハ否決ニナリマシタ、……ハ原案ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 然ラバ是ニテ二讀會ハ終リマシタ

○男爵中川興長君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望シマス

○子爵小笠原壽長君 賛成

○千坂高雅君 賛成

○議長(公爵近衛篤磨君) 直チニ第三讀會ヲ開クコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 然ラバ直チニ第三讀會ヲ開キマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 御異議ガナケレバ原案ニ決シマス、府縣都市町村其ノ他ノ公共團體ノ所有地免租ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告

〔伯爵正親町實正君 演壇ニ登ル〕

○伯爵正親町實正君 本案ニ附キマシテ特別委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報道致シマス、本委員會デハ去ル八日ニ一回開キマシタ、御承知ノ通り簡單ナ案デモゴザイマス色々質問モ濟ミマシタ後ニ原案ノ通り可決スルト云フコトニ極リマシタ、其理由ハ此本案ハ此處ニ記載シテゴザイマス通りノコトデゴザイマシテ、府縣都市町村其他之ニ準ズベキ所ノ公共團體ノ所有地デアリマシテ、其土地ヲ公共ノ用ニ供シマスモノニハ地租並ニ公課ヲ免除スルガ至當デアルト云フ理由カラシテ提出ニナリマシタ譯デアリマス、勿論今日ト雖モ斯様ナ部類ノモノニ向ッテハ往々地租ノ免除ニナッテ居ルノガ澤山ゴザイマス、例ヘバ地租條例ニ依ッテソレゾレ地租ノ免除ニナッテ居ルモノモアリマス、又特別法トシテ例ヘバ傳染病豫防法ニ依ッテ拵ヘマシタ所ノ傳染病隔離病舎、消毒所ト云フヤウナ敷地ニ於テハ矢張り地租ハ免除ニナッテ居リマス、サウ云フヤウナ譯デ段々免租ニナッテ居リマス地所モゴザイマスガ、ソレハ其都度一々特別法ヲ以テスルトカ云フコトニナッテ居リマスルカラ、若シ其法律ニナイモノハ縱令公共ノ團體ノ所有地ニシテ公共ノ用ニ供シテ居リマスモノデモ、矢張り地租ヲ免ズルト云フ譯ニナッテ居ラヌノデス、ソレデ此法律ガ成立チマス以上ハ此法律ニ依ッテ將來ハ一々法律ヲ發セズトモ總テ斯様ナ種類ノモノハ免租ニナルト云フ譯柄デゴザイマス、最モ適當ノ法案ト考ヘマス故ニ、委員會ハ全會一致ヲ以テ此案ヲ可決致シマシタ、此段御報道致シマス、就キマシテハ斯ル簡單ナ案デモゴザイマスルカラ願ハクハ讀會ヲ省略シテ直チニ決定アラムコトヲ希望致シマス

○子爵小笠原壽長君 讀會省略ニ賛成

○小原重哉君 賛成

○子爵黒田和志君 賛成

○男爵平野長祥君 賛成

○男爵中川興長君 賛成

〔賛成〕ト呼ブ者多シ

○議長(公爵近衛篤磨君) 讀會省略ノ動議ハ成立チマシタ、之ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵近衛篤磨君) 三分ノ二以上ト認メマス、御異議ガナケレバ本案可決ト認メマス

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 重要物產同業組合法案、衆議院提出、第一讀會

重要物產同業組合法案
右本院提出案及送付候也

明治三十三年二月六日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

重要物產同業組合法

第一條 重要物產ノ生産、製造又ハ販賣ニ關スル營業ヲ爲ス者ハ同業者又ハ密接ノ關係ヲ有スル營業者相集リテ本法ニ依リ同業組合ヲ設置スルコトヲ得

重要物產及密接ノ關係ヲ有スル營業ノ種類ハ農商務大臣ノ認定ニ依ル
第二條 同業組合ハ組合員協同一致シテ營業上ノ弊害ヲ矯正シ其ノ利益ヲ増進スルヲ以テ目的ト爲ス

第三條 同業組合ヲ設置セムトスルトキハ豫メ地區ヲ定メ其ノ地區内ノ同業者三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ創立總會ヲ開キ定款ヲ議定シ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ但シ二種以上ノ營業者相集リ組合ヲ設置セムトスルトキハ各種營業毎ニ三分ノ二以上ノ同意ヲ要ス

第四條 同業組合設置ノ地區内ニ於テ組合員ト同一ノ業ヲ營ム者ハ其ノ組合ニ加入スヘシ但シ營業上特別ノ情況ニ依リ農商務大臣ニ於テ加入ノ必要ナシト認ムル者ハ此ノ限ニ在ラス

第五條 同業組合ハ相互ノ氣脈ヲ通シ其ノ目的ヲ達スル爲同業組合聯合會ヲ設置スルコトヲ得

同業組合聯合會ヲ設置セムトスルトキハ其ノ創立總會ヲ開キ定款ヲ議定シ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第六條 同業組合及同業組合聯合會ハ法人トス

同業組合及同業組合聯合會ハ營利事業ヲ爲スコトヲ得ス

第七條 同業組合及同業組合聯合會ノ定款ノ變更ハ各其ノ定款ノ規定ニ從ヒ之ヲ議定シ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第八條 同業組合及同業組合聯合會ハ左ノ役員ヲ置クヘシ

一組長 一名

一副組長 若干名

一評議員 若干名

前項ノ役員ノ外定款ノ規定ニ依リ他ノ役員ヲ置クコトヲ得

役員ハ同業組合ニ於テハ組合員中ヨリ同業組合聯合會ニ於テハ聯合會ヲ組織スル同業組合ノ組合員中ヨリ之ヲ選舉シ農商務大臣ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス

第九條 組長ハ其ノ同業組合又ハ同業組合聯合會ヲ統轄シ其ノ事務ヲ擔任ス

副組長ハ組長ノ事務ヲ輔佐シ組長故障アルトキ之ヲ代理ス

評議員ハ組長ノ諮詢ニ應シ及業務施行ノ狀況ヲ監査スルモノトス

副組長及評議員ハ定款ノ規定ニ依リ組長ノ擔任スル事務ノ一部ヲ分掌スルコトヲ得

組長副組長共ニ故障アルトキハ評議員之ヲ代理ス

第十條 同業組合及同業組合聯合會ハ各其ノ定款ニ於テ検査規定ヲ設ケ組合員ノ營業品ヲ検査スルコトヲ得

同業組合及同業組合聯合會ハ各其ノ定款ニ於テ違約者ニ關スル規定ヲ設ケ違約者ニ對シ過怠金ヲ徴シ違約物品ヲ沒收スルコトヲ得

第十一條 同業組合及同業組合聯合會ノ經費ノ豫算並徵收法ハ各其ノ定款ノ規定ニ從ヒ之ヲ議定シ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

經費ノ決算及業務成績ハ毎年少クトモ一回組合員ニ公示シ農商務大臣ニ報告スヘシ

第十二條 同業組合及同業組合聯合會ハ其ノ事務ニ關シ行政廳ニ建議スルコトヲ得又其ノ諮問アルトキハ答申スヘシ

第十三條 同業組合及同業組合聯合會ハ農商務大臣又ハ地方長官ノ命シタル官吏ノ臨檢ヲ拒ムコトヲ得又其ノ質問ニ對シ確實ニ答辯スヘキモノトス

第十四條 農商務大臣ハ必要ト認ムルトキハ同業組合及同業組合聯合會ヲ設ケシムルコトヲ得

農商務大臣ハ必要ト認ムルトキハ同業組合ノ地區ノ範圍、營業ノ種類又

ハ定款ノ變更ヲ命スルコトヲ得

第十五條 同業組合若ハ同業組合聯合會ノ決議又ハ其ノ役員ノ行爲ニシテ法律命令ニ違背シ又ハ公益ヲ害シ又ハ其ノ目的ニ違背シ又ハ監督官廳ノ命シタル事項ヲ執行セサルトキハ農商務大臣左ノ處分ヲ爲スコトヲ得

一 同業組合若ハ同業組合聯合會ノ解散又ハ其ノ業務ノ停止

二 役員ノ解職

三 決議ノ取消

第十六條 同業組合若ハ同業組合聯合會解散ヲ爲サムトスルトキハ組合員三分ノ二以上ノ同意ニ依リ其ノ事由ヲ具シ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ第十七條 地方長官ハ其ノ管内ニ於ケル同業組合及同業組合聯合會ヲ監督シ必要アルトキハ意見ヲ具シ農商務大臣ノ處分ヲ請フヘシ

第十八條 農商務大臣ハ同業組合及同業組合聯合會ニ關シ其ノ職權ノ一部ヲ地方長官ニ委任スルコトヲ得

第十九條 第四條第十三條ノ規定ニ違背シタル者ハ二圓以上百圓以下ノ過料ニ處ス

前項ノ過料ニ付テハ非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ヲ準用ス

第二十條 同業組合又ハ同業組合聯合會ノ證票若ハ検査證ヲ營業品ニ偽リテ附シタル者又ハ偽造變造ノ證票若ハ検査證ヲ營業品ニ附シタル者ハ十五日以上六月以下ノ重禁錮又ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

附則

第二十一條 本法ハ明治三十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

重要輸出品同業組合法ハ之ヲ廢止ス

第二十二條 重要輸出品同業組合法ニ依リテ設立シタル組合及聯合會ハ本法施行ノ日ヨリ之ヲ本法ニ依リ設立シタルモノト看做ス

第二十三條 他ノ法律中重要輸出品同業組合法ヲ準用スヘキモノト定メタル場合ニ付テハ本法施行ノ日ヨリ本法ノ規定ヲ準用シ重要輸出品同業組合法中ノ規定ニ依ルヘキモノト定メタル場合ニ付テハ之ニ相當スル本ノ規定ヲ準用ス

○議長(公爵近衛篤磨君) 別段御質問ガナクバ委員ノ選定ニ移リマス、議長指名ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 家用醬油稅法案、衆議院提出、第一讀會
家用醬油稅法案
右本院提出案及送付候也

明治三十三年二月七日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

家用醬油稅法

第一條 家用醬油ヲ併一箇年五石以下ヲ製造セムトスル者ハ本法ニ依リ政府ノ免許ヲ受クヘシ其ノ製造ヲ廢止セムトスルトキハ免許ノ取消ヲ求ムヘシ

前項ニ依リ免許ヲ受ケタル製造高ヲ變更セシムトスルトキハ更ニ政府ノ許可ヲ受クヘシ但シ同年内ニ於テハ製造高ノ變更ヲ許可セス

第二條 家用醬油製造免許ハ一家一人ニ限ル

第三條 家用醬油製造人ハ其ノ製造見積高ニ依リ毎年左ノ製造稅ヲ納ムヘシ

第一種 二石未満 金一圓

第二種 三石未満 金二圓

第三種 四石未満 金三圓

第四種 五石以下 金四圓

第四條 製造稅ハ之ヲ二分シ其ノ年十月及翌年三月ヲ以テ納期トス但シ納期後免許ヲ受クルトキハ即納トス

第五條 家用醬油製造ノ免許ヲ受ケタル者ハ各自ノ居宅域内ニ限り之ヲ製造スルモノトス

第六條 當該官吏ハ家用醬油製造者ニ就キ検査ヲ爲スコトヲ得

第七條 家用醬油製造者其ノ製造シタル醬油ヲ販賣シ又ハ其ノ居宅域外ニ於テ家用醬油ヲ製造シタルトキハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第八條 家用醬油製造者免許制限ヲ超過シテ醬油ヲ製造シタルトキハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處シ仍其ノ超過石數ニ對シ醬油稅則第二條ノ造石稅ヲ課ス

前項ノ造石稅ハ即時之ヲ徵收ス

第九條 本法ヲ犯シタル者ニハ刑法ノ不論罪及減輕、再犯加重、數罪俱發ノ

例ヲ用キス

第十條 自家用醬油製造者ノ家族、雇人等ニシテ其ノ製造ニ關シ本法ヲ犯シタルトキハ製造主ハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ本法ノ處罰ヲ免ルコトヲ得ス

第十一條 左ニ記載シタル者ニハ本法ヲ適用セス

一 自家用醬油製造者ニシテ一家一箇年ノ諸味仕込高又ハ溜製成高一石以下ニ止ルモノ

二 醬油製造營業人、醬油請賣人

三 料理店、飲食店、旅人宿營業者

四 前三號ノ者ト同居スル者

本法ニ依リ免許ヲ受ケタル者前項第二號以下ニ該當スルニ至リタルトキハ本法ニ依リ免許ヲ以テ醬油稅則ニ依リ免許ト看做シ以後製造ニ係ル醬油ニハ同稅則ヲ適用ス但シ其ノ年ノ製造稅ハ之ヲ免除セス

第十二條 本法ニ依リ免許ヲ受ケタル者ニ對シテハ醬油稅則ヲ適用セス
附則

第十三條 本法ハ明治三十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第十四條 本法ニ依リ免許ヲ受ケタル者ノ明治三十三年一月一日ヨリ同年三月三十一日マデノ間ニ製造シタル醬油ニシテ醬油稅則ニ依リ査定ヲ受ケタルモノニ關シテハ其ノ造石稅ヲ免除ス

第十五條 沖繩縣、東京府管下小笠原島、伊豆七島ニハ當分本法ヲ施行セス

〔政府委員若槻禮次郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員若槻禮次郎君 此法案デゴザイマスガ、是ハ現行ノ法律ト異ナリマスル所ハ唯現行ノ法律デハ比例稅ニナツテ居リマスモノナバ自家用料ノ醬油ニ附イテダケハ定額稅ニシヤウト云フ其點ガ異ナリマスノデ、斯様致シマスト官民共ニ甚ダ便利ニナリマス次第デゴザイマスカラ、此案ニ附イテハ政府モ同意ヲ表シテ居ルノデゴザイマス此段申上ゲマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 他ニ御發議ガナクバ委員ノ選定ニ移リマス、議長指名デ宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 北海道水產稅則廢止法律案、衆議院提出、第一讀會

北海道水產稅則廢止法律案

右本院提出案及送付候也

明治三十三年二月七日

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

衆議院議長片岡健吉

北海道水產稅則ハ明治三十四年度分ヨリ之ヲ廢止ス

〔政府委員若槻禮次郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員若槻禮次郎君 水產稅則ノ廢止ノコトハ毎度問題ニ上ボリマシテ、此度モ亦衆議院カラ提案ニナリマシタノデゴザイマスガ、此衆議院ノ提案ニ依リマス三十四年度分ヨリ之ヲ廢スト斯様ニ書イテゴザイマス、三十四年度分ト云フ意味ハ分リ兼ネマスノデゴザイマスガ、別段水產稅則ニ附イテ年度杯ヲ定メタモノハゴザイマセヌカラ此意味ハ分リ兼ネマスケレドモ、多分此意味ハ三十四年分カラ廢スト云フコトデゴザイマセウト思ヒマス、ソレハ當初提出シマシタ案ガ今年カラ廢スルト云フノデアリマシタケレドモ、既ニ豫算ガ定ツタ後デハ政府デモ困ルデアラウカラ三十四年カラニスルト云フコトデ斯様ニ直ツテ居ルト云フコトデアリマスカラ、多分三十四年カラト云フ意味デアラウト思ヒマス、三十四年カラトナリマシテモ御承知ノ通り、是カラ後ハソレソレ豫算ニ於テ經費ハ御請求致ス譯デゴザイマスケレドモ、兎ニ角此先ニドノ位經費ガ掛ラウカト云フ經費ハ始終豫定致シテ居ルノデゴザイマス、三十四年以後ニナツテモ三十六萬幾ラト云フ金ヲ減ジテ宜シイト云フ見込ハ到底立チマセヌノデ、是ハ廢止ニナラヌ方ガ宜シカラウト存ジマス、尙ホ此水產稅ハ北海道ダケ重イ稅ヲ負ウテ居ルト云フヤウナコトデ毎度此議案ハ出マスノデアリマスケレドモ、水產稅ハ性質ガ間接稅デゴザイマスカラ、最後ノ負擔ヲ致シマス者ハ矢張り之ヲ消費シマス者ガ負擔シマスルノデゴザイマス、其消費スルノハ誰デアアルカト云ヘバ其大部分ハ内地人ニ掛ツテ居ル譯合デアリマスカラ、此稅ガアルガ爲ニ北海道ノ人が特ニ重イ稅ヲ負擔スルト云フ譯ニハナリマスマイト思ヒマスル、故ニ此案ハドウカ否決ニナラムコトヲ希望致シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 別段御發議ガナクバ委員ノ選定ニ移リマス、議長指名デ宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 關稅定率法附屬輸入稅表中改正法律案、衆議院提出、第一讀會

關稅定率法附屬輸入稅表中改正法律案
右本院提出及送付候也

明治三十三年二月七日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

明治三十年法律第十四號關稅定率法中左ノ通改正ス
附屬輸入稅表第二種五〇五ノ次ニ「五〇五ノ「コブラ」ヲ加フ

附則

此ノ法律施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

○田中芳男君 是ハ政府案デハゴザイマセヌカラシテ政府委員ニ於カレマシテハ別ニ御論ハナイカハ知レマセヌガ、是ハ政府ノ御見込ハ如何ト云フコトヲ承リタウゴザイマス、就キマシテハ尙ホ承ッテ置キタイノハ此ニ付ラト云フモノハドノヤウナモノデアルト云フコトヲ御說明下サルコトガ出來マスナラバ御說明ヲ願ヒタウゴザイマスガ、ソレモ政府委員ニ願デ置キマス

〔政府委員若槻禮次郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(若槻禮次郎君) 唯今提出ニナッテ居リマス此關稅定率法中ノ改正法律案ハ政府ニ於テモ同意ヲ表シテ居リマスノデゴザイマスノデ、此ニ付ラト申シマスノハ橄欖油ヲ取リマス原料デゴザイマスノデ、其橄欖油ト云フノハしやばんヲ製造シマスル原料ニナルモノデゴザイマス、原料ノ又原料ニナリマスモノデ、詰リ是等ハ海關稅ヲ免ズルコトニ致シマスレバ自然、工業上ノ發達ニモ都合ガ宜シカラウト考ヘマスノデ同意ヲ表シテ居リマス

○田中芳男君 尙ホ御尋致シマス唯今橄欖油ト仰ッシャリマシタガ、橄欖油ト云フノハおれ一油ノコトデゴザイマセウカ

○政府委員(若槻禮次郎君) 椰子油ノ間違デゴザイマス

○田中芳男君 ソレニ附イテ伺ヒマスガ、唯今マデニ付ラガ輸入致シマシタ高ト云フモノハドノ位ゴザイマセウカ、サウシテ又油ニ製シタモノガ輸入シテ居ルデゴザイマセウト思ヒマスガ、ソレハ此稅目ニ書イテゴザイマス椰子油ト云フモノガ今ノこぶらデ拵ヘタ油デゴザイマスカ、ソレモ御尋致シマス、サウシテ是ハドノ位ノ高ヲ輸入シテ居リマスカ、而シテ此品ハしやばんニ使フト云フコトデゴザイマスカラシテ内地デ油ニ拵ヘレバソレニしやばんニ拵ヘルト云フコトニ……

○政府委員(若槻禮次郎君) チョット訂正致シマスガしやばんト申上ゲタノハ石鹼ト云フ方デゴザイマス

○田中芳男君 ソレデ詰リ油ヲ拵ヘル原料ヲ輸入スルト云フコトニナルダラウト思ヒマス、然ラバ油ヲ拵ヘル原料ト云フモノハ外ニハ更ニ輸入シテ居リマセヌノデゴザイマスカ、然ルニ此稅目ヲ見マスト第七類ノ穀物及種子ト云フ所ニ、一七七「胡麻子」トソレカラ一七九ニハ「其他別項ニ掲ケサル各種ノ穀物及種子」トアリマスガ、是等ハ矢張り荏胡麻ニシロ菜種ニシロ輸入シテ參ッタトキニハ矢張り此稅法ニ依ッテ稅ヲ取ルコトニナッテ居リマスルヤ、或ハ其他、油ノ原料ニナルモノハ總テ免稅ニナッテ居ルト云フ譯デゴザイマスカ、チヨット免稅ノ方ニハ見エマセヌガ、私ガマダ取調ガ行届キマセヌノカ知レマセヌガ、ドウモ唯今、油ノ原料タルニ付ラ輸入スルト云フコトハ一ノ物ガアッテソレヲ免稅ニスルト云フコトニナリマスレバ荏胡麻ニシロ菜種ニシロ輸入シテ來ルト孰モ免稅ニセヌナラヌト云フ論點ニナルヤウデゴザイマスガ、ソレマデ行ッテ宜シイト云フ御見込デゴザイマスカ

○政府委員(若槻禮次郎君) こぶらノ輸入高カラ申上ゲマスガこぶらハ三十二年度ニ於テハ四萬九千圓、チヨット五萬圓バカリノ原價ガ輸入シテ居リマス、シテ稅金ガ五千圓バカリニナッテ居ルト思ヒマス、ソレカラ尙ホ其他ノコトニ附イテ御尋デゴザイマシタガ、免稅品ノ中ノ目ニ掲ゲテアリマセヌモノハ相當ノ目デ以テ關稅ヲ課シテゴザイマスノデ、此外ニハドウデアアルカト云フ御尋ニ附イテハ今日ニ於テハ先ヅてぶらヲ免稅スル案ハ宜カラウト考ヘマスルト申上ゲマスルノデ、其外ノ物ハドウスルカト云フ御尋ニハ、法律ノアリマス間ハソレヲ取ッテ行クト斯ウ云フコトヨリ外ニハナイノデアリマス

○田中芳男君 私ノ申上ゲ方ガ惡ルカッタカ知レマセヌガ、此第七ノ中ニ荏胡麻トカ菜種トカ云フモノガ合ンデ居ルカ合ンデ居ヌカト云フコトデゴザイマス、而シテ他ノ物デ免稅ニナルモノガアルカ分リマセヌカラ御尋マシタ、ソレデこぶらハ油ノ原料トシテ輸入スルナラバ菜種モ輸入シナケレバナラヌ、ソレモ免稅シナケレバナラヌ、或ハ引續イテ製造品ノ原料ガ起ッテ來ル、若シサウナリマシテモ別ニ御不同意ハアリマセヌカト云フコトヲ申シタノデアリマス

○政府委員(若槻禮次郎君) 稅目ノ方デゴザイマスレバ是ハ尙ホ取調ベマシテ、ドノ目デ課稅シテ居ルカ、取調ベマシテ後ノ議會デ御答致スコトトシマス、是ハ訴願審查會ト云フモノガアッテ此處デ審查シテ決スルコトニナッテ居

リマスカラ此目デ決シマストシマシテモ、訴願ノ審査委員ガ反對ニ議決スルコトニナリマスレバ私ノ申上ゲタコトハ事實ヲ誤ルコトニナリマス、今直チニ申上ゲルコトハ出來マセヌ、何レ其案ヲ議セラル、間ニ機會ヲ以テ申上ゲルコトニ致シマス、其他ノ論ガ出タラドウデアアルコト云フコトハ、今日ノ所デハ先ヅコトハ如何ニモ税金モ少イモノデアアルシ、ソレカラ實際原料ノ外ニハ少シモ使ハヌモノデアアルカラ是ハ宜カラウト云フ考デゴザイマス、其他ハ案ノ出マシタトキニ、斯ウ云フモノナラバ宜イトカ惡イトカ、申上ゲルノ外豫メ御答シテ置クコトハ出來ナイノデアリマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 委員ノ選定ニ移リマス、議長指名デ御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 辯護士法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續、特別委員長報告

〔公爵二條基弘君演壇ニ登ル〕

○公爵二條基弘君 御報告ヲ致シマス、委員會ニ於キマシテ此案ヲ受取りマシテ種々調査ヲ致シマシタ所、元來此十二條、即チ辯護士ガ登錄ヲシマシタ後三年ヲ經ナケレバ大審院ヘ出ルコトガ出來ナイト云フ箇條ナンデゴザイマス、依ッテ今日マデノ經歷ハドウデアアルカト云ヘバ、十二條ヲ置イタ所ガソレ程ノ利益モ見エズ、今之ヲ廢シタカラシテソレデ害ガアルト云フコトハナイト云フ政府委員ノ說デアリマシタノデ、ソレ故ニ我々モ右様ナコトデアリマスレバ即チ今日ノ一般ノ學理ノ進歩シテ居ルトキニ斯ウ云フ條目ヲ置ケバ、後進ノ士ノ妨ニモナル、又大審院ニ於テハ是マデ十二條ガ存シテ居リマスカラ明治七八年ノ太政官布告ニ出マシタル代言人規則ニ依ッテ出テ居ル者ガ事ヲ大審院ニ出ルヤウナ譯デ、今日大學ヲ出テ立派ニ其學ヲ修メタ者ハ直チニ出ルコトガ出來ナイ、其人々ニ對シテモ氣ノ毒デアアル、又實際ニ於テモ學理ヲ修メテ居ル者ガ直チニ大審院ヘ出テ其職ヲ執ルト云フコトハ大變ニ宜イコトデアラウト思フ、ソレ故ニ我々委員會ニ於キマシテハ衆議院カラ回ハリマシタ通り十二條ハ削除スルト云フコトニ滿場一致ヲ以テ決シマシタ譯デアリマス、序ニ此案ハ極ク簡單デアリマスカラ讀會省略ヲ以テ速ニ可決セラレムコトヲ希望致シマス

○子爵長岡護美君 贊成

○男爵平野長祥君 贊成

○八坂甚八君 贊成

○小原重哉君 贊成

○伯爵大原重朝君 贊成

〔其他「贊成」ト呼フ者多シ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 讀會省略ハ成立チマシタ、之ニ同意ノ諸君ハ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵近衛篤磨君) 三分ノ二以上ト認メマス、讀會ハ省略ニナリマシタ、御異議ガナクバ原案ニ決シマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 質屋取締法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續、特別委員長報告

〔伯爵德川達孝君演壇ニ登ル〕

○伯爵德川達孝君 諸君ハ今朝來長時間ノ間議席ニ御著キデ、嚙カシ御疲ノ所ヲ又此報告ヲシタラ大分御迷惑カ知リマセヌガ、極メテ簡短ニ委員會ノ經過及結果ヲ御報道ニ及ビマス、依ッテ暫ノ間御清聴アラムコトヲ偏ニ希望致シマス、此質屋取締法中改正法律案ハ御承知ノ通り衆議院ヨリ提出デ此方ヘ送付ニナリマシタ、之ヲ受取りマシテ本月七日ニ正副委員長ノ選舉ヲ行ヒマシテ昨九日ニ委員會ヲ開キマシテ質問モ多少ゴザイマスルシ又詳ニ議シマシテ、是ハ政府案デハゴザイマセヌガ、政府委員ニモ質問致シマシタ所ガ、委員ノ中ニハ之ニ對シテ又修正說ヲ御出シノ御方モゴザイマシタガ、是ハ二名デ少數ヲ消滅致シマシタ、結局此衆議院カラ回ッタ通りノ原案ニ可決相成リマシタ次第デゴザイマス、抑々此案ハ如何ナル譯カト申セバ是ハ十六條ノ所ハ此處デ申サズトモ諸君ハ御存ジデゴザイマセウガ、詰リ「官沒スルコトヲ得」ト云フ此文字ガ不都合デアアル、或ハ衆議院ノ方デハ官沒ト云フ字ニハ隨分弊害ガアルカモ知レナイ、必ズアルトハ斷言サレナイガ、アルカモ知レナイト云フ意味デ「被徵收者ヘ還付ス」斯ウシテ置ケバ被害ノ知レナイ時ニハ二箇年ノ後ニ被徵收者ヘ還付スル、即チ語ヲ換ヘテ申シマスレバ質屋ヘ戻ス、斯ウ云フ譯ニナルノデ、此修正ニハ委員會ニ於テハ同意ニナッタ次第デゴザイ

マス、又はハ簡單ナ案デモゴザイマスカラ、此前ノ辯護士法同様ニ讀會省略
ヲ以チマシテ委員會ノ議決ニナツタ通りニ直チニ可決相成ラムコトヲ希望致
シマス

○伯爵大原重朝君 賛成

○小原重哉君 賛成

○男爵小澤武雄君 賛成

○柴原和君 賛成

○男爵玉松眞幸君 賛成

○鳥越貞敏君 賛成

○中西光三郎君 賛成

○子爵大田原一清君 賛成

○子爵野宮定穀君 賛成

〔其他「賛成」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 讀會省略ノ動議ガ成立チマシタ、之ニ同意ノ諸君
ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵近衛篤磨君) 三分ノ二以上ト認メマス、讀會ヲ省略致シマス、
別ニ御異議ガナクバ原案ニ決シマス

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 今日ノ議事ハ是ニテ終リマシタ、今朝來御委託ニ
ナリマシタル特別委員ノ氏名ヲ御報道致シマス

〔河田書記官朗讀〕

重要物產同業組合法案特別委員

伯爵勸修寺 顯允君 子爵平松 時厚君 子爵久世 通章君

子爵山口 弘津君 津田 眞道君 金子 堅太郎君

渡邊 洪基君 男爵船越 衛君 住友吉左衛門君

自家用醬油稅法案特別委員

侯爵細川 護成君 辻 新次君 田中 芳男君

時任 爲基君 男爵有地品之允君 男爵南岩倉 具威君

磯邊 包義君 坂口 平兵衛君 中山 文樹君

北海道水產稅則廢止法律案特別委員

公爵二條 基弘君 子爵長岡 護美君 子爵山本 實庸君

男爵中島 錫胤君 調所 廣丈君 中村 元雄君
村田 保君 男爵紀 俊秀君 野崎 武吉郎君

侯爵細川 護成君 辻 新次君 田中 芳男君

時任 爲基君 男爵有地品之允君 男爵南岩倉 具威君

磯邊 包義君 坂口 平兵衛君 中川 文樹君

○議長(公爵近衛篤磨君) 明後日ノ日程ヲ御報道致シマス

〔河田書記官朗讀〕

午前十時開議

第一 請願委員長報告

第二 漁業法案(政府提出)

第三 保險業法案(政府提出)

第四 精神病者監護法案(政府提出)

第五 臺灣ニ在勤スル官吏ノ恩給及遺族扶助料ニ關スル
法律案(政府提出)

第六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第七 臺灣ニ服役スル軍人ノ恩給及遺族扶助料ニ關スル
法律案(政府提出)

第八 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第九 土地收用法案(政府提出)

第十 日本勸業銀行法中改正法律案(政府提出)

第十一 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第十二 在外國帝國專管居留地特別會計法案(政府提出)

第十三 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第十四 裁判所及臺灣總督府法院共助法案(政府提出)

第十五 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第十六 鑛業條例中改正法律案(政府提出)

第十七 鐵道敷設法中改正法律案(衆議院提出)

第十八 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第十九 家祿引直處分法案(衆議院提出)

第二十 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第二十一 營業稅法中ニ調査委員ノ制ヲ設クル請願

會 議

- | | | | |
|------|----------------|---|---|
| 第二十二 | 種馬所設置ニ關スル請願 | 會 | 議 |
| 第二十三 | 所得税法改正ノ請願 | 會 | 議 |
| 第二十四 | 高等商業學校設置ノ請願 | 會 | 議 |
| 第二十五 | 北清貿易擴張ニ關スル請願 | 會 | 議 |
| 第二十六 | 定期航路補助ニ關スル請願 | 會 | 議 |
| 第二十七 | 北見幹線鐵道急設ノ請願 | 會 | 議 |
| 第二十八 | 千島義勇警備田漁兵設置ノ請願 | 會 | 議 |
| 第二十九 | 士籍編入ノ請願 | 會 | 議 |
| 第三十 | 家祿ニ關スル請願 | 會 | 議 |
| 第三十一 | 秩祿處分ノ請願 | 會 | 議 |
| 第三十二 | 民法第二百七十八條修正ノ請願 | 會 | 議 |
| 第三十三 | 石狩川治水ノ請願 | 會 | 議 |
| 第三十四 | 郡界變更ノ請願 | 會 | 議 |
- 午後三時二十五分散會